

18901179

1989年度

水産業動向에 關한 年次報告書

水産庁	一 九 八 九 年 一 〇 月 二 〇 日
-----	---

水 産 廳



이 年次報告書는 1988年度의 水産動向과 施策 및 1989  
年의 水産施策에 관한 報告書로서 水産振興法 第16條의  
規定에 의하여 1989年度 國會 定期會에 提出하기 위하여  
作成하였음.

## 目 次

第 1 編 1988年度 水産業動向과 施策 .....	1
第 1 章 世界水産業의 動向 .....	3
第 1 節 1987年度 生産動向 .....	3
第 2 節 1987年度 貿易動向 .....	4
第 2 章 우리나라 水産業의 動向 .....	7
第 1 節 水産物 生産 .....	7
第 2 節 水産物 輸出入 .....	19
第 3 節 水産物 需給 .....	26
第 4 節 漁船勢力 .....	29
第 5 節 漁家經濟 .....	32
第 6 節 水産物 價格 .....	44
第 7 節 漁業經營 .....	46
第 8 節 水産金融 .....	52
第 9 節 漁村經濟活性化 .....	55
第 3 章 水産資源의 開發利用 .....	61
第 1 節 沿近海 漁場環境의 變化 .....	61
第 2 節 水産資源의 造成 .....	66
第 3 節 漁業秩序確立 및 安全操業指導 .....	71
第 4 節 養殖 및 內水面漁業 開發 .....	78

第 4 章 遠洋漁場의 安定的 確保 .....	80
第 1 節 遠洋資源 動向 .....	80
第 2 節 漁業協力 事業 .....	83
第 3 節 新漁場開發 事業 .....	85
第 4 節 勞使協調의 安全操業 .....	85
第 5 章 水產技術 開發과 普及 .....	87
第 1 節 水產技術의 開發 .....	87
第 2 節 漁村指導 및 技術普及 .....	97
第 3 節 漁業技術 訓練 .....	100
第 6 章 水產物의 食糧化와 流通改善 .....	104
第 1 節 水產物 價格安定 .....	104
第 2 節 水產物 流通改善 .....	107
第 3 節 水產物의 加工과 食生活 改善 .....	109
第 4 節 水產物 檢査 .....	112
第 7 章 漁業基盤施設의 擴充 .....	114
第 1 節 漁港開發 .....	114
第 2 節 漁撈施設 .....	116
第 8 章 水產團體育成 및 低所得漁村開發 .....	118
第 1 節 水產業協同組合 .....	118
第 2 節 水產物 輸出團體 .....	123
第 3 節 低所得漁村開發과 漁民後繼者 育成 .....	124
第 9 章 水產事業 總括 .....	126
第 1 節 投融資 實績 .....	126

第 2 節 事業成果 .....	130
第 10 章 水產法令 整備 및 制度改善 .....	133
第 1 節 法令整備 .....	133
第 2 節 制度改善 .....	136
第 3 節 職制改正 .....	138
第 2 篇 1989年度 水產施策 .....	139
第 1 章 水產施策 方向 .....	141
第 1 節 指標 및 重點施策 .....	141
第 2 節 投融資 規模 .....	143
第 2 章 沿岸水產資源의 造成 및 所得倍加 .....	150
第 1 節 水產資源 造成 .....	150
第 2 節 養殖漁場 開發 .....	152
第 3 節 內水面漁業 開發 .....	154
第 4 節 漁場保全管理 .....	157
第 5 節 漁業秩序 確立 .....	160
第 6 節 漁業外 所得源의 開發擴充 .....	163
第 3 章 沿近海漁業의 構造調整 .....	165
第 1 節 漁業構造 調整 .....	165
第 2 節 漁業制度의 整備補完 .....	167
第 4 章 遠洋漁場의 安定的 確保 .....	171
第 1 節 水產外交 強化 .....	171

第 2 節 新漁場開發 推進 .....	175
第 3 節 遠洋漁業 育成指導 .....	178
第 5 章 漁業基盤施設의 擴充 .....	180
第 1 節 漁港建設 促進 .....	180
第 2 節 漁撈施設 現代化 .....	182
第 6 章 水產物 需給 및 價格安定 .....	187
第 1 節 水產物 流通 및 去來制度 改善 .....	187
第 2 節 水產物 價格安定 .....	189
第 3 節 水產物의 食糧化 .....	191
第 4 節 水產物 輸出入 對策 .....	194
第 7 章 研究機能 強化와 技術開發 普及 .....	197
第 1 節 水產振興院 活性化 .....	197
第 2 節 所得과 直結되는 技術開發 .....	201
第 3 節 基礎調查事業 .....	208
第 4 節 水產技術 指導 普及 .....	211
第 5 節 漁業技術의 向上과 訓練 .....	215
第 8 章 漁民支援의 強化 .....	217
第 1 節 水產資金 供給擴大 .....	217
第 2 節 漁村開發 .....	222
第 3 節 災害補償 .....	225
第 9 章 漁村活性化 對策 .....	228
第 1 節 農漁村 發展 綜合對策 .....	228
第 2 節 2000年代를 向한 水產發展綜合對策 .....	230
統計로 본 水產業 動向 .....	235

## 表 目 次

〈表 1〉 世界 水產物 生産推移 .....	4
〈表 2〉 世界 水產物 輸出推移 .....	5
〈表 3〉 世界 水產物 輸入推移 .....	6
〈表 4〉 漁業別 生産推移 .....	8
〈表 5〉 沿近海漁業 業種別 生産推移 .....	12
〈表 6〉 養殖漁業 品種別 生産推移 .....	14
〈表 7〉 内水面 漁業 品種別 生産推移 .....	15
〈表 8〉 遠洋漁業 業種別 生産推移 .....	18
〈表 9〉 水產物 輸出推移 .....	19
〈表 10〉 品目別 輸出実績 .....	20
〈表 11〉 主要魚種 輸出実績 .....	21
〈表 12〉 國家別 輸出実績 .....	22
〈表 13〉 水產物 輸出 推薦 品目 .....	23
〈表 14〉 輸入 自由化 現況 .....	25
〈表 15〉 水產物 輸入 実績 .....	26
〈表 16〉 水產物 需給 動向 .....	27
〈表 17〉 動物性 蛋白質 供給 推移 .....	27
〈表 18〉 水產物 利用 動向 .....	28
〈表 19〉 漁船勢力 推移 .....	29
〈表 20〉 漁業別 漁船勢力 .....	30
〈表 21〉 船質別 漁船勢力 .....	31
〈表 22〉 長級別 漁船勢力 .....	31

〈表 23〉	漁家人口斗 戶數 .....	32
〈表 24〉	漁業從事者의 年齡, 性別 構成 .....	33
〈表 25〉	漁業 形態別 漁業家口 .....	34
〈表 26〉	專業·兼業別 漁業家口 .....	34
〈表 27〉	作業性質別 漁業從事者 現況 .....	35
〈表 28〉	漁業活動別 附加價值 .....	36
〈表 29〉	漁家所得의 構成 .....	37
〈表 30〉	漁業 形態別 所得構成 .....	38
〈表 31〉	漁業所得 構成 .....	39
〈表 32〉	漁業外所得 構成 .....	40
〈表 33〉	漁家戶當 可處分所得 및 家計費 .....	40
〈表 34〉	漁家戶當 家計費 支出內譯 .....	41
〈表 35〉	漁家 資產 推移 .....	42
〈表 36〉	漁家 負債 推移 .....	43
〈表 37〉	水產物 都賣物價 騰落率 .....	45
〈表 38〉	沿岸漁業 經營體 推移 .....	47
〈表 39〉	近海漁業 經營體 推移 .....	48
〈表 40〉	養殖漁業 經營體 推移 .....	49
〈表 41〉	內水面漁業 經營體 推移 .....	50
〈表 42〉	遠洋漁船 推移 .....	51
〈表 43〉	水產資金 推移 .....	52
〈表 44〉	水產資金 調達 .....	53
〈表 45〉	水協 自體資金 造成實績 .....	53
〈表 46〉	水產資金 運用 .....	54
〈表 47〉	營漁資金 供給 .....	54



〈表 48〉	經濟活性化 綜合對策 推進	55
〈表 49〉	營漁資金 及 漁家負債對策 利差補填 實績	56
〈表 50〉	'88颱風 등 被害漁民 約定利子 補助	57
〈表 51〉	零稅率 適用 機資材 品目	58
〈表 52〉	所得標準率 引下 內容	58
〈表 53〉	所得標準率 零細範圍 擴大	59
〈表 54〉	免稅油類 供給實績	60
〈表 55〉	免稅油類 斗 市中價格 比較	60
〈表 56〉	落島, 僻地 免稅油類 供給現況	60
〈表 57〉	沿近海 主要魚種別 生產推移	64
〈表 58〉	市·道別 人工魚礁施設 實績	66
〈表 59〉	水產種苗培養場 施設 現況	67
〈表 60〉	民間種苗 買入 放流實績	68
〈表 61〉	叫子 人工受精卵 放流實績	68
〈表 62〉	연어 放流 及 採捕實績	69
〈表 63〉	稚魚放養 實績	70
〈表 64〉	內水面 水產資源保全地域 指定現況	70
〈表 65〉	漁業指導船 現況	72
〈表 66〉	不法漁業 團束實績	72
〈表 67〉	漁船 海難事故 推移	73
〈表 68〉	原因別, 類型別 海難事故	74
〈表 69〉	海域別, 邑級別 海難事故	74
〈表 70〉	業種別 海難事故	75
〈表 71〉	被害復舊費 支援實績	77
〈表 72〉	內水面漁業 支援實績	79

〈表 73〉	大洋別 다랭이 資源評價 .....	81
〈表 74〉	遠洋트물漁業 海域別 漁獲量 變動 .....	82
〈表 75〉	오징어漁業 海域別 漁獲量 .....	83
〈表 76〉	附屬約定 更新 現況 .....	84
〈表 77〉	對外 技術協力 現況 .....	84
〈表 78〉	養殖漁場으로 活用可能한 水域 .....	88
〈表 79〉	補助研究課題 遂行實績 .....	94
〈表 80〉	水產系學生 實習實績 .....	95
〈表 81〉	兼職 研究官 任命 現況 .....	95
〈表 82〉	漁民後繼者 地域社會 活動 現況 .....	98
〈表 83〉	漁村指導 公務員 專門技術教育 實績 .....	99
〈表 84〉	國立水產技術訓練所 教育訓練 實績 .....	102
〈表 85〉	韓國漁業技術訓練所 教育訓練 實績 .....	103
〈表 86〉	政府備蓄事業 實績 .....	105
〈表 87〉	民間 價格安定 事業 實績 .....	106
〈表 88〉	水產加工品 生產推移 .....	110
〈表 89〉	水產物 消費動向 .....	111
〈表 90〉	水產物 檢查推移 .....	112
〈表 91〉	加工品種別 檢查推移 .....	112
〈表 92〉	全國 漁港指定 現況 .....	114
〈表 93〉	漁港開發 現況 .....	116
〈表 94〉	漁撈施設 事業實績 .....	117
〈表 95〉	水協의 組織 .....	118
〈表 96〉	水協中央會 事業規模 .....	119
〈表 97〉	會員組合 事業規模 .....	120

〈表 98〉	組合當 平均 事業規模	120
〈表 99〉	水協中央會 收支狀況	121
〈表 100〉	會員組合 收支狀況	121
〈表 101〉	出資金 造成狀況	122
〈表 102〉	水產物 輸出團體	123
〈表 103〉	示範漁村 支援事業 實績	124
〈表 104〉	漁民後繼者 育成事業 實績	125
〈表 105〉	主要水產振興事業 執行 實績	126
〈表 106〉	移越事業(1987→1988)	129
〈表 107〉	移越事業(1988→1989)	129
〈表 108〉	'89水產物 生產計劃	142
〈表 109〉	'89水產物 輸出計劃	142
〈表 110〉	'89水產豫算	147
〈表 111〉	各種 水產資金(基金) 支援計劃	149
〈表 112〉	人工魚礁 施設計劃	150
〈表 113〉	種苗 生產計劃	152
〈表 114〉	稚魚 放養計劃	155
〈表 115〉	清淨海域 指定現況	158
〈表 116〉	直接쿼타 및 共同漁業 實績	173
〈表 117〉	年度別 뉴질랜드 쿼타 消盡實績	174
〈表 118〉	漁港 開發計劃	180
〈表 119〉	漁撈施設 事業計劃	184
〈表 120〉	'89 政府備蓄 事業計劃	189
〈表 121〉	民間價格安定 事業計劃	190
〈表 122〉	農水產物 輸入自由化 豫示 現況	195

〈表 123〉	水產物 輸出動向 .....	196
〈表 124〉	水產研究財團事業 運營計劃 .....	199
〈表 125〉	產學協同 補助 研究 課題 .....	200
〈表 126〉	營漁資金 供給計劃 .....	217
〈表 127〉	水產振興基金 運用計劃 .....	218
〈表 128〉	水產振興財政資金 運用計劃 .....	218
〈表 129〉	農漁村地域開發基金 支援計劃 .....	220
〈表 130〉	'89 水協資金 需給計劃 .....	221
〈表 131〉	漁村綜合開發 事業計劃 .....	223
〈表 132〉	漁民後繼者 育成 支援計劃 .....	224
〈表 133〉	漁船 及 船員共濟 加入 計劃 .....	226

第 1 編

1988年度 水産業動向と 施策

**여백**

## 第 1 章 世界水産業의 動向

### 第 1 節 1987年度 生産動向

'87年の 世界 水産物生産量은 '86年の 92,349千톤보다 344千톤이 増加한 92,693千톤으로서 전체적으로 0.4% 증가하였다.

國別로 보면 日本이 前年보다 1.1%가 減少한 11,841千톤을 漁獲하여 '77年 이래 여전히 世界 第1位를 차지하고 있고 蘇聯이 11,160千톤의 漁獲實績을 올려 第2位를 차지하고 있다.

그 다음 順位로 中國, 美國, 칠레, 페루 등이 차지하고 있으며 이들 上位 國家中 漁獲實績이 増加한 國家는 中國과 美國이고 余他國은 그 生産量이 減少하였다. 特히 中國은 前年보다 1,346千톤(17%)이 増加한 9,346千톤을 生産하였고 美國은 5,736千톤을 生産하여 世界 第6位에서 第4位로 浮上하였다.

魚種別 生産量을 살펴보면 베링海의 明太가 6,704千톤으로 全體 生産量의 首位를 차지하고 있으며 日本近海의 정어리가 5,321千톤, 南美近海의 정어리가 4,686千톤 漁獲되어 各各 第2·3位로서 前年度에 비해 順位에 변화가 없으나 南美 페루近海의 멸치 生産量은 4,945千톤에서 2,100千톤으로 대폭 減少된 것이 特徵의이다.

우리나라의 生産量은 前年度 生産量 3,103千톤보다 227千톤이 줄어든

2,876千톤으로서 世界에서의 順位는 第7位에서 第8位로 내려갔으며 世界全體 生産量에서 차지하는 比重은 前年の 3.4%에서 3.1%로 減少하였다.

〈表 1〉 世界水産物生産推移

單位：千톤

	'85	'86	'87	'87/'86(%)
計	85,988	92,349	92,693	100.4
日 本	11,409	11,967	11,841	98.9
蘇 聯	10,523	11,260	11,160	99.1
中 國	6,779	8,000	9,346	116.8
美 國	4,765	4,943	5,736	116.0
칠 레	4,804	5,572	4,814	86.4
페 루	4,136	5,614	4,584	81.7
印 度	2,824	2,922	2,893	99.0
韓 國	2,650	3,103	2,876	92.7
印 尼	2,345	2,457	2,610	106.2
泰 國	2,225	2,536	2,165	85.4
其 他	33,528	33,975	34,668	102.0

資料：FAO, Yearbook of fishery statistics, 1987.

註：고래, 물개, 기타 수산포유동물 및 수산식물 제외

## 第 2 節 1987年度 貿易動向

'87년의 世界 水産物 輸出額은 前年보다 21.8%가 증가한 28,076百萬\$ 이었다. 이를 나라별로 보면 캐나다가 前年에 비하여 19.4% 증가한 2,092



百萬\$을 達成하여 世界 第1位를 차지하였고 美國이 1,836百萬\$로서 第2位, 덴마크가 1,751百萬\$로서 第3位이며 우리나라의 水産物 輸出額은 前年 1,171百萬\$보다 28.6%가 증가한 1,506百萬\$로서 '86년에 이어 第4位를 維持하였다.

한편, 世界의 水産物 輸入額은 30,509百萬\$로서 前년에 비하여 26.1%의 伸張을 보였다.

이를 나라별로 살펴보면 日本이 前年對比 26.0% 증가한 8,308百萬\$를 記錄하여 第1位를 유지하였으며 美國이 5,662百萬\$로 第2位, 프랑스가 2,022百萬\$로 第3位, 이탈리아가 1,738百萬\$로 前년에 비하여 37.5%의 伸張을 보임으로써 계속 4位를 유지하고 있다.

<表 2> 世界水産物 輸出 推移

單位: 百萬\$

	'85	'86	'87	'87/'86(%)
計	17,327	23,057	28,076	121.8
캐 나 다	1,359	1,752	2,092	119.4
美 國	1,162	1,481	1,836	124.0
덴 마 크	953	1,381	1,751	126.8
韓 國	797	1,171	1,506	128.6
노 르 웨 이	922	1,171	1,475	126.0
泰 國	675	1,012	1,261	124.6
아이슬란드	617	858	1,071	124.8
네 델 란 드	544	766	953	124.4
中 國	367	646	912	141.2
日 本	820	898	890	99.1
其 他	9,111	11,921	14,329	120.2

資料: FAO, Yearbook of fishery statistics, 1987.

註: 고래, 물개, 기타 수산포유동물 및 수산식물, 어망제외.

그 다음으로 英國, 스페인, 서독, 덴마크, 홍콩, 벨기에, 캐나다 등의 順으로 輸入側面에서는 先進國이 上位圈을 차지하고 있다. 특히 스페인이 83.4%, 덴마크 41.0%, 프랑스가 33.9%로 크게 증가하는 등 西方肉類消費國의 水産物 輸入이 크게 늘어났으며 上位 10個 나라가 전체의 78%를 輸入하였다.

우리나라의 水産物 輸入額은 前年에는 118百萬\$로 世界 第22位에 그쳤으나 '87년에는 212百萬\$로 크게 증가하여 世界 19位로 浮上하였다.

<表 3> 世界 水産物 輸入 推移

單位：百萬\$

	'85	'86	'87	'87/'86(%)
計	18,559	24,194	30,509	126.1
日 本	4,744	6,593	8,308	126.0
美 國	4,052	4,749	5,662	119.2
프 랑 스	1,040	1,510	2,022	133.9
이 탈 리 아	985	1,264	1,738	137.5
英 國	941	1,217	1,387	114.0
스 페 인	412	721	1,322	183.4
西 獨	820	1,113	1,270	114.1
덴 마 크	370	597	842	141.0
홍 콩	472	624	794	127.2
벨 기 에	304	426	530	124.4
캐 나 다	356	433	512	118.2
其 他	4,063	4,947	6,122	123.8

資料：FAO, Yearbook of fishery statistics, 1987.

## 第 2 章 우리나라 水産業의 動向

### 第 1 節 水産物 生産

#### 1. 生産動向

'88年 우리나라 水産物 總生産量은 前年の 3,332千톤 보다 123千톤이 감소된 3,209千톤을 生産하였다.

이는 여름철이후 극심한 가뭄에 의한 貯水率 저하로 內水面 漁場環境이 악화됨으로써 內水面 漁業 生産이 不振하였고 生産實績에서 輸入으로 看做된 韓·美共同事業物量이 전년 4월까지의 生産實績에 포함되어 있어 統計上 生産이 감소된 것으로 나타나고 있다.

漁業別로는 沿近海漁業은 1,512千톤으로 前年水準, 養殖漁業은 前年보다 2.4% 증가된 887千톤을 生産하였으나, 內水面漁業은 36千톤으로 前年對比 62.7%, 遠洋漁業은 774千톤으로 前年對比 87.7% 수준으로 生産이 감소되었다.

魚種別로는 정어리, 멸치, 오징어, 갈치, 피조개, 홍합, 재첩, 붕어 등은 전년에 비하여 生産이 不振한 반면, 쥐치, 고등어, 전갱이, 삼치, 김, 백합, 우렁쉥이, 향어, 숭어 등은 生産이 順調로왔다.

〈表 4〉 漁業別 生産推移

單位: 톤

	'77	'82	'87	'88	'88/'87(%)
計	2,421,273	2,644,074	3,331,825	3,029,135	96.3
沿 近 海	1,308,323	1,475,387	1,525,999	1,512,481	99.1
養 殖	491,137	596,316	866,063	886,605	102.4
內 水 面	25,886	44,552	57,103	35,809	62.7
遠 洋	595,927	527,819	882,660	774,240	87.7

資料: 農林水産部 農林水産統計年報.

## 2. 沿近海漁業

'88年 沿近海漁業 生産量은 1,512千톤으로 우리나라 水産物 總生産量 3,209千톤의 47.1%를 차지하였다.

먼저, 海·漁況을 살펴보면 東海岸에서는 北上하는 暖流세력의 강세로 暖流가 擴散되어 暖流性 魚種인 오징어는 早期 北上회유와 南下회유 지연으로 生産이 감소되었고, 冷水性魚種인 명태는 來游量이 감소되어 生産이 不振하였다. 南海岸에서는 水溫前線이 발달하여 密集漁場을 형성함으로써 고등어, 쥐치, 전갱이 등의 生産이 順調로왔고, 西海岸에서는 冷水세력의 발달로 인하여 갈치魚群이 分散회유함으로써 生産이 감소되었다.

魚種別로는 갈치, 멸치, 오징어, 명태 등을 主對象으로 하는 中型機船 底引網漁業, 近海채낚기漁業, 機船權現網漁業, 안강망漁業은 生産이 감소하였고, 고등어, 쥐치, 전갱이, 꽃게, 키조개 등을 對象으로 하는 大型

旋網漁業, 大型機船底引網漁業, 潛水器漁業, 동발漁業, 定置網漁業 등은 生産이 증가하였다.

#### 가. 大型旋網漁業

大型旋網漁業은 沿近海漁業中 가장 규모가 크며 70~150톤급 어선으로 東中國海~濟州道~對馬島를 연결하는 海域에서 정어리, 고등어, 쥐치, 삼치, 전갱이 등을 주로 어획하는 漁業이다.

生産量은 매년 증가추세에 있으며, '88년에는 410千톤을 生産하여 前年の 356千톤에 비해 15.1%가 증가되었다.

이와같이 증가한 원인은 主漁業 대상 魚種인 고등어와 쥐치가 暖流강세 영향에 의해 魚群회유량이 증가하면서 생산이 順調로왔기 때문이다.

#### 나. 大型機船底引網漁業

大型機船底引網漁業은 1척으로 조업하는 외갈이와 2척으로 조업하는 쌍갈이로 구분되고 漁船의 규모는 50~170톤급으로서 西·南海와 東中國海에서 갈치, 쥐치, 가자미, 조기 등을 어획하고 있다.

生産量은 '78年 이후부터 매년 20萬톤을 상회하고 있으며 '88년에는 多獲性 魚種인 쥐치의 生産증가로 전년 224千톤에 비하여 25.1% 증가된 280千톤을 生産하였다.

#### 다. 中型機船底引網漁業

中型機船底引網漁業은 20~80톤급 漁船으로 東海 일원에서 명태, 대

구, 새우류 등을 漁獲對象으로 하는 東海區機船底引網漁業과 西·南海에서 쥐치, 가자미, 갈치, 갑오징어, 꽃게 등을 漁獲對象으로 하는 西·南海區機船底引網漁業으로 구분되고 있다.

生産量은 '77年 이후 감소추세에 있으며, '88年 生産量은 東海岸 高水温相 지속에 따른 명태, 노가리魚群의 회유不振으로 前年 42千톤에 비해 40.4% 감소된 25千톤을 生産하였다.

#### 라. 近海채낚기漁業

近海채낚기漁業은 10~100톤급 漁船으로 오징어를 漁獲對象으로 하고 있으며, 漁場은 魚群의 北上시기에 따라 東·西·南 全海域에서 형성되는데 南海는 濟州道~對馬島間 海域을 중심으로 12월부터 익년 5월까지, 西海는 格列飛列島를 중심으로 7~11월까지, 東海는 鬱陵島近海 및 大和堆近海에서 6~11월에 漁場이 형성된다.

오징어는 海況여건에 따라 불규칙적인 증감現狀을 보이고 있으며, '88년에는 東海岸 高水温 영향에 따른 오징어魚群의 分散회유로 前年 42千톤에 비해 20.4% 감소된 33千톤을 生産하였다.

#### 마. 안강망漁業

안강망漁業은 10~100톤급 漁船으로 西海 및 東中國海域에서 갈치, 조기, 명어, 갑오징어, 꽃게 등을 漁獲對象으로 하고 있다.

生産量은 매년 증가추세에 있으나 '88년에는 西海 및 東中國海域에 冷水세력이 발달하여 主對象魚群인 갈치의 分散회유로 前年 269千톤보다 14.7%가 감소된 230千톤을 生産하였다.



#### 바. 機船船引網(權現網)漁業

機船船引網漁業은 沿岸漁業중 규모가 가장 큰 업종으로 50톤급미만의 漁船으로 南海岸에서 멸치를 漁獲하고 있다.

멸치는 沿岸회유性魚種으로 海況의 영향을 크게 받기 때문에 生産量은 海況여건에 따라 증감현상을 나타내고 있다. '88년에는 여름철이후 南海沿岸의 高水溫 및 高塩現狀, 降雨量부족 등으로 멸치魚群의 接岸회유가 부진하여 前年 115千톤보다 36.9%가 감소된 73千톤을 生産하였다.

#### 사. 流刺網漁業

流刺網漁業은 東·西·南 全海域에서 조기, 콩치, 명태, 꽃게 등을 漁獲對象으로 하고 있다.

최근 生産量은 平年水準을 유지하고 있으나 '88년에는 겨울, 봄철에 高水溫相 지속으로 인한 명태魚群의 회유부진으로 前年 98千톤 보다 다소 감소한 91千톤을 生産하였다.

#### 아. 共同漁業

共同漁業은 일정한 수면을 專用하여 貝類, 海藻類 등 定着性 수산동·식물을 채포하는 第1種 共同漁業과 地引網, 船引網, 焚寄抄網, 들網 등을 사용하는 第2種 共同漁業, 낭장망, 해선망, 柱木網 등을 사용하는 第3種 共同漁業이 있다.

生産量은 '82년이후 어민들의 적극적인 漁場관리로 매년 증가하고 있으나 '88년에는 沿岸水溫 상승으로 인한 魚群의 分散회유로 前年の 176

千톤보다 17.3%가 감소한 146千톤을 生産하였다.

〈表 5〉 沿近海漁業 業種別 生産推移

單位：톤

	'77	'82	'87	'88	'88/'87(%)
計	1,308,323	1,475,387	1,525,999	1,512,481	99.1
大型 旋 網	168,997	257,931	355,817	409,708	115.1
大型機船底引網	185,847	219,129	223,625	279,728	125.1
中型機船底引網	95,232	74,815	41,688	24,843	59.6
近海 채 낚 기	12,272	45,157	42,011	33,451	79.6
안 강 망	190,644	259,168	269,311	229,756	85.3
機 船 船 引 網	79,317	103,004	115,125	72,687	63.1
流 刺 網	134,080	123,272	98,460	91,019	92.4
共 同 漁 業	159,164	122,624	176,150	145,596	82.7
其 他	282,770	270,287	203,812	225,693	110.7

資料：農林水産部 農林水産統計年報

### 3. 養殖漁業

'88年 養殖漁業은 여름철 이후 高水溫, 降雨量 부족 등 海況 不適으로 굴, 홍합, 피조개 등 貝類의 生産量이 減少되었으나 上半期중 김, 미역 등 海藻類의 生産量 增加로 前年の 866千톤에 比하여 21千톤이 增産된 887千톤을 生産하였다.

이와같은 異常海況에도 불구하고 養殖生産量이 水産物 總生産量에서 차지하는 比重은 去年(1985~87) 25.8%, 前年 26.8%에서 '88년에는 27.6%를 차지함으로써 養殖漁業 比重이 漸次 增大되고 있음을 알 수 있다.



### 가. 魚類 養殖

'88년 魚類 養殖은 主 養殖 魚種인 방어의 輸出 不振으로 '87년에 比하여 483톤이 減産된 1,290톤이 生産되었다. 그러나 魚類 養殖은 '83年 以後 政府에서 積極的으로 開發 育成한 結果 魚類 養殖技術이 相當한 水準에 이르고 있으며 養殖 方法 또한 加多利式 養殖에서 高所得魚種인 넙치 養殖을 위한 陸上水槽式 施設이 크게 增加되었으며 養殖 對象 魚種도 방어위주의 養殖에서 넙치, 돔, 농어, 불락, 복어 등으로 多樣化되어 가고 있다.

### 나. 貝類 養殖

貝類 養殖은 南西海岸의 淺海 干潟地를 利用하여 漁民所得增大에 크게 寄與하고 있는 品種으로서 '88년에는 여름철 高水温, 高比重, 降雨量 不足 등 海況 不適으로 '87년에 比해 26千톤이 減産된 421千톤을 生産하였다. 品種別로는 굴이 284千톤으로 貝類 生産量의 67.6%를 차지하고 있으며 바지락, 피조개, 홍합 등이 主種을 이루고 있다.

### 다. 海藻類 養殖

미역과 김이 대중을 이루고 있는 海藻類 養殖은 '88年 養殖初期 異常 海況으로 生産이 低調하였으나 主 成長期 海況 回復으로 成長이 好轉되어 '87年보다 43千톤이 增産된 442千톤을 生産하였다.

## 라. 其他水産動物 養殖

우렁챙이, 보리새우 등 高所得 品種으로서 '88년에 23千톤을 生産하였다. 特히 '88년 14千톤을 生産한 우렁챙이는 每年 增加추세에 있으며 독특한 맛과 높은 營養價로 인하여 一般 大衆의 嗜好食品으로 脚光을 받고 있을 뿐만 아니라 東·南海岸의 高所得 品種으로서 漁民所得 增大에도 크게 寄與하고 있다.

〈表 6〉

養殖漁業 品種別 生産 推移

單位: 톤

	'77	'82	'87	'88	'88/'87(%)
計	491,137	596,316	866,063	886,605	102
魚 類	--	--	1,773	1,290	73
貝 類	254,796	280,966	446,852	420,687	94
· 굴	151,325	181,349	288,078	284,472	99
· 홍합	60,536	37,826	26,064	15,693	60
· 주요패류	35,138	37,441	69,159	67,749	98
· 피조개	202	20,389	58,092	49,013	84
· 기타	7,595	3,961	5,459	3,760	69
海 藻 類	236,242	314,535	398,100	441,569	111
· 미역	173,978	225,045	285,085	281,657	99
· 김	57,718	79,784	83,287	115,749	139
· 다시마	2,122	3,987	9,980	11,612	116
· 기타	2,424	5,719	19,748	32,551	165
其他水産動物	99	815	19,338	23,059	119

資料: 農林水産部 農林水産統計年報

註: (1) 主要貝類는 고막, 바지락, 가무락

(2) 其他水産動物은 우렁챙이, 새우, 꽃게, 해삼 등

#### 4. 內水面 漁業

'88年 內水面 漁業 生産은 가뭄에 따른 水位低下로 漁撈漁業 生産이 低調함으로써 '87年の 57千톤에 比하여 62.7%에 그치는 36千톤을 生産하였다.

<表 7> 內水面 漁業 品種別 生産 推移

單位: 噸

	'77	'82	'87	'88	'88/'87(%)
計	25,885	44,552	57,103	35,809	62.7
漁 撈	23,872	43,670	47,598	24,681	51.9
붕 어	3,651	10,475	12,120	6,944	57.3
재 칠	12,636	10,881	12,610	4,753	37.7
잉 어	861	2,453	3,439	1,798	52.3
미 꾸 리	1,872	3,137	2,464	941	38.2
메 기	282	954	873	484	54.4
뱀 장 어	262	744	515	248	48.2
송 어	52	1,054	1,012	517	51.1
피 라 미	-	-	1,705	1,554	91.1
其 他	4,256	13,972	12,860	7,442	57.9
養 殖	2,013	882	9,505	11,128	117.1
잉 어	265	300	939	1,177	125.3
향 어	-	-	3,592	5,198	144.7
송 어	2	39	704	878	124.7
뱀 장 어	58	233	2,441	602	24.7
민 물 돔	-	-	56	92	164.3
其 他	1,688	310	1,773	3,181	179.4

資料: 農林水産部 農林水産統計年報

註: 피라미는 '82以前까지 其他에 包含

이와같은 生産減少에도 불구하고 內水面 養殖漁業 生産量은 11千톤으로 전년대비 17%가 增加 되었는데, 이는 養魚技術 開發 普及에 따른 잉어, 향어, 송어, 민물돔 등 經濟性 魚種의 量産體制가 確立되었기 때문이다.

## 5. 遠洋漁業

沿岸國의 規制強化로 生産活動에 많은 制約을 받고있는 중에서도 '88년에는 다랭이漁業의 好況과 南西大西洋 오징어채낚기漁業의 定着, 그리고 其他 트롤漁業의 安定的 增産 등 全業種이 好調을 보여 774千톤을 生産하였다. 그러나 '87. 5. 1以後 韓·美共同漁業事業 國內搬入 漁獲物이 輸入으로 간주됨으로써 統計上의 遠洋漁業 生産量은 前年對比 12.3% 減少된 것으로 나타났다.

### 가. 다랭이漁業

다랭이漁業은 延繩과 旋網漁業으로 나눌 수 있으며, 延繩漁業은 날개 다랭이를 주로 漁獲하여 통조림 原料로 供給하는 海外基地式 操業方法과 눈다랭이, 황다랭이를 주로 漁獲하여 횃감용으로 供給하는 獨航式 方法으로 區分된다. '88년에는 268隻의 다랭이延繩漁船이 出漁하여 82千톤을 漁獲 前年對比 93.4% 水準이었다. 그러나 주로 가다랭이를 對象으로 하는 旋網漁船은 23隻이 出漁하여 前年보다 135% 水準인 79千톤을 漁獲하여 輸出 및 內需 통조림 原料로 供給하였다.

### 나. 오징어漁業

오징어漁業은 流刺網과 채낚기漁業으로 區分되는데 '88年度에 流刺網漁業은 北太平洋에 150隻이 出漁하여 84千톤을 漁獲하였고, 채낚기漁船은 南西大西洋 및 뉴질랜드, 호주漁場에 出漁하여 114千톤을 漁獲하였다. 특히 이중 新漁場開發政策의 일환으로 '85년부터 出漁한 南西大西洋 漁場에서의 오징어漁業(漁獲量: 103千톤)이 차지하는 비중이 날로 커져가고 있다.

한편 流刺網漁業은 遼河性魚種인 연어의 混獲과 關聯된 美國의 流刺網漁業 規制法制定('87. 12. 29)으로 美國이 연어 등의 混獲規制와 海洋哺乳動物 및 바닷새의 保護를 위하여 時期別 水域制限, 옴서버 乘船要求 등을 強力히 促求하고 있어 이와관련 我國은 漁業에 影響이 最小化되는 範圍內에서 美國의 關心對象 魚種 등 保護에 積極 協力한다는 立場에서 '88年 2次에 걸쳐 政府間 會談을 한바 있으나 團東問題 등에서 意見差異로 결렬된 바 있다.

### 다. 트롤漁業

트롤漁業은 遠洋漁業中 비중이 가장 큰 業種으로서 遠洋生産量の 56%를 차지하고 있는 代表的인 業種이다.

이중 北洋트롤 漁業은 명태, 가자미類를 主對象으로 하고 있으며 美國의 對外國 漁獲쿼타량이 '88年度부터 終熄된 反面, 公海上 操業은 다소 활발하여 前年 66.9% 水準인 304千톤을 生産하였다.

한편 '87. 5. 1부터 輸入으로 分類되고 있는 韓·美共同漁業 事業은 美國의 資源自國化 政策推進으로 操業物量이 減少하여 359千톤을 生産

하였다.

또한 海外基地 트롤漁業은 라스팔마스 近海漁場, 뉴질랜드 漁場 및 모리타니아漁場 등에서 127千톤을 漁獲하였으며, 새우 트롤漁業은 中南美的 수리남 및 브라질 漁場에서 2,821톤을 漁獲하여 全量을 輸出하였다.

〈表 8〉 遠洋漁業業種別生産推移

單位：톤

	'77	'82	'87	'88	'88/'87(%)
計	595,927	527,819	882,660	774,240	87.7
참치延繩	161,517	106,981	87,437	81,668	93.4
참치旋網	-	12,213	58,752	79,397	135
가다랭이채낚기	9,366	4,815	-	-	-
오징어流刺網및 채낚기	-	22,669	149,163	176,342	118.2
상어流刺網	-	-	339	24	7.1
北洋 트롤	290,918	289,879	454,492	304,343	66.9
基地 트롤	119,543	85,861	127,902	126,855	99.2
새우 트롤	2,422	2,865	3,474	2,821	81.2
其他	12,161	2,536	1,101	2,790	253.4

資料：農林水産部 農林水産統計年報

註：'87·'88生産量에는 '87. 5. 1以後 輸入으로 看做되는

韓美共同漁業事業分 除外('87：248千톤, '88：359千톤)

## 第 2 節 水産物 輸出入

### 1. 水産物 輸出

'88年 水産物 輸出은 急速한 元貨切上과 勞使紛糾 등 國內外的으로 어려운 輸出條件이었음에도 不拘하고 前年보다 18.3% 增加한 2,047百萬 \$를 達成하여 最大의 輸出實績을 나타내었다. 이와같은 成果는 輸出物 量의 確保가 比較的 順調로 왔을뿐 아니라 輸出單價의 上昇과 輸出制度 改善, 新製品 開發 등의 努力에 기인한 것으로 分析된다.

<表 9>

水産物 輸出 推移

單位：百萬 \$

	'77	'82	'87	'88	'87/'88(%)
總 輸 出	10,046	21,616	47,281	60,696	128.4
水 産 物	703	947	1,731	2,047	118.3
構成比(%)	7.0	4.4	3.7	3.4	

資料：水産廳 貿易課

#### 가. 品目別 輸出

品目別 輸出實績을 살펴보면 '88年 全體 水産物 輸出實績이 前年對比 17.9% 增加하였으나 活鮮魚의 경우는 주시장인 日本의 需要增加와 참치,

꽃게 등의 生産增加로 前年보다 28.8% 增加함으로써 큰 伸張率을 보이고 있으며, 冷凍品은 봉장어, 삼치 등이 크게 增加한 반면 필레트, 가자미 등이 日本, 美洲地域의 在庫累増과 원화절상에 따른 採算性 惡化로 前年對比 10.9%의 낮은 增加率을 보이고 있다. 또한 海藻鹽辛品은 간미역 등이 病蟲害로 인한 品質低下로 輸出이 不振하였으나 魷 등의 輸出增加로 前年보다 17% 增加한 150百萬\$를 達成하였다.

통조림은 연어, 바지락 통조림의 輸出이 不振하였음에도 굴, 정어리 통조림 등의 輸出好調로 前年보다 44.4%가 增加함으로써 全 品目中 가장 큰 伸張率을 보이고 있으며, 乾魚物 및 調味加工品이 大部分인 其他水産物도 건멸치, 청어알젓 등의 輸出이 매우 不振하였음에도 不拘하고 조미오징어, 퀴치포 등의 輸出이 增加하여 21.2%가 增加한 270百萬\$를 達成하였다.

表 10. 品目別 輸出 實績

單位：千\$

	'77	'82	'87	'88	'88/'87(%)
計	703,073	946,760	1,731,352	2,047,306	118.2
水 産 物	654,551	861,171	1,620,411	1,911,052	117.9
· 活 鮮 魚	90,470	150,686	369,410	475,667	128.8
· 冷 凍 品	109,010	130,900	234,319	259,777	110.9
· 海 藻 鹽 辛 品	39,703	122,277	128,361	150,479	117.2
· 通  조  림	33,542	50,790	95,026	137,241	144.4
· 其他水産物	68,339	77,592	222,550	269,696	121.2
· 遠 洋 魚 類	313,487	328,926	570,745	618,192	108.3
漁 網	48,522	85,589	110,941	136,254	122.8

資料：水産廳 貿易課



遠洋魚類의 경우 참치는 日本地域에서의 畵감용 輸出單價의 上昇과 我國 旋網漁業의 好調로 輸出이 增加한 반면 오징어는 世界的인 遠洋 오징어類 生産增加로 因한 供給이 增加된데다가 日本地域 需要減少로 低調한 輸出實績을 보임으로써 前年보다 8.3% 增加한 水準에 그쳤다. 한편 漁網類는 原料切上 및 貨金引上 등 國內外的으로 어려운 與件이였 음에도 불구하고 前年보다 22.8% 增加한 136百萬 \$ 를 達成하였다.

〈表 11〉 主要 魚種 輸出 實績

單位：千 \$

魚 種 別	'88	'87	'88/'87(%)
참 치	289,184	258,499	111.9
피 조 개	152,494	141,703	107.6
붕 장 어	74,542	57,415	129.8
조미오징어	73,018	40,305	181.2
삼 치	62,016	16,077	385.7
귀 치 포	59,541	46,591	127.8
바 지 락	57,624	25,957	222.0
원양명란	55,313	45,158	122.5
굴통조림	46,183	31,174	148.1
새 조 개	39,897	20,431	195.3
간 미 역	38,431	40,139	95.7
뿔	34,240	32,029	106.9
꽃 게	32,189	23,301	138.1
원양필레트	32,077	54,830	58.5
가 자 미	32,035	49,016	65.4
굴 류	29,140	32,689	89.1
패주(貝柱)	22,829	18,569	122.9
갑 오 정 어	20,197	23,519	85.9
뱀 장 어	20,121	8,577	234.6
복 어	17,561	6,844	256.6
전 갱 이	14,523	6,786	214.0
칭 어 알 첫	14,259	17,814	80.0
오 정 어	11,919	25,464	46.8
갯 지렁 이	11,730	11,745	99.9
멸 치	6,487	11,606	55.9
연어붕조림	6,415	13,215	48.5

資料：水産廳 貿易課

나. 國家別 輸出實績

'88年 水産物 輸出對象國數는 '87年과 같은 82個國이었으며 主要 國別 輸出實績을 보면 漁網을 포함한 輸出實績中 日本이 全體의 72%를 차지하는 1,471百萬\$로써 '87年 보다 25.4%가 增加하였고 대만은 바지락, 연체동물, 냉동연육, 염장미역 등의 輸出好調로 '87年 보다 129.6%가 增加한 반면, 美國은 필레트 등의 輸出不振으로 21.8%가 減少하였으며, 스페인도 대서양水域의 遠洋魚類 生産不振으로 22.4%가 減少하였다.

'88年 國別 輸出順位는 日本, 美國에 이어 스페인, 대만, 캐나다, 호주, 싱가포르 순이며, 캐나다가 '87년에는 4位이었으나, 대만에 이어 5位로 바뀌었다.

<表 12>

國家別 輸出實績

單位: 千\$

	'77	'82	'87	'88	'88/'87(%)
計	703,073	946,760	1,731,352	2,047,306	118.2
日 本	461,026	618,172	1,173,181	1,471,470	125.4
美 國	95,284	107,203	294,462	230,124	78.2
스 페 인	24,855	37,926	44,874	34,808	77.6
臺 灣	13,522	22,159	13,600	31,231	229.6
캐 나 다	6,571	8,799	16,346	20,225	123.7
澳 洲	4,565	7,137	13,502	19,392	143.6
싱 가 포	4,777	14,150	13,063	16,408	125.6
사우디아라비아	2,732	12,181	5,599	7,238	129.3
其 他	80,741	119,033	156,725	216,410	138.1

資料: 水産廳 貿易課

註: 漁網 輸出實績이 包含됨

## 다. 輸出制度 改善

水産物 輸出促進을 위한 輸出制度의 改善으로서 活갯지렁이 輸出制度를 改善한 바 于先 日本以外の 地域에 대하여 輸出窓口를 2個 窓口로만 制限해 오던 것을 이를 開放, 輸出市場의 多邊化 및 輸出物量 擴大에 寄與토록 하였다. 그러나 參與業體의 亂立과 過當競爭 등을 防止하고 國內生産漁民을 保護하기 위하여 輸出參與에 對한 一定한 資格과 輸出指導價格制 및 國內收集業務의 一元化 등 開放에 따른 措置를 講究함으로써 開放에 따른 輸出秩序를 維持토록 하였으며, 對日 간미역 輸出에 있어서는 漁民協業加工事業을 育成하고 原藻收買價를 引上하여 所得增大에 寄與케 하였고, 생굴, 건굴은 輸出指導價格制를 新設하여 輸出秩序를 確立하였고, 홍합 및 바지락통조림은 지금까지 實施해 오던 輸出推薦制度를 廢止함으로써 輸出을 促進토록 하였다.

〈表 13〉

水産物 輸出 推薦品目

推薦團體別	推 薦 品 目
○ 韓國水産物 輸出 組合(57)	○ 산동물 : 갯지렁이(1) ○ 환 어 : 봉장어, 삼치, 가자미, 방어, 돔, 능성어, 전갱이, 고등어(8) ○ 신선·냉장어류 : 가자미, 고등어, 봉장어, 삼치, 방어, 돔, 능성어, 전갱이(8) ○ 냉동어류 : 가자미, 고등어, 봉장어, 전갱이, 삼치, 방어, 양미리(7) ○ 피레트와 연육(신선·냉장) : 봉장어, 삼치, 가자미, 방어, 돔, 능성어, 전갱이, 고등어(8) ○ 피레트와 연육(냉동) : 봉장어, 삼치, 가자미, 방어, 양미리, 전갱이, 고등어(7) ○ 갑각류(산것, 신선·냉장) : 꽃게(1)

推薦團體別	推 薦 品 目
<ul style="list-style-type: none"> <li>○ 韓國內水面 漁業協會(3)</li> <li>○ 韓國遠洋漁業協會(8)</li> <li>○ 水協中央會(1)</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>○ 연체동물 : 생굴, 건굴, 냉동굴, 오징어(냉동), 갑오징어(냉동), 새참(산것·신선 및 냉장), 소라( ~ ), 새조개( ~ ), 피조개( ~ ) 피조개(냉동), 새조개(냉동), 패주(신선·냉장), 패주(냉동)(13)</li> <li>○ 해초류 : 염장미역, 건미역, 가공물(3)</li> <li>○ 조제품 : 취치포(1)</li> <li>○ 산동물 : 실지렁이(1)</li> <li>○ 활 어 : 뱀장어(1)</li> <li>○ 신선·냉장어류 : 뱀장어(1)</li> <li>○ 신선·냉장어류 : 날개다랭이, 황다랭이, 가다랭이, 기타다랭이(4)</li> <li>○ 냉동어류 : 날개다랭이, 황다랭이, 가다랭이, 기타다랭이(4)</li> <li>○ 조제품 : 굴통조림(1)</li> </ul>
<p style="text-align: center;">總 計</p>	<p style="text-align: center;">69 個 品 目</p>

資料 : 水産廳 貿易課

註 : 推薦品目數는 HS分類에 의함

## 2. 水産物 輸入

### 가. 水産物 輸入開放

水産物의 輸入自由化措置는 '88년에 실지렁이(산것), 해덕(신선·냉장), 검정대구(신선·냉장), 바다가재통조림 등 13個 品目を 追加함으로써 지금까지 輸入開放品目이 119個에서 132個로 늘어나게 되었고, 輸入自由化率은 36.3%에서 40.2%로 擴大되었다. 이는 우리나라 全體 輸入

自由化率이 94.7%인데 比하여 가장 낮은 開放率을 維持하고 있다.

<表 14> 輸 入 自 由 化 現 況

'88. 12月末 現在

	總 品 目 數	自由化品目數	自由比率(%)
全 體	10,241	9,694	94.7
農 林 水 產 物	1,785	1,284	71.9
水 產 物	328	132	40.2

資料：水產廳 貿易課

#### 나. 水產物 輸入實績

'88年 水產物 輸入實績은 292百萬 \$로 '87년에 比해 35.7%가 增加하였다.

輸出用原資材에 있어서는 物量은 14%나 減少하였으나 單價上昇으로 金額面에서는 前年과 같은 水準을 維持하고 있으며, 共同漁業事業漁獲物은 '87. 5. 1부터 輸入으로 分類됨에 따라 前年에 比하여 '88년에 많은 增加를 나타나게 되었고 또한 新漁場開發 擴大에 따른 合作漁獲物 輸入이 많이 늘어 남으로써 121.7%나 增加하였다.

其他內需用 輸入은 總物量面에서는 減少하였으나 연어, 관상어류 및 어류의 油脂 등 非食用 水產物의 輸入增加로 金額面에서는 142.3%가 增加하였다.

〈表 15〉 水産物輸入実績

單位：톤, 千\$

			'87	'88	'88/'87(%)
計	物 量		286,223	345,732	120.8
	金 額		214,855	291,646	135.7
輸 出 用 原 資 材	物 量		129,833	111,765	86.1
	金 額		131,082	134,909	102.9
內 需 用	共同漁業事業 漁獲物	物 量	115,418	190,896	165.4
		金 額	53,439	84,992	159.0
	合作漁獲物	物 量	4,817	8,764	181.9
		金 額	3,339	7,402	221.7
	觀光用食資材	物 量			-
		金 額	1,687	3,018	178.9
其 他 內 需 用	物 量		36,155	34,407	95.2
	金 額		25,308	61,325	242.3

資料：水産廳 貿易課

註：物量은 製品物量임

### 第 3 節 水産物 需給

#### 1. 需給動向

'88年の水産物總供給量은 3,661千톤으로 前년에 비해 2.5%가 감소하였는데 이는 生産量이 3.7% 감소하였기 때문이며 輸入量은 前년에 비해 7.1%가 증가한 452千톤이었다.

國內消費量은 輸出量 1,303千톤을 除外한 2,358千톤으로 魚貝類의 1人

當 年間 消費量은 前年보다 2.0kg이 감소된 30.1kg(推定)을 나타냈다.

水産物은 動物性 蛋白質의 主된 供給源으로 國民食糧供給 次元에서 뿐만 아니라 健康食品으로 消費量이 날로 增加되고 있으나 沿近海 資源의 減少로 生産이 둔화되고 있어 全體의으로 供給이 不足한 실정이다.

'87年的 國民 1日 1人當 水産物의 動物性 蛋白質 供給量은 16.11 g 으로 動物性 蛋白質 總供給量 30.45 g 의 52.9%를 차지하여 前年에 비해 供給比重이 낮아졌다.

<表 16> 水産物 需給 動向

單位: 千噸

		'77	'82	'87	'88	'88/'87(%)
供給	生産	2,421	2,644	3,332	3,209	96.3
	輸入	15	61	422	452	107.1
計		2,436	2,705	3,754	3,661	97.5
需要	內需	1,665	1,984	2,482	2,358	95.0
	輸出	771	721	1,272	1,303	102.4
1人當 年間消費量(kg)		24.3	26.4	32.1	30.1	93.8

資料: 水産廳 漁政課

註: 1人當 年間消費量은 魚貝類만임('88年은 推定值)

<表 17> 動物性 蛋白質 供給 推移

單位: g / 1人, 1日

	'77	'82	'85	'86	'87	'87/'86(%)
計	20.16(100)	22.71(100)	28.52(100)	30.64(100)	30.45(100)	99.4
魚貝類	13.12(65.1)	13.68(60.2)	16.44(57.6)	17.71(57.8)	16.11(52.9)	91.0
畜産物	7.04(34.9)	9.03(39.8)	12.08(42.4)	12.93(42.2)	14.34(47.1)	110.9

資料: 韓國農村經濟研究院 食品需給表

註: ( )안은 構成比(%)임

## 2. 消費動向

水産物の消費構造는 需要者の生活여건 變化와 食生活 改善으로 加工品の 消費가 漸増하여 '88년에 加工用으로 利用한 原料魚는 1,925千톤으로 總漁獲量의 79%를 占有하고 있으며 '86年 부터 每年 平均 3%씩 增加하고 있는 바 특히 煉製品, 통조림, 調味加工品の 伸張幅이 크다.

〈表 18〉 水産物利用動向

單位：千噸

	'81	'87	'88	'88/'87(%)
漁獲量	2,270	2,449	2,435	99.4
┌ 鮮魚用	1,033	545	510	93.6
└ 加工用	1,237	1,904	1,925	101.1
乾製品	271	159	142	89.3
冷凍品	281	685	697	101.8
통조림	99	221	195	88.2
煉製品	76	247	276	111.7
鹽辛藏品	37	22	19	86.4
海藻食品	343	294	371	126.2
其他	130	276	225	81.5

資料：水産廳 製造課

註：(1) 遠洋漁獲量은 除外  
(2) 原料魚 基準임!



### 第 4 節 漁 船 勢 力

'88年末 漁船勢力은 99千隻에 948千톤으로 '87년에 비하여 척수는 5.2%, 톤수는 4.0% 증가하였다. 이중 動力船은 전체 어선가운데 척수로는 79.2%, 톤수로는 97.6%로서 '77년의 44.8%, '82년의 77.5%를 감안할 때 급격히 동력화 추세로 이행되고 있음을 볼 수 있다.

<表 19> 漁 船 勢 力 推 移

單位：隻, 噸, HP

		'77	'82	'87	'88	'88/'87(%)
計	척 수	66,506	86,515	94,155	99,024	105.2
	톤 수	682,591	807,570	911,958	948,190	104.0
	평균톤수	10.3	9.3	9.7	9.6	99.0
動力船	척 수	29,834	67,084	74,835	78,424	104.8
	톤 수	636,445	784,708	890,449	925,501	103.9
	마 력 수	1,865,632	2,797,024	4,026,836	4,701,283	116.7
無動力船	척 수	36,672	19,431	19,320	20,600	106.6
	톤 수	46,146	22,862	21,509	22,689	105.5
動力化率 (%)	척 수	44.8	77.5	79.5	79.2	
	톤 수	93.2	97.2	97.6	97.6	

資料：農林水産部 農林水産統計年報

漁業別 척수는 沿海漁船이 58.2%를 차지하고 있으며 養殖漁船이 37.7%, 內水面漁船이 3.0%, 遠洋漁船이 0.8%, 其他漁船이 0.3% 순으로

나타나고 있고 톤수로는 沿近海漁船이 48.4%, 遠洋漁船이 42.9%, 養殖漁船이 4.8%, 內水面漁船이 0.2%, 其他漁船이 3.7%를 차지하고 있다.

·表 20· 漁業別 漁船 勢力

單位：隻, %

		'77	'82	'87	'88	'88, '87(%)
計	척 수	66,506	86,515	94,155	99,024	105.2
	톤 수	682,591	807,570	911,958	948,190	104.0
沿近海	척 수	41,114	46,824	53,358	57,637	108.0
	톤 수	283,489	395,188	452,218	458,528	101.4
養殖	척 수	22,399	35,191	36,545	37,328	102.1
	톤 수	24,816	40,813	44,416	45,248	101.9
內水面	척 수	1,673	3,251	3,193	2,951	92.4
	톤 수	1,232	2,686	2,730	2,400	87.9
遠洋	척 수	846	646	710	761	107.2
	톤 수	332,410	330,422	377,469	406,979	107.8
其他	척 수	474	603	349	347	99.4
	톤 수	40,644	38,461	35,125	35,035	99.7

資料：農林水産部 農林水産統計年報

船質別로는 木船이 대부분 5톤미만의 소형어선으로써 아직도 全體 漁船의 92.0%(隻數基準)를 차지하고 있으나 전체 톤수의 26.6%에 지나지 않으며 鋼船과 合成樹脂船이 점차 늘어나고 있는 趨勢이다.

또한 톤급별로 보면 5톤未滿의 漁船은 全體 漁船 隻數 對比 87.5%, 톤수로는 13.5%를 차지하고, 5~50톤 漁船은 척수·톤수가 全體漁船의

9.1%와 15.0%를 차지하고 있고 50톤이상의 大型漁船은 척수·톤수가 全體漁船의 3.4%와 71.5%를 차지하고 있다.

<表 21> 船質別 漁船 勢力

單位：隻, 噸

		'77	'82	'87	'88	'88/'87(%)	
計	척 수	66,506	86,515	94,155	99,024	105.2	
	톤 수	682,591	807,570	911,958	948,190	104.0	
木 船	척 수	64,191	82,823	87,817	91,140	103.8	
	톤 수	223,858	252,410	246,743	252,552	102.4	
鋼 船	척 수	2,183	3,155	4,050	4,022	99.3	
	톤 수	458,313	553,292	656,451	683,540	104.1	
合成樹脂 (FRP)	척 수	132	537	2,288	3,862	168.8	
	톤 수	420	1,868	8,764	12,098	138.0	

資料：農林水産部 農林水産統計年報

<表 22> 噸級別 漁船 勢力

單位：隻, 噸

	'77		'86		'88		'88/'87(%)	
	척수	톤수	척수	톤수	척수	톤수	척수	톤수
計	66,506	682,591	93,037	883,851	99,024	948,190	105.2	104.0
1톤미만	45,506	47,517	28,525	20,847	33,252	23,659	113.7	110.7
1~5톤 미만	10,936	33,772	52,823	100,749	53,354	104,534	100.8	102.4
5~50톤 미만	7,879	128,037	8,370	134,477	9,019	142,628	104.7	103.5
50~100톤 미만	1,296	99,507	2,085	171,041	2,046	166,779	98.2	98.0
100~200톤 미만	247	37,016	587	79,071	613	82,885	101.0	101.5
200톤 이상	642	336,742	647	377,666	740	427,705	107.1	107.2

資料：農林水産部 農林水産統計年報

## 第5節 漁家經濟

### 1. 漁家人口

産業構造가 高度化되어 감에 따라 漁民들의 離漁現象이 해마다 深化되어 가고 있다. '88年末 漁家人口는 前年보다 33千名(△5.2%)이 줄어든 602千名으로 이는 지난 5年間('83~'87)의 平均감소율 3.4%보다 큰 폭으로 감소한 것이다. 또한 漁家戶數도 '88年末 138千戶로 前年보다 3千戶(△2.2%)가 줄어들어 지난 5年間('83~'87)의 平均감소율 0.7%보다 큰 폭으로 감소하였다.

이는 干拓·臨海工團造成 등으로 인한 漁場喪失과 漁況不振 및 취업·자녀교육 등 漁村 生活與件이 劣惡함에 기인한 것이라고 볼 수 있다.

〈表 23〉

漁家人口와 戶數

單位: 名, 戶, %

	'77	'82	'87(A)	'88(B)	增減率(B/A)
漁 家 人 口	871,178	754,523	634,766	601,618	△5.2
(總人口對比構成比)	(2.4)	(1.9)	(1.5)	(1.4)	
漁 家 戶 數	153,133	146,333	141,204	138,051	△2.2
戶 當 漁 家 人 口	5.7	5.2	4.5	4.4	△2.2

資料: 農林水産部 漁業基本統計調査結果

한편 漁業從事者의 연령별 구성을 보면 20~49세의 靑壯年層의 감소 현상이 현저하여 '87年보다 5.4%가 줄어든 반면 50세이상의 漁家人口는 오히려 2.9%가 증가하였으며, 여성종사자의 구성비율도 '82年의 38.7%에서 '88년에는 41.8%로 높아져 漁村人力 構造가 계속 노령화, 婦女化되어 가고 있음을 나타내 주고 있다.

<表 24> 漁業從事者의 年齡, 性別 構成

單位：千名, %

		'77	'82	'87(A)	'88(B)	增減率(B/A)
年 齡 別	14~19세	34.0	11.2	3.2	2.8	△12.5
	20~49세	212.3	193.1	163.4	154.6	△ 5.4
	50세이상	82.8	73.1	88.6	91.2	2.9
	(構成比)	(25.2)	(26.4)	(34.7)	(36.7)	
從 事 者		329.1	277.4	255.2	248.6	△ 2.6
性 別	男 子	201.5	170.1	150.2	144.7	△ 3.7
	女 子	127.6	107.3	105.0	103.9	△ 1.0
	(構成比)	(38.8)	(38.7)	(41.1)	(41.8)	

資料：農林水産部 漁業基本統計調査結果

어업형태별 漁家變動을 보면 無動力船을 動力船으로 교체하여 감에 따라 無動力船 사용가구는 前年보다 17.6%가 감소된 반면 動力船 사용가구는 2.9%가 증가하였고, 漁船非使用家口와 養殖業家口는 漁場喪失 등으로 各各 4.7%, 1.0% 감소하였다.

專·兼業別 漁業家口의 변동상황을 보면 經營者家口中 專業家口는 前年보다 1.3%가 줄어든 반면 兼業家口는 2.4%가 감소하였다.

이와같이 專業家口의 감소율이 兼業家口보다 둔화된 것은 점차 어업 전문화가 진행되고 있음을 보여주고 있다.

〈表 25〉 漁業形態別 漁業家口

單位：千戶，%

	'83	'87(A)	'88(B)	增減率(B/A)
總 漁 家	147.4(100)	141.2(100)	138.1(100)	△ 2.2
經營者家口	127.8(86.7)	123.8(87.7)	122.0(88.3)	△ 1.5
動力船使用	22.3(15.1)	31.0(22.0)	31.9(23.1)	2.9
無動力船使用	11.7( 8.0)	3.4( 2.4)	2.8( 2.0)	△17.6
漁船非使用	34.8(23.6)	31.9(22.6)	30.4(22.0)	△ 4.7
養 殖 業	59.0(40.0)	57.5(40.7)	56.9(41.2)	△ 1.0
被雇備者家口	19.6(13.3)	17.4(12.3)	16.1(11.7)	△ 7.5

資料：農林水産部 漁業基本統計調査結果

註：( )構成比 임

〈表 26〉 專業·兼業別 漁業家口

單位：戶，%

	經營者家口			被雇備者家口		
	'87(A)	'88(B)	增減率(B/A)	'87(A)	'88(B)	增減率(B/A)
計	123,837	121,986	△1.5	17,367	16,065	△7.5
專 業	22,305	22,288	△1.3	4,757	4,415	△7.2
兼 業	101,532	99,698	△2.4	12,610	11,650	△7.7
· 1種	67,137	66,742	△0.6	10,576	9,718	△8.1
· 2種	34,395	32,742	△4.8	2,034	1,932	△5.0

資料：農林水産部 漁業基本統計調査結果

또한 作業性質別 漁業從事者 現況을 보면 전체 어업종사자는 前年對比 2.6%가 감소하였으나 이중 漁船漁業 從事者는 2.9%, 養殖業은 1.7% 自然產 採捕業은 4.9%가 각각 감소하였다.

이와같이 어선어업과 自然產 採捕業의 종사자수가 크게 감소한 것은 漁場環境 惡化에 따른 자원의 감소에 영향을 받은 것으로 推定된다.

<表 27> 作業性質別 漁業從事者 現況

單位：名

	計		漁船漁業		養殖業		自然產採捕業	
	'87	'88	'87	'88	'87	'88	'87	'88
計	255,162	248,635	85,781	83,276	132,451	130,251	36,930	35,108
經營者	231,946	227,352	66,572	65,689	130,381	128,304	34,993	33,359
被雇者	23,216	21,283	19,209	17,587	2,070	1,947	1,937	1,749

資料：農林水産部 漁業基本統計調査結果

## 2. 漁業 總生産

'88年 漁業附加價値는 經常價格 基準으로 前年보다 8.6%가 증가한 1兆5,621億원으로 잠정추계 되었으며 이에 따라 漁業部門이 국민총생산에서 차지하는 비중은 '87年の 1.4%에서 '88년에는 1.3%로 낮아졌으며 농림어업중 어업의 비중도 '87年の 12.7%에서 '88년에는 11.5%로 낮아졌다.

<表 28> 漁業活動別 附加價值

單位：億원, %

	'87(A)		'88(B)		增減率(B/A)	
	經常	'85不變	經常	'85不變	經常	'85不變
國民總生產	1,056,298	994,474	1,235,792	1,115,748	17.0	12.2
農林漁業	113,533	100,975	135,767	110,025	19.6	9.0
漁業	14,388	10,903	15,621	10,858	8.6	△ 0.4
(漁獲)	8,254	6,224	9,392	6,033	13.8	△ 3.1
(養殖)	2,948	2,074	3,300	2,371	11.9	14.3
(遠洋)	3,186	2,605	2,929	2,454	△ 8.1	△ 5.8

資料：韓國銀行

漁業 附加價値의 산출기초가 되는 水産物生産과 魚價動向을 살펴보면 수산물 생산에 있어서는 東海岸 一帶의 暖流強勢로 인한 水溫上昇으로 冷水性 魚種인 명태, 노가리 등의 漁獲量이 부진하였고 '88年 2月 경남 영일만 유조선 沈沒事故로 어장이 오염되어 操業出漁回數 감소로 漁獲量이 감소하였다.

또한 水質汚染 및 가뭄으로 인하여 軟體動物 및 內水面 漁撈漁業의 生産도 不振을 면치 못하였으며 '87. 1~4月까지는 北洋에서의 韓·美 共同事業 漁獲量을 遠洋漁業 生産量에 포함하였으나, '87. 5月 이후에는 이를 제외하여 計數上 遠洋漁業 生産量도 감소를 나타냈다.

반면에 養殖分野에 있어서는 '87~'88年産 양식감 풍작으로 海조류 생산량이 증가하였고, 내수면 양식어업에 있어서도 養魚場 面積이 增加되어 生産量이 多少 增加되어 좋은 대조를 이루고 있다.

全體적으로 '88年 수산물생산량은 前年對比 3.7%가 감소되었으나 수



산물 도매가격은 9.0%가 上昇하여, 漁業附加價値에 있어서는 經常價格 基準으로 8.6%의 성장을 가져왔다.

### 3. 漁家所得

'88年 家口當 漁家所得은 6,821千원으로 '87年보다 10.6%가 증가되었으며 이 중 어업소득은 漁況不振에 따라 0.9% 증가에 그친 3,451千원으로 나타났고 어업외소득은 3,370千원으로 '87年 對比 22.7% 상승하여 어가소득에서 차지하는 比重도 前年の 44.5%에서 49.4%로 크게 높아졌다.

<表 29>

漁家所得의 構成

單位：千원, %

	'82	'87(A)	'88(B)	增減率(B/A)
漁 家 所 得	3,279	6,166	6,821	10.6
漁 業 所 得	1,960	3,420	3,451	0.9
漁 業 外 所 得	1,319	2,746	3,370	22.7
漁業外所得比率	40.2	44.5	49.4	

資料：農林水産部 漁家經濟調査結果

어업형태별로 보면 養殖業家口의 소득이 前年보다 크게 증가하였으나 漁船漁業, 自然産採捕業 家口所得은 前年과 비슷한 수준의 증가율을 나타냈다. 따라서 양식업가구 소득은 어가평균소득에 근접하고 있으나 無動力船 使用家口 소득은 漁家 平均所得과의 격차가 더욱 심화되고 있다.

表 30. 漁業形態別所得構成

單位：千원

家口別	'87(A)	%	'88(B)	%	增減率(B/A) (%)
全國平均	6,166	100	6,821	100	10.6
漁船非使用	5,163	84	5,645	83	9.3
無動力船使用	4,828	78	5,161	76	6.9
動力船使用	9,383	152	9,955	146	6.1
養殖業	5,774	94	6,707	98	16.2

資料：農林水産部 漁家經濟調查結果

#### 가. 漁業所得

'88년의 漁業粗收入은 7,882千원으로 '87年보다 4.0%가 늘어난 반면 어업경영비는 油價引下에도 불구하고 6.6%가 증가한 4,431千원으로 粗收入 增加率을 上廻함에 따라 어업소득은 '87年 對比 0.9% 增加한 3,451千원에 그치고 말았다.

漁業粗收入 增加에 있어서 漁撈收入은 異常氣溫으로 인한 暖流強勢로 명태, 정어리 등의 漁業生産量이 감소한 결과 前年對比 2.6% 增加에 그친 반면 養殖收入은 가뭄으로 인한 軟體動物의 生産량 감소에도 불구하고 養殖김 풍작 등 海藻類 生産의 증가와 가격상승으로 13.8% 增加하였다.

漁業經營費는 油價引下에도 불구하고 임금상승 등 인건비가 증대하고 漁具費 및 養殖施設 補修費의 증대로 漁撈, 養殖漁業의 經營費는 각각 3.0%, 22.5%가 증가하여 전체적으로 前年對比 6.6%가 증가하였다.

<表 31>

漁業所得構成

單位：千원, %

	'82	'87(A)	'88(B)	增減率(B/A)
漁業所得	1,960	3,420	3,451	0.9
漁業粗收入	3,513	7,577	7,882	4.0
· 漁撈收入	2,626	5,888	6,042	2.6
· 養殖收入	802	1,535	1,747	13.8
· 其他收入	85	154	93	△39.6
漁業經營費	1,553	4,157	4,431	6.6
· 漁撈支出	1,138	3,316	3,416	3.0
· 養殖支出	256	506	620	22.5
· 其他支出	159	335	395	△17.9

資料：農林水産部 漁家經濟調查結果

나. 漁業外所得

'88年의 漁業外所得은 3,370千원으로 前年의 2,746千원보다 22.7%가 增加하였다. 어업외소득이 이처럼 크게 신장된 것은 '88年 政府 하·추곡수매가 인상 등 농축산물 가격상승에 따라 農業所得이 增加하고 상공서비스 수입과 노임 및 급료 등의 事業外所得이 增加하였기 때문이다.

이중 農業所得은 1,386千원으로 '88정부 하·추곡가 인상과 西南海岸의 주요소득 작물인 마늘 등 農家販賣價格의 上昇으로 20.6%가 증가하였으며 商工서비스업을 겸업하는 漁家の 증가 등으로 기타 겸업소득도 전년에 비해 22.7%가 증가하였다.

또한 노임, 급료 등의 收入增加 등 事業外所得과 送金補助 등 移轉所得도 각각 13.8%, 30.1%가 증가하였다.

〈表 32〉 漁業外所得構成

單位：千원, %

	'82	'87(A)	'88(B)	增減率(B/A)
漁業外所得	1,319	2,746	3,370	22.7
農業所得	513	1,149	1,386	20.6
其他兼業所得	94	172	211	22.7
事業外所得	712	494	562	13.8
移轉所得	-	931	1,211	30.1

資料：農林水産部 漁家經濟調查結果

#### 다. 家計費

'88年의 漁家所得 6,821千원 가운데서 租稅公課金を 控除한 可處分 소득은 '87年보다 10.9%가 늘어난 6,762千원이었으며 加쳐분 소득중 家計費는 4,684千원으로 加계비를 제외한 漁家の 經濟剩餘는 前年보다 35.7%가 늘어난 2,008千원인 것으로 나타났다.

〈表 33〉 漁家戶營 可處分所得 및 家計費

單位：千원, %

	'82	'87(A)	'88(B)	增減率(B/A)
漁家所得	3,279	6,166	6,821	10.6
可處分所得(A)	3,143	6,095	6,762	10.9
家計費(B)	2,700	4,502	4,684	4.0
分家支出	61	113	70	△38.1
經濟剩餘	382	1,480	2,008	35.7
平均消費性向(B/A)	85.9	73.1	69.3	

資料：農林水産部 漁家經濟調查結果

家計費 4,684千원은 前年對比 4.0%가 增加한 수준으로, 內容別 支出을 보면 피복비 및 교육비, 광열수도비 등이 크게 증가한 반면 住居費는 '87년에 비하여 7.7% 감소하였다.

한편 가계비중 음식물비의 비중이 낮아짐에 따라 엔겔계수는 '87년의 28.4%에서 '88년에는 27.4%로 낮아졌다.

<表 34> 漁家戶當 家計費 支出 內譯

單位：千원, %

	'82	'87(A)	'88(B)	增減率(B/A)
家 計 費	2,700	4,502	4,684	4.0
飲 食 物 費	999	1,279	1,282	0.2
住 居 費	211	377	348	△ 7.7
被 服 費	184	272	308	13.2
光熱水道費	164	204	216	5.9
教 育 費	290	569	606	6.5
其 他	852	1,801	1,924	6.8
엔겔係數	39.0	28.4	27.4	

資料：農林水産部 漁家經濟調查結果

#### 4. 漁家資産 및 負債

'88년의 漁家戶當 平均資産은 26,405千원으로 前年對比 16.6%가 증가되었다. 資産의 증가요인을 보면 地價상승에 따른 토지평가액 등 固定資産의 증가와 예·저금 및 현금보유의 流通資産의 증가에 따른 것이다. 특히 어가잉여금의 증대와 평균소비성향의 저하로 예·저금이 지난해

보다 32.2%가 증가된 2,707천원으로 높은 증가율을 보이고 있고 海難災害 등 緊急事態에 對備한 현금보유액이 17.3%가 증가하여 漁家經濟構造가 점차 健全해지고 있음을 나타내고 있다.

表 35 漁家資產推移

單位: 千원, %

		'82	'87(A)	'88(B)	增減率(B/A)
漁家資產		4,316	22,643	26,405	16.6
固定資產	小計	1,776	15,715	18,539	18.0
	土地	10	7,327	9,284	26.7
	建物	74	4,458	4,528	1.6
	大漁具	1,466	3,646	4,080	11.9
	大動物	226	284	437	53.9
	其他	-	-	210	-
流動資產	小計	1,259	3,275	3,319	1.3
	漁撈用	608	1,556	1,649	6.0
	養殖用	426	1,004	903	△10.1
	在庫量	225	716	699	△2.4
	其他	-	-	68	-
流通資產		1,281	3,653	4,547	24.5
(預·貯金)		(442)	(2,047)	(2,707)	(32.2)

資料: 農林水産部 漁家經濟調査結果

'88年의 漁家戶當 負債는 3,818千원으로 '87年보다 6.1% 감소하였으며 차이차별로는 농수축협 등 金融機關 부채가 2,736千원(71.7%), 私債가 1,082千원(28.3%)으로 구성되어 있다. 금융기관 부채는 前年의 2,800千원에 비하여 2.3% 감소하였으나 私債는 '87年의 1,264千원보다 14.4

% 감소하여 私債比率도 '87년의 31.1%에서 28.3%로 낮아져 어가의 부채구조가 점차 制度圈 金融으로 흡수되고 있음을 보여주고 있다.

한편, 부채의 용도별 내역을 보면 생산성 부채가 2,683천원(70.3%), 家計性負債가 970천원(25.4%), 債務償還을 위한 부채가 165천원(4.3%)으로 구성되어 있으며, 生産性負債의 構成比가 前年の 67.0%에서 70.3%로 증가하여 漁家負債의 대부분은 재생산을 위한 投資財源 마련을 위한 부채로 점차 개선되고 있음을 나타내고 있다.

<表 36> 漁 家 負 債 推 移

單位：千원, %

		'82	'87(A)	'88(B)	增減率(B/A)
漁 家 負 債		1,337	4,064	3,818	△ 6.1
借 入 處 別	金 融 機 關	526 (39.3)	2,800 (68.9)	2,736 (71.7)	△ 2.3
	私 債	812 (60.7)	1,264 (31.1)	1,082 (28.3)	△14.4
	生 産 性	888 (66.4)	2,721 (67.0)	2,683 (70.3)	△ 1.4
用 度 別	- 漁業資金	798	2,309	2,220	△ 3.9
	- 兼業資金	90	412	463	12.4
	家 計 性	402 (30.1)	1,170 (28.8)	970 (25.4)	△17.1
	債務償還用	47 (3.5)	173 (4.2)	165 (4.3)	△ 4.6

資料：農林水産部 漁家經濟調查結果

註：( )는 構成比임

## 第 6 節 水產物 價格

'88年 水產食品 都賣物價는 前年 價格 上昇率인 10.7%보다 낮은 9.0%의 上昇率을 나타냈다. 이는, 農產食品價格上昇率에 比하면 상당히 낮은 水準이나 總都賣物價 上昇率 3.7%에 比하여는 크게 上昇함으로써 全體 物價上昇에 多少의 影響을 미쳤다.

이처럼 '88年 水產物價格이 上昇한 主原因은 日本의 恩貨 強勢 등 對外的인 輸出與件의 好轉과 漁獲量 減少로 供給이 不足함에 따른 것이다.

類別 價格動向을 살펴보면 鮮魚介類는 고등어, 쥐치를 除外한 大部分의 魚種이 前년에 比하여 漁獲이 不振하였고 이들 魚種도 煉肉 등 加工原料의 需要 및 輸出·消費需要 增加로 前年平均對比 12.2%가 上昇하였으며, 특히 가오리, 굴, 명태 등의 限時的 漁獲 魚種이 큰 幅으로 價格이 上昇하였다.

塩乾魚類인 마른멸치는 生産量이 크게 增加하였음에도 불구하고 需要의 大量增加로 因하여 前年平均對比 29.4%가 上昇하였으며 마른오징어는 漁獲의 順調 및 供給의 圓滑로 因하여 前年平均對比 8.3%가 下落하였다.

海藻類는 김, 미역의 作況好調로 前年平均對比 9.7%가 下落하였다.



<表 37>

水産物 都賣物價 騰落率

基準：'85=100

單位：%

	'87		'88	
	前年末對比	前年平均對比	前年末對比	前年平均對比
總 都 賣 物 價	2.7	- 0.4	2.3	3.7
農 産 食 品	16.9	- 2.6	10.8	17.8
水 産 食 品	1.8	10.7	16.9	9.0
鮮 魚 介 類	- 2.3	8.1	19.4	12.2
가 자 미	45.3	15.2	5.5	34.1
조 기	-13.5	15.3	11.3	3.5
갈 치	6.0	10.3	18.0	14.1
고 등 어	- 8.6	- 1.0	- 5.3	-33.0
불 오 정 어	-28.4	-10.6	40.5	4.2
명 태	-10.5	20.2	30.2	16.1
굴	21.5	- 6.2	33.3	65.2
삼 치	27.1	4.3	18.1	35.0
가 오 리	51.9	9.3	52.8	77.2
꽃 계	24.2	72.5	- 5.1	12.7
조 개	55.8	35.2	27.6	47.7
塩 乾 魚 類	- 5.3	-11.7	44.7	11.8
마른오징어	-12.1	4.2	8.4	- 8.3
마른멸치	-10.4	1.8	8.7	29.4
海 藻 類	48.7	50.0	-15.1	- 9.7
김	53.4	70.0	- 9.7	-12.0
미 역	39.4	9.7	-26.8	- 2.0

資料：水産廳 漁政課

## 第 7 節 漁業經營

### 1. 沿岸海漁業

#### 가. 沿岸漁業

'88年末 현재 沿岸漁業의 經營體數는 50,916個로서 전반적으로 매년 증가 추세에 있다.

이를 어업별로 보면 許可漁業의 增加業種은 외줄낚시, 주낙, 통발, 焚窩抄網 등이며 細網을 사용하여 자원에 미치는 영향이 큰 어업으로서 오래전부터 새로운 許可를 抑制하고 점차 감축해 가는 沿岸 안강양漁業(해선망, 낭장망)과 流刺網, 帆船底引網, 帆船桁網, 帆船旋網 등이 감소하였다.

免許漁業으로는 漁村契에 免許 優先權이 있는 共同漁業(제 1, 2, 3종)은 약간씩 증가하였으나 어구를 고정하여 회유해 오는 고기를 漁獲하는 소극적인 定置漁業은 어획부진으로 점차 감소한 경향을 보이고 있다.

沿岸漁業은 가족단위로 운영하는 小規模漁業으로 겸업이 대부분이며 '80년대 들어와서는 限定된 어장에 漁獲努力量을 증가하여 투입함으로써 자원이 점차 감소되고 政府의 경제개발계획 추진에 따라 臨海工團建設, 도시의 확장 등으로 工場排水와 都市下水 등의 유입 및 대형선박 또는 油槽船 등 사고에 의한 유류피해와 대단위 干拓埋立事業으로 인한 어장축소 등 어장환경이 날로 악화되어 어업경영에 어려움이 많다.

<表 38>

沿岸 漁業經營體 推移

單位：個

年度別 漁業別	'77	'82	'87	'88	'88/'87(%)
計	29,661	36,326	49,493	50,916	102.9
機 船 船 引 網	148	135	129	121	93.8
帆 船 底 引 網	212	67	38	34	89.5
안 강 망	1,885	3,576	2,472	2,232	90.3
流 刺 網	10,345	13,177	17,623	17,526	99.4
潛 水 器	273	273	271	272	100.4
定 置 網	673	694	705	698	99.0
외 출 낚 시	3,299	3,300	4,719	4,786	101.4
주 낚	5,085	7,706	10,380	10,923	105.2
第 1 種 共 同 漁 業	1,147	1,578	1,708	1,755	102.8
第 2 種 共 同 漁 業	97	91	60	64	106.7
第 3 種 共 同 漁 業	794	910	1,002	1,065	106.3
其 他 漁 業	5,703	4,819	10,386	11,440	110.1

資料：水產廳 沿近海課

나. 近海漁業

'88年의 近海漁業 經營體는 1,756個로서 前年보다 72개가 감소하였다.

이와 같은 近海漁業의 減少趨勢는 大部分의 近海漁業이 業種別로 許可定數가 設定되어 있으며, 漁業調整 및 資源保護를 위해 新規許可를 抑制하고 있기 때문인 것으로 분석된다. 이를 業種別로 보면 許可定數가 設定되어 있는 大型機船底引網漁業, 中型機船底引網漁業, 大型旋網漁業, 東海區트물漁業, 大型트물漁業은 비교적 안정된 經營을 하고 있어서 '82年 以後 큰 變化가 없으나, 許可定數가 設定되어 있지 않은 近海채낚기漁業은 '87. 8. 1 新規許可抑制措置로 前年보다 70個가 減少하였다.

表 39) 近海漁業 經營體 推移

單位：個

	'77	'82	'87	'88	'88-'87(%)
計	1,811	1,843	1,828	1,756	96.1
大型機底	348	291	277	280	101.1
中型機底	107	107	107	106	99.1
大型旋網	33	48	48	46	95.8
東海區트물	43	43	43	42	97.7
大型트물	72	88	90	89	98.9
近海채낚기	1,208	1,266	1,263	1,193	94.4

資料：水産廳 沿近海課

2. 養殖漁業

'88年 양식어업 經營體는 8,105個로서 '87年보다 217個가 증가되었다. 業種別로는 김 養殖 經營體가 2,181個로 전체의 26.9%이며 다음이 주요 패류양식 1,146個(14.1%), 굴 養殖 1,005個(12.4%)의 順이다. 經營形態別로는 漁村契(協業包含) 經營體가 5,660個로서 總養殖漁業 經營體의 69.8%를 차지하고 있으며, 다음이 個人經營體 1,689個(20.8%), 水協 756個(9.3%)의 順으로 매년 漁村契 經營體가 증가하고 있다. 또한 養殖漁業 經營體 規模를 보면 5人以下 從事 經營體가 54.1%로 가장 많고 다음이 41人以上, 6~10人, 11~15人以下의 順이다. 특히 養殖技術이 普遍化된 品種에 대한 養殖漁業 經營體는 다수어민 所得增大를 위해 漁村契에 면허함으로써 貝類와 海藻類 養殖은 41人以上 經營體가 5人以下에 이어 가장 많은 經營規模를 보이고 있는데 이는 대부분 漁村契 및 水協所有 養殖漁業權을 地先의 다수어민이 共同으로 經營하고 있기 때문이다.

<表 40> 養殖漁業 經營體 構成

單位：個

	計	貝 類						海 藻 類				其 他 水 動 物
		魚類	소계	굴	주요패류	비조개	기타	소계	김	미역	기타	
計	8,105	366	4,210	1,005	1,146	864	1,195	2,913	2,181	670	62	616
수 협	756	22	210	62	94	14	40	506	446	56	4	18
어촌계 (취업)	5,660	186	2,772	591	852	458	871	2,264	1,670	541	53	438
개 인	1,689	158	1,228	352	200	392	284	143	65	73	5	160

資料：水産廳 增殖課

註：主要貝類는 고막, 바지락, 가우락

## 3. 內水面漁業

'88年 內水面漁業 經營體數는 1,136個로 前年보다 224個가 增加되었다. 이는 가두리식 養魚의 主宗을 이루고 있는 향어를 비롯 송어, 민물돔(틸라피아) 등의 養殖技術開發과 아울러 淡水魚 需要 증증에 따라 民資에 依한 養魚場 施設이 擴張된 것으로 推定된다.

魚種別 構成은 가두리식 養魚場에서 향어 등 잉어類의 養殖과 무지개 송어, 뱀장어, 민물돔 등의 養魚가 增加趨勢에 있다.

〈表 41〉

內水面漁業 經營體 推移

單位: 個

	'85	'86	'87	'88	'88/'87(%)
計	561	701	912	1,136	124.6
잉 어	232	214	224	232	103.6
향 어	80	149	223	293	131.4
뱀 장 어	114	123	141	170	120.6
송 어	74	119	141	180	127.7
其 他	61	96	183	261	142.6

資料: 水産廳 資源造成課

## 4. 遠洋漁業

우리나라 원양어업은 沿岸國의 입어조건 強化 등 漁業資源 自國化 政策의 積極적인 推進과 美國의 北太平洋 직접어획할당량의 終熄 및 공동사업물량의 減少와 國際漁業 環境의 變化에 따른 經費負擔의 증가, 漁場의 確保難 등 어업경영에 많은 어려움을 겪어 왔다.

어려운 國際漁業 環境을 극복하고 우리나라 遠洋漁業을 지속적으로 發展 시키기 위하여 政府에서는 出漁資金 630億원을 適期에 支援하여 출어에 따른 자금 압박을 解消하는 한편 國際水産機構와 沿岸國의 입어 및 規制活動을 分析하여 業界의 어장확보를 支援하고 노후어선의 代替와 어선원의 作業環境 및 처우를 改善하여 生産性 向上에 주력하였다.

이에 따라 '88년에는 前年에 比하여 다랭이漁船 24隻, 오징어漁船 11隻, 트롤漁船 7隻 등 42隻이 증가되어 遠洋漁船 隻數는 754隻으로 늘어났으며, 원양어업의 經費중 큰 몫을 차지하는 油類와 船需品の 가격이 安定되고 魚價도 원만한 上昇勢를 유지하여 經營收支 및 재무구조가 다소 改善되었다.

<表 42>

遠洋漁船推移

單位: 隻

	'84	'87	'88	'88/'87(%)
計	614	712	754	105.9
다랭이 漁業	237	269	293	108.9
- 獨航延繩	156	189	199	105.3
- 基地延繩	101	61	69	113.1
- 旋網	12	20	23	115.0
- 流刺網	-	-	2	
오징어 漁業	136	207	218	105.3
- 流刺網	117	140	150	107.1
- 채낚기	19	67	68	101.5
트롤 漁業	233	232	239	103.0
- 獨航	43	43	47	109.3
- 基地	83	96	102	106.3
- 새우	107	93	90	96.8
기타 漁業	8	4	4	100

資料: 水産廳 遠洋開發擔當室

註: 其他漁業은 가다랭이채낚기, 상어 流刺網 등임

## 第8節 水産金融

水産金融의 自立基盤 確立을 위하여 信用店舖를 擴張하고 온라인施設을 60個所에서 107個所로 大幅 擴大하여 預受金 増大를 꾀하였으며 資金의 擴大供給 및 適期 支援으로 漁民의 便益을 도모하였다.

〈表 43〉

水産資金推移

單位：百萬元

	'77	'82	'87	'88	'88/'87(%)
計	117,769	367,756	974,461	1,067,972	109.6
財政資金	25,982	95,796	262,490	325,797	124.1
金融資金	91,787	271,960	711,971	742,175	104.2

資料：水協中央會 年次報告書

## 가. 水産資金의 調達

水産資金은 水協 自體資金과 政府의 財政貸下金, 金融借入金 등으로 構成된다.

'88년말 信用事業 總規模는 1兆680億 원으로 前年보다 9.6% 증가되었으나 水協의 資金自立度는 農漁村綜合對策 推進에 따른 財政資金의 擴大 供給과 韓銀借入金의 增加 등으로 '87년도보다 낮아진 47.9%로 나타났다.



〈表 44〉 水産資金調達

單位：百萬圓

	'87		'88		'88/'87 (%)
	金額	構成比(%)	金額	構成比(%)	
計	974,461	100	1,067,972	100	109.6
自體資金	526,308	54.0	511,887	47.9	97.3
· 預受金	235,632	24.2	263,089	24.6	111.7
· 特別會計預託金	81,080	8.3	75,093	7.0	92.6
· 會員換授受金	209,596	21.5	173,705	16.3	82.9
借入金	448,153	46.0	556,085	52.1	124.1
· 韓銀	171,300	17.6	222,576	20.8	129.9
· 財政資金	119,386	12.2	134,049	12.6	112.3
· 諸基金	150,732	15.5	191,798	18.0	127.2
· 外貨借入金	6,735	0.7	7,662	0.7	113.8

資料：水協中央會 年次報告書

〈表 45〉 水協自體資金造成實績

單位：百萬圓

	'87未殘	'88 純增			'88未殘
		目標	實績	%	
計	697,059	136,364	140,137	102.8	837,196
漁民貯蓄	260,363	66,364	79,577	119.9	339,940
· 相互金融	162,779	50,000	67,469	134.9	230,248
· 出資	49,165	7,754	7,289	94.0	56,454
· 共濟	48,419	8,610	4,819	56.0	53,238
一般受信	436,696	70,000	60,560	86.5	497,256
· 中央會	235,617	40,000	27,433	68.6	263,050
· 組合	201,079	30,000	33,127	110.4	234,206

資料：水協中央會 年次報告書

註：本表의 中央會 一般受信에는 外貨預受金 39百萬圓은 別途計理로 未包含

나. 水産資金의 運用

'88년 水産資金 運用額중 貸出金は 8,094億원으로 總規模의 75.8%를 차지하고 있으며 支拂準備金 등 其他資金으로 24.2%가 運用되었다.

貸出金중 가장 큰 비중을 차지하고 있는 營漁資金은 沿近海漁業에 3,210億원(83.6%), 遠洋漁業에 630億원(16.4%)을 供給하였다.

表 46) 水産資金 運用

單位：百萬원

	'87		'88		'88/'87 (%)
	金額	構成比(%)	金額	構成比(%)	
計	974,461	100.0	1,067,972	100.0	109.6
貸出金	702,423	72.1	809,439	75.8	86.8
他事業支援	19,517	2.0	27,836	2.6	142.6
· 一般事業	14,670	1.5	14,588	1.4	99.4
· 特別會計	4,847	0.5	13,248	1.2	273.3
支拂現金	142,535	14.6	144,503	13.5	101.4
其他	109,986	11.3	86,194	8.1	78.4

資料：水協中央會 年次報告書

表 47) 營漁資金供給

單位：億원

		'87	'88	'88/'87(%)
所	要 額	6,757	7,262	107.5
供	給 額	3,500	3,840	109.7
沿近海	所 要 額	4,980	5,377	108.0
	供 給 額	3,000	3,210	107.0
遠洋	所 要 額	1,777	1,885	106.1
	供 給 額	500	630	126.0

資料：水産廳 協同組合課

## 第 9 節 漁村經濟 活性化

### 1. 漁民負擔輕減

#### 가. 農漁村經濟活性化 綜合對策 推進

'87. 12. 9 農漁村經濟活性化 綜合對策을 樹立 施行하여 '87. 3. 16 發表한 農漁家負擔輕減 對策에서 相互金融으로 支援한 私債 代替資金의 金利를 14.5%에서 10%로 引下하였고, 負債輕減對策에서 除外된 農地 0.5ha 초과 農漁家の 農水産關聯資金의 償還期間도 당초의 償還期間에 불구하고 5年 据置 7年 償還토록 하였다.

<表 48> 經濟活性化 綜合對策 推進('88. 9.30 最終分)

單位：億圓

	延期對象		延期實績		未延期	
	件數	金額	件數	金額	件數	金額
計	10,639	1,524	6,487	1,232	4,152	291
漁船建造	3,987	328	2,130	237	1,857	90
水産施設	2,871	162	1,515	118	1,356	44
漁民後繼者	3,335	228	2,461	173	874	55
計劃造船	434	801	376	702	58	99
借款資金	12	5	5	2	7	3

資料：水産廳 協同組合課

나. 營漁資金 및 漁家負債對策 利差 補填

營漁資金金利引下(10%→8%)로 發生한 利差額 3,270百萬元과 農水産 關聯資金金利引下에 따른 利差額 2,097百萬元 및 零細漁家 中長期資金 金利引下로 發生한 利差額 51百萬元 등 總5,418百萬元을 政府에서 補填 하여 漁民負擔을 輕減하였다.

<表 49> 營漁資金 및 漁家負債對策 利差補填 實績

單位：百萬元

資 金 別	貸 出 平 殘	利 差(%)	補 填 額
計	310,837		5,418
○ 營 漁 資 金	236,905		3,270
- '87 資 金	236,495	1.38	3,264
- '86 資 金	284	1.28	4
- '85 資 金	126	2.0	2
○ 農 水 産 關 聯 資 金	73,066		2,097
- 計 劃 造 船	63,590	3.0	1,908
- 水 産 開 發	9,205	2.0	184
- 借 款 資 金	271	1.9	5
○ 零 細 漁 家 中 長 期 資 金	866		51
- 財 政 資 金	475	5.0	24
- 金 融 資 金	391	7.0	27

資料：水産廳 協同組合課

다. 颱風被害漁民約定利子補助

颱風 등 各種 災害發生으로 50%以上 被害漁家에 대하여는 被害發生 日 現在 營漁資金을 貸出받아 使用中인 경우 償還殘額에 대하여 1~2年

間 利子를 免除토록 조치하고 利子免除期間中의 約定利子の 1,428百萬 원을 政府에서 補助하였다.

<表 50> '88 颱風 등 被害漁民 約定利子 補助

單位：百萬元

被 害 別	件 數	元 金	補 助
計	7,190	16,811	1,428
'85 颱風(브렌다)被害	515	893	91
'86 颱風(베라)被害	239	1,272	85
'87 海澄 및 暴風被害	502	1,543	149
'87 颱風(셀마)被害	5,075	10,342	875
'87 颱風(다이너)被害	859	2,761	228

資料：水産廳 協同組合課

## 2. 稅制改善

### 가. 漁業用機資材 附加價値稅 零稅率 適用

農·漁業用機資材에 대한 附加價値稅 零稅率 適用을 위한 租稅減免規 制法 改正('88.12.26)에 따라 同 特例規程('89.2.21) 및 同 施行規則('89. 2.23)이 制定公布되어 漁民이 使用하는 漁網, 浮子 등 13個 品目에 대하 여는 水産業協同組合(漁村契 包含)이 共同으로 購買하는 것 뿐만 아니 라 一般 市中에서 購入하는 漁業用機資材에 대하여도 附加價値稅(10%) 零稅率을 適用 받게됨으로써 漁民에 대한 租稅負擔 輕減額이 年間 約 82 億余원에 달할 것으로 推定된다.

<表 51> 零稅率 適用 機資材 品目

1. 어망	2. 浮子	3. 집어등
4. 自動釣上機	5. 揚網機	6. 양승기
7. 통발	8. 硝壺	9. 낚시
10. 延繩	11. 발장	
12. 해녀용 잠수복, 잠수복지, 물안경 및 태워		
13. 폴리에틸렌로프 및 폴리프로필렌로프		

資料: 水産廳 漁政課

나. 所得標準率 引下

政府에서는 '88年度에 發生한 所得에 대한 所得稅 賦課時 適用 할 所得標準率 適用에 있어, 最低率과 引下率을 水産業分野 全業種(24個)에 대하여 '87年度에 比하여 平均 10% 引下하였고, 안강망(機船), 旋網, 延繩, 定置網(小型) 등 4個 業種에 대하여는 基本率과 最高率도 平均 10% 引下 하였으며, 또한 零細規模 範圍를 全業種에 대하여 大幅 擴大하였다.

<表 52> 所得標準率 引下 內容

單位: %

區 分		'87	'88	備 考
所得 標 準 率	最低率	4.0 ~ 10.0	3.5 ~ 9.0	○全業種 10% 引下
	引下率	4.5 ~ 11.2	4.0 ~ 10.1	"
	基本率	5.0 ~ 12.5	4.5 ~ 12.5	○안강망 등 4個 業種 10% 引下
	最高率	6.8 ~ 17.1	6.1 ~ 17.1	"

資料: 水産廳 漁政課

이와같은 所得標準率 引下 및 零細規模 範圍擴大로 '87년에 비하여 年間 9億余원의 所得稅 負擔이 輕減되었다.

<表 53> 所得標準率 零細範圍擴大

單位：千圓

標準率 年度	最低率	引 下 率		備 考
		이 상	미 만	
'87	10,800~27,000	10,800~27,000	12,000~30,000	○業種別로 相異한 所得額을 全業種이 同一하게 擴大 調整
'88	32,400	32,400	36,000	

資料：水産廳 漁政課

#### 다. 漁業用 免稅油類 供給

附加價值稅 10%와 特別消費稅 9%를 免稅하고 있는 漁業用 油類供給 事業은 '88년에는 前年에 비하여 9.8% 增加한 3,980千드림을 供給함으로써 年間 353億원의 漁民負擔이 輕減되었으며 油價 또한 '88년에 3회 걸친 價格引下 調整으로 '87年 보다 平均 15%引下 되었다.

또한 地域的인 均衡發展과 零細漁民에게 免稅惠澤이 고루 미치도록 落島, 僻地의 小型漁船에 대한 免稅油 擴大 供給事業을 繼續 推進하였으며 特히 '89年 중에는 養殖場 管理船(船外機)에 使用하는 휘발유에 대하여도 免稅 供給할 計劃이다.

<表 54> 免稅油類供給実績

單位：千ㄌ

年度別 油種別	'85	'86	'87(A)	'88(B)	B/A(%)
計	3,033	3,388	3,624	3,980	109.8
輕油	2,413	2,725	2,966	3,359	113
輕質重油	567	601	598	573	96
重油	32	39	33	18	55
潤滑油	21	23	27	30	111
漁民受惠額(百萬ㄌ)	32,894	34,010	35,721	35,310	99

資料：水産廳 漁政課

<表 55> 免稅油價と市中油價比較('89.5)

單位：圓/ㄌ

油種別	免稅油(A)	市中價(B)	差額(B-A)
輕油	26,512	35,800	9,288
輕質重油	23,085	26,288	3,203
重油	18,442	21,388	2,946
燈油	29,889	37,200	7,311

資料：水産廳 漁政課

<表 56> 落島、僻地 免稅油類供給現況

	'86	'87	'88
供給對象(漁村契數)	898	1,004	1,050
供給量(千ㄌ)	207	270	324
漁民受惠額(百萬ㄌ)	2,291	2,943	2,874

資料：水産廳 漁政課



## 第 3 章 水産資源의 開發 利用

### 第 1 節 沿近海 漁場環境의 變化

#### 1. 海 況

'88年度 우리나라 沿近海의 海況을 季節別로 平年海況과 比較하여 보면, 冬季 海況은 暖流(大韓暖流, 黃海暖流)勢力이 強하지만 冷水(시마네冷水, 黃海冷水) 및 沿岸水의 發達도. 冷水 및 沿岸水의 分布域인 東海南部 海域, 西海一部 海域 그리고 南海沿岸 海域은 低溫相, 그 外의 海域은 高溫相이었다.

春季 海況은 春季初까지 弱勢였던 北韓暖流가 春季末에 回復되었고, 黃海低層冷水는 계속해서 持續되었다. 그리고 冬季에 發達한 南海 沿岸水는 春季初까지 持續後 春季末에는 南海中部沿岸의 低溫水로 殘存하였다. 그러나 暖流系水는 春季初까지 強勢였지만 春季末부터 弱화되었다. 따라서 春季初에는 西海와 東海中部 一部海域 및 南海 沿岸域은 低溫相, 그 外의 海域은 高溫相이었으며, 春季末에는 南海 外海域을 제외한 大部分의 海域이 低溫相이었다.

夏季 海況은 平年比 強勢인 暖流勢力으로 東海와 南海에서는 全般的

으로 高温相이었으며, 西海는 殘存하는 黃海低層冷水 勢力으로 暖流系水가 侵降分布를 보인 南部海域을 제외하고는 低溫相이었다.

秋季 海況은 秋季初까지 強勢였던 暖流系水가 秋季末부터 弱勢인 반면에, 秋季初까지 弱勢였던 冷水 및 沿岸水는 秋季末부터 勢力이 回復되었다. 따라서 秋季初에는 一部海域을 제외하고는 全海域이 高温相이었으며, 秋季末에는 西海南部 海域과 제주도~대미도간 海域 및 東海南部 一部外海域을 제외하고는 大部分의 海域이 低溫相이었다.

以上の 結果를 綜合하면, '88年の 海況은 暖流系水가 弱勢였던 春季末과 秋季末을 제외하고는 全般의 으로 平年에 比하여 高温相이었다.

## 2. 漁 況

### 가. 大型旋網漁業

黃海底層冷水와 暖流 사이에 冬季부터 水溫前線이 發達, 持續하므로써 水溫前線緣邊인 黑山島~濟州道~소코트라間에서는 고등어, 삼치, 전갱이를 主 對象으로 周年 密集漁場이 形成되었으나, 對馬島側의 정어리 漁場에서는 出漁隻數 減少로 인하여 閑散한 漁況을 보였다. 이로써 旋網漁業은 '87년에 比하여 정어리를 除外한 高등어, 삼치, 전갱이의 好況으로 順調로운 漁況을 나타내었다.

### 나. 오징어 채낚기 漁業

東海岸에서는 寒·暖流間의 水溫前線이 울릉도~대화도간 海역에서

조밀하게 形成되므로써 密度높은 漁況을 보였으나, 西海岸 沿岸側에서 20°C 以上の 高水溫이 外海側으로 擴張하면서 水溫躍層을 弱화시키므로써 多少 不振한 漁況을 보였다. 이로써 오징어채낚기漁業은 平年 水準의 漁況을 維持하였으나 가장 好況을 보였던 '87년에 比하여는 多少 低調한 漁況을 나타내었다.

#### 다. 刺網漁業

北上하는 暖流勢力이 平년에 比하여 強勢를 보이므로써 全 海域에서 高水溫域이 擴散되었으며, 東海岸에서는 寒流勢力의 平年比 弱勢로 水溫前線도 發達하지 못하였다. 따라서 大部分 沿岸側을 主 操業區域으로 하는 刺網漁業에서는 主 對象魚種(명태, 꽁치, 멸치 등)들의 分散回遊로 '87년에 比하여 不振한 漁況을 보였다. 한편 東中國海域을 操業區域으로 하는 조기流刺網 漁業은 水溫前線緣邊에서 '87年 水準의 漁況을 維持하였다.

#### 라. 近海안강망 漁業

冬季에서 春季에 걸쳐서는 黃海底層冷水와 暖流間에 水溫前線이 조밀하게 形成되므로써 이 前線緣邊에서 조기류를 主 對象으로 密度높은 漁況을 보였으나 夏季以後 暖流域이 擴散되어 長期間 持續하므로써 對象魚群을 分散回遊케 하였다. 이로써 안강망漁業은 '87년에 比하여 조기類를 除外한 갈치, 갑오징어, 꽃게, 말쥐치의 不振으로 低調한 漁況을 나타내었다.

### 3. 主要 水産資源 動向

沿近海漁業의 總漁獲量은 '74년 이후 增加率이 鈍化되기 시작하여 '81년 이후에는 일정한 수준에 머물러 있으며, 單位努力當漁獲量은 '74년 이후 계속적인 減少傾向을 보이고 있다.

主要 魚種에 대한 漁獲狀況을 보면 귀치류漁獲量은 전년에 비하여 44% 增加된 222천톤으로서 沿近海漁獲量中 가장 많았으며, 그 다음은 고등어(163천톤), 정어리(146천톤), 멸치(126천톤), 갈치(104천톤) 順으로서 이들 5개 魚種이 沿近海漁業 生産量의 약 50%를 차지하고 있다.

한편, 生物學的 要因과 資源密度指數 變動의 推移 등 資源力學的인 諸要因에 의하여 분석한 沿近海 主要 魚種別 資源動向을 요약하면, 정어리는 增加趨勢에 있으며, 말귀치, 멸치 등은 비교적 平衡을 維持하고 있고, 참조기, 참돔 등 대부분의 底棲魚類와 전갱이, 콩치 등의 資源狀態는 낮은 水準에 있다.

그 외, 꽃게는 불규칙한 資源動向을 보이고 있으며, 갈치 및 고등어資源의 수준은 최근 低下되는 傾向을 보이고 있다.

表 57) 沿近海 主要魚種別 生産推移

單位：千噸

魚種 年度	귀 치	고등어	정어리	멸 치	갈 치	오징어	빙 태	전갱이	콩 치	꽃 게	기 타	計
'82	183	99	82	162	122	54	38	11	7	19	696	1,473
'84	181	102	178	155	145	40	40	7	2	26	646	1,522
'86	328	104	161	202	108	37	47	7	7	31	694	1,726
'87	154	101	194	168	113	61	20	14	6	3	692	1,526
'88	222	163	146	126	104	50	13	40	3	32	613	1,512

資料：國立水産振興院

## 4. 漁場環境의 變化

'88年 우리나라 沿岸海域의 污染動向을 보면 有機汚染은 全般的으로 平衡 또는 增加傾向이였으며, 특히 馬山灣, 行岩灣 등 鎮海灣 全域과 固城, 紫蘭灣, 洛東江下流 海域이 基準超過로 汚染이 尤甚하였고, 半月沿岸, 錦江 및 萬頃江下流, 光陽灣은 基準以下이나 平年에 比하여 增加傾向을 나타냈다. 그리고 忠武沿岸, 閑山灣, 固城灣, 紫蘭灣 등 南海岸 一部海域의 營養塩이 6月以後(특히 9月) 前年比 減少傾向이였다. 한편 南海岸 沿岸養殖漁場에서는 底質汚染의 進行이 顯著하여 夏季貧酸素水塊의 形成과 營養塩 및 Fe, Mn溶出로 赤潮發生을 促進하는 등 底質로부터의 二次汚染이 憂慮된다.

水産資源保全地域中 海域은 鎮東灣이 基準超過로 汚染이 尤甚하였고, 其他 地域은 良好하였다. 內水面은 全體的으로 增加傾向이였으며, 특히 牙山湖, 南陽湖, 插橋湖, 禮唐湖, 榮山湖는 富營養化가 急進行하고 있다.

한편, 全國 重要沿岸海域의 海水 및 水産物中 重金屬, 農藥 및 PCB 含量은 基準值以下로 良好하였다.

赤潮發生 現況을 살펴보면 全國沿岸에서 5~8月 사이에 鎮海灣, 巨濟灣, 北新灣, 溫山灣, 光陽灣, 木浦沿岸, 仁川沿岸에서 總 33件이 發生하였고, 主 赤潮原因生物은 *Cochlodinium*, *Phaeopolykrikos*였다.

또한 赤潮의 特徵으로서는 國內最初로 大形(60 $\mu$ m) 鞭毛藻인 *Phaeopolykrikos hartmanii*에 의한 赤潮가 鎮海灣의 中層水域에서 發生 30日間 持續하였다.

## 第 2 節 水産資源의 造成

### 1. 人工魚礁施設

人工魚礁는 水産資源의 産卵, 棲息에 適合한 環境을 造成, 水産資源을 增強시키는 것은 물론 小型機船底引網 등의 不法操業을 防止하여 水産資源을 保護하는 效果가 있어 '71년부터 沿岸水域 10~50m 水深의 開發適地에 施設하고 있으며 '88년에는 9,678百萬圓을 投資, 7,045ha에 施設하였다.

表 58. 市·道別人工魚礁施設實績

單位: ha, 個, 百萬圓

	計			'71~'87			'88		
	面積	物量	金額	面積	物量	金額	面積	物量	金額
計	38,317	254,890	48,883	31,272	214,586	39,205	7,045	40,304	9,678
釜山	200	1,290	261	100	600	130	100	600	131
京畿	367	3,745	432	257	2,655	293	110	1,090	139
江原	6,256	45,572	7,824	5,176	37,887	6,381	1,080	7,685	1,443
忠南	1,141	8,289	1,405	843	6,499	992	298	1,790	413
全北	1,159	7,503	1,381	845	5,740	964	294	1,763	417
全南	7,738	46,604	10,501	6,222	40,004	8,399	1,516	6,600	2,102
慶北	6,673	43,147	8,547	5,540	36,347	6,875	1,133	6,800	1,672
慶南	10,468	64,377	13,100	8,885	56,105	10,995	1,583	8,272	2,105
濟州	4,315	34,453	5,432	3,384	28,749	4,176	931	5,704	1,256

資料: 水産廳 資源造成課

2. 種苗生産放流

沿岸水產資源의 增強을 위한 種苗放流 및 養殖用 種苗의 安定的 供給을 위해 '73년부터 '87년까지 水產種苗培養場 9個所를 完工한데 이어 '88년에도 慶南 南海에 1個所를 施設中에 있다. 國立水產振興院에서는 '88년에 전북 2,131千마리, 우렁챙이 10,760千마리, 보리새우 및 대하 6,130千마리, 넙치·돔 4,599千마리 等 總 24,210千마리의 種苗를 生産, 漁村契와 民間養殖場 等に 分讓하거나 沿岸에 放流하였다.

<表 59> 水產種苗培養場施設現況

單位：百萬元, 千마리

	施設年度	施設費	主要生産種苗	生産實績	
				'76~'87	'88
計		7,902		54,058	24,210
北濟州	'73	425	전북, 잡돔	6,423	674
注文津	'78	303	전북, 우렁챙이	6,629	1,960
麗川	'79	350	전북, 우렁챙이, 돔	6,733	1,963
迎日	'80	292	전북, 우렁챙이	5,652	1,820
巨濟	'82	711	전북, 보리새우, 넙치	24,862	11,325
莞島	'84	975	전북, 우렁챙이, 돔	2,689	4,528
保寧	'85	959	전북, 조피볼락, 대하	1,070	1,800
扶安	'86	955	전북, 조피볼락	-	140
南濟州	'87	974	돔, 넙치	-	'89生産
南海	'88	1,958	어류, 갑각류, 패류 等	-	'90生産

資料：國立水產振興院

또한 沿岸漁場資源造成의 加速化와 資源造成의 民間參與을 유도하기 위하여 民間種苗培養場에서 生産한 水産種苗을 '86年度부터 買入, 沿岸에 放流하기 시작하여 '88년에는 164百萬원을 投資하여 꽃게, 우럭, 새우 등 1,313萬마리를 買入 放流하였다.

〈表 60〉 民間種苗買入放流實績

單位：萬마리, 百萬원

	'86 ~ '87		'88	
	物 量	金 額	物 量	金 額
計	190	93	1,313	164
꽃 게	98	29	61	19
우 락	92	64	128	95
새 우	-	-	1,124	50

資料：水産廳 資源造成課

대구人工受精卵放流事業은 '81년부터 主要産卵場인 慶南 鎭海灣에서 慶尙南道 主管하에 實施하였지만 '87년부터는 水産業協同組合中央會에서 對漁民 還元事業으로 實施하여 '88년에는 60百萬원을 投資하여 1,868百萬알의 受精卵을 放流하였다.

〈表 61〉 대구人工受精卵放流實績

單位：百萬알, 百萬원

	計	'81~'86	'87	'88
放 流 量	14,537	10,460	2,029	1,868
金 額	519	399	60	60

資料：水産廳 資源造成課



母川에 回歸하는 習性을 이용하는 연어人工孵化放流事業은 '67年 慶南 密陽江에서 最初로 實驗한 以後 每年 擴大實施하여 '88년에는 江原道 南大川을 中心으로한 主要河川에 735萬마리를 放流하였다.

<表 62> 연어放流 및 採捕實績

單位：千마리

	計	'67~'86	'87	'88
稚魚放流	43,355	29,185	6,820	7,350
回歸魚採捕	56	32	10	14

資料：水産廳 資源造成課

### 3. 內水面 稚魚放養

良質의 蛋白質을 供給하고 遊漁環境을 造成하기 위하여 '88년에는 國費 584百萬원을 投資하여 잉어, 떡붕어, 향어, 무지개송어 등의 稚魚 34百萬마리를 放養함으로써 '88년까지 우리나라 內水面中 稚魚放養 可能面積 79천 ha중 約 85%에 해당하는 67천 ha에 稚魚를 放養하였다.

이와같이 放養한 水面의 環境保存과 水質汚染防止를 위하여 淸平湖, 牙山湖, 大清湖 等 15個所의 大單位 水面과 南漢江 上流, 襄陽 南大川 等 主要 江·河川 4個所를 水産資源保全地域으로 指定, 管理하고 있다.

〈表 63〉 稚魚放養実績

單位：千 마리

	水面積 (헥타)	計 劃 (A)	實 績			B/A (%)
			計(B)	'71~'87	'88	
計	78,661	786,610	666,154	631,999	34,155	84.7
○大單位水面	54,044	540,440	492,188	458,033	34,155	91.1
牙山湖	2,800	28,000	4,603	4,603	-	16.4
昭陽湖	7,140	71,400	63,290	59,440	3,850	88.6
衣岩湖	1,378	13,780	2,060	2,060	-	14.9
忠州湖	9,700	97,000	91,299	60,994	30,305	94.1
九了水面 (14個湖)	33,026	330,260	330,983	330,936	-	100.2
○優良貯水地	24,617	246,170	173,966	173,966	-	70.7

資料：水産廳 資源造成課

註：放養完了水面은 淸平, 南陽, 破虜, 春川, 槐山, 大清, 禮唐, 插橋, 雲岩, 榮山, 羅州, 寶城, 安東, 晉陽湖임

〈表 64〉 內水面水産資源保全地域指定現況

單位：ha

大單位	地域別	面積	告示日字	地域別	面積	告示日字
	水面	15個所	27,485			雲岩湖
	淸平湖	810.1	'86. 7.21	羅州湖	780	"
	牙山湖	2,270.2	'84.12.27	寶城湖	122.5	"
	南陽湖	711.2	"	榮山湖	4,508.4	"
	破虜湖	1,026	"	安東湖	3,947	"
	昭陽湖	5,431.6	'86. 7.21			
	春川湖	1,507.4	'84.12.27	河川	4個所	9,224.6
	大清湖	1,547.9	'86. 7.21	南漢江上流	60	'84.12.27
	槐山湖	147.3	"	襄陽南大川	135	'77.12.13
	禮唐湖	959.4	"	益德五十川	1,889.6	'78.11.22
	插橋湖	2,174	"	蔚珍玉邊川	7,140	'82. 1. 8

資料：水産廳 資源造成課

### 第 3 節 漁業秩序確立 및 安全操業指導

#### 1. 漁業秩序確立

'80年代에 들어 沿近海漁業의 伸張率이 현저히 鈍化되고 一部 沿近海 漁業資源의 減少 및 濫獲 現象이 두드러지게 나타나고 있는 바, 이는 沿近海漁業의 外延漁場 擴大 制約, 隣接國과의 操業競爭 深化, 大單位 埋立, 干拓 및 水質汚染 等에 의한 沿岸漁場의 縮小와 漁場環境의 變化 에도 原因이 있으나, 一部 漁民의 不法漁業意識이 根絶되지 않고 있음 에도 그 原因이 있어 '88년에는 漁民들의 自律的인 漁業秩序 確立을 誘導하고 不法漁業 豫防 및 再發防止를 위해 零細 不法漁業者에 對한 實態를 調査하여 이들에 對한 合法漁業으로의 轉業措置를 推進하였으며, 小型機船底引網, 機船桁網과 같은 常習의이고 痼疾的인 不法漁業을 우선적으로 團束하고 특히 每月 10日以上 道單位 合同團束 및 每 2個月마다 全國 一齊團束을 實施하였다.

'88年の 團束實績은 前年보다 415件이 增加한 2,814件으로 海域別로는 南海岸이 2,003件으로 71.2%를 차지하고 있으며, 東海 및 西海는 28.8%인 811件으로 나타났다. 漁業別로는 小型機船底引網과 機船桁網이 1,427件으로 50.7%를 차지하고 있다.

또한 이와같은 指導·團束 強化 및 團束方法의 改善만으로는 不法漁業이 根絶될 수 없음을 감안, 名譽監視官 委囑 運用 等 漁民들의 自律的인 漁業秩序 確立 誘導와 零細 不法漁業者에 對한 實態를 調査, 合法

漁業으로의 轉業을 誘導함으로써 不法漁業의 豫防과 再發을 防止하고 不法漁船의 出入港 統制 및 團束의 效率性 確保를 위한 關聯部處와의 協助를 強化해 나가고 있다.

〈表 65〉 漁業指導船現況

所屬	計	噸級別			
		10~45	50~150	300~500	1,300
計	44隻	31	7	4	2
水産廳	11	1	4	4	2
市·道	33	30	3	-	-

資料：水産廳 指導課

〈表 66〉 不法漁業團束實績

	單位：件				
	'84	'85	'86	'87	'88
計	3,033	2,567	2,985	2,399	2,814
大型機底	28	40	27	23	39
中型機底	27	40	42	46	81
小型機底	1,539	1,186	1,549	1,122	1,193
機船桁網	451	226	276	297	234
潛水器	146	93	103	86	113
船引網	16	34	17	1	30
流刺網	191	91	120	92	109
其他	635	857	851	732	1,015

資料：水産廳 指導課

2. 安全操業 指導

가. 海難事故 現況

'84년부터 '88년까지 5個年間の 海難事故 現況은 年平均 256隻의 事故가 發生하여 187隻은 救助되고, 69隻이 沈沒 하였으며 198名의 人命被害가 發生 하였다.

'88年の 海難事故 發生 動向을 살펴보면 前年과 比較하여 事故發生 隻數는 減少하였으나 沈沒船舶의 增加로 未救助 漁船이 약간 增加하였고 人命被害는 157名(48.6%) 이 減少하였는바 人命被害가 크게 減少된 原因은 '88년에 우리나라 沿近海 漁場을 通過한 颱風이 없었기 때문인 것으로 推定된다.

<表 67> 漁船 海難事故 推移

(單位: 隻, 名)

	'84	'85	'86	'87	'88	'87/'88
事故發生	270	255	241	266	251	94.4
· 救助	211	189	170	196	173	88.3
· 未救助	59	66	71	70	78	111.4
人命被害	115	201	185	323	166	51.4

資料: 水産廳 指導課

'88년에 發生한 海難事故를 原因別로 區分하면 機關故障이 54%로 가장 많고, 運航過失이 36%로 前年보다 다소 증가 하였으며, 類型別 海難事故는 沈水 顛覆으로 因한 人命被害가 133名으로 全體 事故의 80%를 차지하고 있다.

'88年 海域別 海難事故 比率을 보면 事故發生은 南海岸이 全體事故의 37%(94隻), 沈沒 37%(27隻), 人命被害가 34%(56名)로 가장 많이 發生 하였으며, 噸급별 사고는 50~100噸급 漁船이 54%를 차지하여 首位이고, 業種別 事故는 안강망 漁船이 44%로 가장 높은 사고율을 보이고 있다.

<表 68> 原因別, 類型別 海難事故

單位: 隻, 名

計		發 生	沈 沒	人命被害
計		251(100%)	78(100%)	166(100%)
原因別	機關故障	136(54)	25(32)	23(14)
	運軌過失	89(36)	31(40)	52(31)
	氣象惡化	26(10)	22(28)	91(55)
類型別	漂 流	117(47)	1(1)	1(1)
	沈水·顛覆	69(27)	52(67)	133(80)
	衝突·坐礁	50(20)	16(20)	8(5)
	火災·其他	15(6)	9(12)	24(14)

資料: 水産廳 指導課

<表 69> 海域別, 噸級別 海難事故

單位: 隻, 名

計		發 生	沈 沒	人命被害
計		251(100%)	78(100%)	166(100%)
海域別	東 海	29(12)	16(20)	35(21)
	西 海	72(29)	24(31)	56(34)
	南 海	94(37)	29(37)	56(34)
	東中國海	56(22)	9(12)	19(11)
噸級別	10噸 미 안	33(13)	22(28)	41(24)
	10 ~ 50	68(27)	31(40)	24(15)
	50 ~ 100	134(54)	22(28)	71(43)
	100噸 이상	16(6)	3(4)	30(18)

資料: 水産廳 指導課

〈表 70〉 業 種 別 海 難 事 故

單位：隻，名

	發 生	沈 沒	人 命 被 害
計	251(100%)	78(100%)	166(100%)
안 강 망	110(44)	8(10)	26(16)
유 자 망	32(13)	20(26)	9(5)
연 승	22(9)	11(14)	12(7)
통 발	28(11)	10(13)	10(6)
오 정 어 선	26(10)	11(14)	36(22)
저 인 망	17(6)	8(10)	50(30)
트 른	4(2)	2(3)	6(4)
선 망 · 기타	12(5)	8(10)	17(10)

資料：水產廳 指導課

#### 나. 出入港 統制 및 安全操業教育

沿近海 出漁船의 安全操業을 위하여 38個 全國 主要 港口에 所在하고 있는 船舶出入港 申告機關인 統制所 및 合同申告所에 水協의 漁船安全 點檢要員 94名을 配置하여 特定海域 및 操業自制海域 出漁船에 대한 出漁登錄, 漁船團編成 業務를 遂行하는 한편, 나침의, 海圖, 救命胴衣 等重要 航海裝備와 漁船檢査 有効期間, 船員資格 等を 確認 點檢함으로써 漁船이 航海 또는 操業中 發生할지 모르는 各種 海難事故 및 越線被拉을 미연에 방지토록 하고 있으며, 漁民의 出入港申告에 따른 便益 增進을 위하여 大靑島의 申告所를 統制所로 昇格 指定하였다.

船員 安全操業教育으로는 地域別 또는 業種別水協에서 船主, 船長, 機關長, 通信長 等 95,368名을 對象으로 政府施策, 安保教育, 安全操業에

關하여 年 1回 4時間을 實施하였고 盛漁期를 맞이 出漁時는 安全操業 및 越線防止에 關한 特別敎育을 實施하였다.

#### 다. 海難救助

海上에서 事故가 發生하면 莫大한 人命과 財産損失을 가져오기 때문에 事前에 對備하도록 出漁前에 各種 裝備의 異常有無를 點檢하고 入出港 및 操業中에는 同一船團間 相互 安全을 確認하고 有事時에 協助하도록 하고 있다.

水協漁業無線局에서는 每日 操業漁船의 安全을 確認하고 現地 救助機關과 常時 通信網을 設定 海難事故 發生時 事故 內容을 迅速히 通報함과 同時에 隣近 操業漁船에 傳播함으로써 救助 協助 體制를 維持하고 있다.

#### 라. 漁船檢査

漁船檢査는 船體·機關 등 漁船의 主要設備에 대한 성능, 상태를 사전에 點檢하여 漁船의 安全性을 確保함으로써 海難事故를 미연에 예방하여 漁民이 安心하고 生業에 從事할 수 있게 하기 위하여 실시하고 있다. 이러한 목적달성을 위하여 海難事故原因을 분석하여 不意의 事故를 豫防할 수 있도록 檢査項目에 대한 끊임없는 보완, 발전으로 우리 의 實情에 알맞는 현재 的 檢査制度를 정착시켜 왔다.

漁船의 檢査對象은 全動力船과 總噸數 5톤이상 無動力漁船으로서 '88年의 경우 檢査對象漁船 47,470隻中 定期檢査 24,723隻, 中間檢査 911隻 등 總 34,227隻에 대하여 漁船檢査를 實施하였다.



### 3. 災害復舊 支援

毎年 平均 3回 程度 來襲하던 颱風이 다행히도 '88년에는 發生치 아니하여 例年에 비하여 災害로 인한 被害가 적었다.

그러나, 暴風, 海溢 등의 影響으로 세차레에 걸쳐 小規模의 被害가 發生하였으며, 그 內譯을 보면 漁船이 56隻, 增養殖施設로 김 16,410柵, 미역 12,305臺, 툇 245臺, 우럭養殖場 3個所, 內水面 養殖場 1個所와 定置網 2件을 包含 總 41億원의 財産被害를 입어 國庫補助 19億원, 融資 6億원 등 25億원을 被害復舊費로 支援한 바 있다.

施設復舊支援 以外에도 被害漁家 間接支援으로 營漁資金 償還延期 및 3億원에 달하는 1年分 利子を 免除토록 함으로써 신속히 生業에 復歸할 수 있도록 措置하였다.

<表 71>

被害復舊費 支援實績

單位：百萬원

	被害內譯		復舊支援內譯				
	物 量	金額	物 量	計	補助	融資	自擔
計		4,123		2,751	1,883	60	808
漁 船	56隻	55	56隻	80	24	48	8
增·養殖	김16,410柵 등	3,938	김16,410柵 등	2,643	1,850	-	793
內水面	養魚場1個所 등	113	養魚場1個所 등	7	5	-	2
漁 網	2件	17	2件	21	4	42	5

資料：中央災害對策本部

## 第4節 養殖 및 內水面 漁業開發

### 1. 養殖漁業

水産物의 安定的 生産 및 供給으로 養殖漁家의 所得向上을 위하여 養殖漁場 擴大開發을 積極 推進한 結果 '88년까지 淺海 養殖漁場 開發面積은 125千ha에 이르고 있다. 種類別로는 魚類養殖 719ha(0.6%), 貝類養殖 46,849ha(37.4%) 海藻類養殖 74,870ha(59.8%) 其他 水産動物養殖 2,781ha(2.2%)이다. 最近의 養殖漁場 開發은 干拓, 埋立, 臨海工團 建設 등 內灣性漁場의 縮小와 汚染 등의 制約에 對處하기 위하여 外延漁場의 進出과 地域別 特性을 考慮한 高所得 新品種 開發을 擴大하여 나가고 있다.

한편 既存 養殖漁場의 單位生産性 向上을 위하여 養殖漁場 管理指導 強化를 통한 病害의 豫防과 漁場清掃 등 漁場淨化事業의 推進으로 漁場 保全管理에 철저를 기하고 있다. 또한 '88年 養殖漁場 開發을 위한 政府 支援事業으로 7,271百萬원을 투자하여 바지락, 가무락, 고막, 새꼬막 등 漁村契 다수 漁民의 共同 參與와 所得增大가 容易한 品種은 漁村契 所得源 事業으로 支援하였고, 魚類, 우렁챙이 및 眞珠養殖 등과 같이 높은 技術과 많은 資本이 所要되는 事業에 대하여는 漁村契를 비롯하여 經營能力者에게 支援함으로써 貝類 養殖漁場 526ha와 魚類養殖 47個所를 開發하였다. 그리고 養殖漁場 13千ha에 대한 漁場淨化事業을 推進하였고 養殖 基盤施設 13個所에 899百萬원을 支援하였다.

## 2. 內水面 漁業

大單位水面을 開發하기 위한 稚魚放養과 향어, 뱀장어, 무지개송어, 민물돔(틸라피아) 등의 經濟性 魚種養殖에 必要한 飼料費, 燃料費 등의 運營資金을 支援하였고, 養殖魚種의 多樣化와 魚病對策 등의 養魚技術을 指導하였다.

이와 병행하여 地域特性에 맞는 養魚技術開發과 對漁民 技術 指導를 爲하여 全羅北道 內水面開發試驗場을 完州郡으로 移轉, 試驗機器, 장비 등 現代施設을 갖추도록 700百萬원을 投資하였으며, 새마을 養殖契를 育成하기 위하여 마을 共同養魚場 2個所와 淡水魚加工施設 1個所를 支援하였다. 또한, 大單位 水面의 汚染防止를 위하여 環境調査를 持續의로 實施, 漁場環境 및 水質을 保全토록 하였다.

<表 72> 內水面 漁業 支援 實績

單位：個所, 百萬元

		物 量	事 業 費			
			計	補 助	融 資	自 擔
計		41	3,605	56	1,800	1,749
施 設 費	小 計	3	80	56		24
	공 동 양 어 장	2	30	21		9
	담 수 어 가 공	1	50	35		15
運 營 費	小 計	38	3,525		1,800	1,725
	가 두 리	7	600		300	300
	뱀 장 어	17	2,000		1,000	1,000
	송 어	8	600		300	300
	민 물 돔	5	200		100	100
	공동직매장사업	1	125		100	25

資料：水產廳 資源造成課

## 第 4 章 遠洋漁場의 安定的 確保

### 第 1 節 遠洋資源動向

#### 1. 延繩 및 旋網漁業

本 漁業에 의한 다랭이類의 資源狀態를 보면, 황다랭이는 大西洋과 太平洋에서 現在의 漁獲量이 最大持續的 生産量 水準에 이르고 있으며, 資源狀態는 一定한 傾向을 維持하고 있다. 特히 太平洋에서의 深層延繩 漁獲量이 持續的으로 增大되는 것으로 評價되고 있다.

한편, 印度洋 황다랭이는 大西洋에서 操業하던 프랑스와 스페인의 旋網船團이 印度洋으로 移動함에 따라 漁獲量 增加를 나타내고 있으며, 現在는 旋網對象 利用資源으로 바뀌어 졌다.

가다랭이는 3大洋에서 資源評價에 利用될 수 있는 資料가 不足하여 資源診斷이 어려운 것으로 알려져 있지만 旋網漁業의 發達로 漁獲量 增加를 나타내고 있으므로 開發의 可能性이 클 것으로 期待되고 있다.

눈다랭이는 大西洋과 印度洋에서 安定된 資源水準을 이루고 있으며, 太平洋에서는 深層延繩漁業의 漁獲量이 增大될 것으로 推定되고 있다.

새치類와 小形다랭이類는 沿岸國들의 利用이 상당히 높은 것으로 推定되고 있다.

〈表 73〉 大洋別 다랭이 資源評價

單位：千톤

魚 種	資源現況	太 平 洋	大 西 洋	印 度 洋
황다랭이	漁獲量	523	124	109
	M.S.Y	152~175(東部)	117~127(東部)	-
	資源狀態	增大期待	安 定	旋網增大
가다랭이	漁獲量	816	111	160
	M.S.Y	-	-	-
	資源狀態	開發可能	開發可能	旋網增大
눈다랭이	漁獲量	147	47	41
	M.S.Y	127	74~175	35~53
	資源狀態	深層延繩增大	安 定	安 定
새치類	漁獲量	낮은水準	左 同	左 同

資料：大西洋다랭이保存委員會, 全美熱帶다랭이 委員會, 印度太平洋다랭이 開發 및 管理事業

註：M.S.Y는 最大持續的 生産量

## 2. 트롤漁業

最近('85~'88) 遠洋트롤 漁業의 資源變動을 보면 베링海 公海 및 뉴질랜드 트롤漁獲量은 持續的으로 增大傾向을 보이고 있으나 中東大西洋은 '87年 以後 큰 幅으로 減少를 보였고 北西大西洋 및 印度洋 트롤漁業은 平年水準을 維持하고 있다.

특히 北太平洋 트롤漁業은 美國의 200海里 經濟水域內에서의 直接 漁獲쿼타 및 韓·美漁業合作物量이 激減됨에 따라 同 海域의 操業船이 베링海 公海로 移動 年中 漁業을 行하고 있다.

'88年 베링海 公海에서의 總漁獲量은 153萬톤이었고 우리나라는 全體 漁獲量의 16%인 27萬톤을 漁獲하였다.

〈表 74〉 遠洋 트롤漁業 海域別 漁獲量 變動

單位: 톤

海 域	'85			'87			'88		
	出漁 隻數	漁獲量	CPUE	出漁 隻數	漁獲量	CPUE	出漁 隻數	漁獲量	CPUE
東部베링海	27	210,344	7.1	9	1,738	3.1	-	-	-
베링海公海	26	82,444	6.6	32	241,870	7.3	33	268,600	5.0
北 海 道	15	55,052	1.3	13	54,594	1.5	11	67,669	1.6
中東大西洋	46	42,228	0.3	54	44,070	0.3	47	30,091	-
中西大西洋	107	2,088	-	90	3,474	-	87	2,043	-
北西大西洋	3	7,676	0.6	5	20,299	1.7	7	19,996	1.0
南東大西洋	1	1,610	-	1	113	0.2	2	873	0.2
南西大西洋	-	-	-	11	16,184	-	15	16,426	-
印 度 洋	12	17,160	-	18	23,409	-	15	22,928	-
뉴질랜드	6	12,595	1.5	12	20,627	1.1	11	21,928	1.3

資料: 國立水産振興院

註: CPUE는 單位努力當漁獲量

### 3. 오징어漁業

오징어漁業의 動向을 보면 北太平洋의 流刺網漁業은 隻當漁獲量이

541톤으로 '87년에 比較해서 약간 增加하였으며, 채낚기漁業의 隻當漁獲量은 포클랜드近海漁場에서 1,642톤으로 前年에 比하여 약간 減少 傾向을 보였고 뉴질랜드漁場에서는 380톤, 호주近海漁場에서는 13톤이 漁獲되었다.

<表 75> 오징어漁業 海域別 漁獲量

漁 場	使用漁具	出漁隻數(隻)	漁獲量(톤)	隻當漁獲量(톤)
北 太 平 洋	오징어流刺網	154	83,533	541
포클랜드近海	오징어채낚기	53	87,051	1,642
뉴질랜드近海	"	15	5,701	380
호 주 近 海	"	1	13	13

資料：國立水產振興院

## 第 2 節 漁業協力事業

### 1. 漁業協定締結 및 更新

'88年度에는 新規 漁業協定 締結은 없었으나 韓·佛, 韓·키리바티, 韓·쿡諸島, 韓·투발루와의 附屬約定을 更新하여 入漁期間 등을 연장하였다. 또한 漁業協定の 圓滑한 수행과 운용 및 遠洋漁場的 安定的 確保, 漁業協力 등을 爲하여 美國, 大洋洲, 모잠비크에 漁業交涉團을 派遣하였으며, 日本, 美國 등 10個國과 兩國間 會議을 18回 開催하고, 大西洋

참치保存委員會 등 國際會議에 10回 參席하였으며, 가이아나, 美領사모아 등 3個國의 水産關係 有力人士를 招請하였다.

〈表 76〉 附屬約定 更新 現況

	日字 및 場所	主 要 內 容		
		入漁期間	許可隻數	入 漁 料
불란서	88. 1.14(과 리)	88. 1.20~81. 1.19	151隻	2,855.4 f.Fr
키리바티	88. 2.12(타 라 와)	88. 2.12~89. 2.11	110隻	600 f.\$
투발루	88. 7.12	88. 6. 1~89. 5.31	제한없음	90千\$
쿡	88. 9.16(카고카고)	88. 6. 1~89. 5.31	44隻	83.6千\$
불란서	88.12.22(서 울)	89. 1.20~90. 1.19	139隻	517千\$

資料：水産廳 國際協力擔當室

## 2. 對外 技術協力

政府의 對外 技術供與計劃에 따라 23個國으로부터 水産分野 研修生 43名을 招請, 漁撈技術, 船舶機關, 水産一般 등 訓練을 實施하였다. 地域別로는 亞細亞 18名, 아프리카 12名, 中南美 2名, 大洋洲 11名이다.

〈表 77〉 對外 技術 協力 現況

	'68~'85	'86	'87	'88	計
研修生招請訓練(名)	353	46	28	43	470
專門家派遣(國)	22	2	2		26

資料：水産廳 國際協力擔當室



### 第 3 節 新漁場開發 事業

世界 연안국의 200海里 경계수역 宣布와 漁業資源自國化政策 등 국제 어업규제에 對處한 海外漁場의 安정적인 確保를 위하여 沿岸國들과의 어업협력을 通해 公海漁場 및 新漁法에 依한 어장개발을 적극 推進하고 있다.

'88年 漁業協力에 의한 漁場開發은 인도네시아 漁場에 트롤漁船 30隻이 출어하여 操業한 바 있으며 公海漁場은 北大西洋水域에 3個社 7隻을 투입 操業中에 있다. 新漁法에 의한 漁場開發은 北太平洋 미드웨이 公海漁場에 燈底刺網 1隻과 참치流刺網漁船 2隻을 印度洋에 이어 太平洋南·北 高緯度 水域에 투입 試驗操業을 실시하고 있다.

특히 北方어업진출施策의 一環으로 推進하고 있는 特殊地域漁場을 적극 開發하기 爲하여 中國 및 베트남 水域에 5個社 16隻이 出漁한 바 있다.

### 第 4 節 勞使協調와 安全操業

船員 처우개선의 일환으로 下級선원의 月 最低固定給이 '87年 244千 원에서 '88년에는 260千원으로 引上調整되었고 船員子女학비보조를 위

하여 10個社에서 中·高 및 大學生 1,109名을 선정 94百萬원을 支援하였다. 勤勞環境개선 側面에서는 釜山港 및 海外基地에 碇泊中인 59隻의 遠洋漁船을 訪問 船內居住위생시설 및 貨金支給실태 등을 點檢하였으며, 特히 10. 29~11. 8에는 水産廳, 외무부, 海運港灣廳 등 有關機關 및 단체 合同調査班이 라스팔마스, 테네리페, 싱가포르 基地를 訪問, 근로실태를 조사한 바 있으며 그 결과 導出된 문제점에 대하여 補完 및 是正措置를 하였다. 船員 厚生福祉 증진을 위하여는 사모아, 라스팔마스, 파라마리보 등 海外船員會館을 船員福祉 위주로 運營하여 22,204名의 船員이 利用하였으며 선원격려 및 사기진작을 위하여 '88. 12. 2에는 釜山市民會館에 遠洋漁船員 家族 1千여명을 초청, 선원가족 위안회를 개최하였다.

沿岸國에의 被拉 등 事故防止를 위하여 國立水産振興院(船長教育), 國立水産技術訓練所(素養教育), 韓國漁業技術訓練所(安全教育)에서 23,470名의 원양어선원에 대하여 沿岸國規制動向, 선원법해설, 安全守則 등의 교육을 실시하였다. 또한 船舶點檢 철저로 海難事故를 未然에 방지하기 위하여 50個社에 389隻의 遠洋漁船에 대한 自體安全點檢을 실시하였고 한국원양어업협회 및 업체에 대하여 22回의 安全操業指導를 實施하였다.

## 第 5 章 水產技術 開發과 普及

### 第 1 節 水產技術의 開發

#### 1. 沿岸漁場 基本調査實施

沿岸漁場의 합리적, 종합적인 利用·開發 方案 수립에 활용하기 위하여 淺海 및 干潟地의 漁場環境, 棲息生物狀態, 漁場利用狀態, 漁業實態, 生産狀況 및 關聯與件에 대한 養殖漁場 實態調査와 人工魚礁漁場 適地 調査, 水質汚染調査, 沿岸漁業 實態調査, 基盤施設 實態調査 등 5개 분야별로 구성된 沿岸漁場 基本調査를 '86~'88年間に 걸쳐 실시하고 그 결과를 全國 綜合編 및 各市·道編으로 發刊·配付하였다.

이 調査에 의하면, 우리나라 淺海·干潟地의 養殖漁場으로 開發 可能的 適地는 第1種共同漁場을 포함하여 총 304千ha이며, 未開發 適地는 124千ha로 集計되었다.

人工魚礁를 施設하여 水產資源을 造成할 수 있는 水域은 모두 93千ha로서 既施設 38千ha를 제외하면 앞으로 55千ha가 開發이 可能的 것으로 調査되었다.

沿岸의 水質環境은 대체로 良好하여 沿岸水域의 대부분이 水産生物의

· 表 78 · 養殖漁場으로 活用可能한 水域

單位 : ha

區 分	計	魚 類	貝 類	海藻類	其 他	第1種共同漁場
適地面積	303,801	1,094	66,875	126,961	12,760	96,111
既 開 發	180,016	259	39,516	48,533	2,188	89,520
未 開 發	123,785	835	27,359	78,428	10,572	6,591

資料 : 國立水產振興院

棲息 및 養殖에 적합한 水質基準 II 等級 범위 이내이었다.

沿岸漁業의 實態를 파악하기 위하여 第2種 및 第3種 共同漁業과 定置漁業, 沿岸 許可 및 申告 漁業에 속한 總 44,167隻에 대한 屯級別 隻數 및 그에 의한 月別, 魚種別 漁獲量을 調査하였다.

水產基盤施設의 實態를 파악하기 위하여 總 1,941個所의 1~3種 및 小規模 漁港을 調査하였고, 共販場, 冷凍·冷藏, 製氷·貯氷, 給油·給水 및 種苗培養場 등 194個所의 水產附帶施設과, 바다낚시터 및 海水浴場과 海上公園의 實態와 開發 適地를 調査하였다.

## 2. 養殖技術의 開發

沿岸資源의 증강을 위하여 전복, 우렁챙이, 꽃게, 보라성게, 조피불락, 가자미類, 브리새우, 대하, 돔類, 넙치 등의 人工種苗 24百萬 마리를 생산하여 放流 및 分讓하였고, 범가자미, 점가자미, 문어, 숭어, 능성어 등 20種에 대한 人工種苗 生産試驗을 실시하였다.

魚類의 遺傳育種學的 研究로서 海產魚類의 量的 증대와 速成재배를

목적으로 농어, 복어, 문치가자미, 사하린가자미에 대한 基礎細胞 遺傳 및 生化學的 研究를 실시한 결과, 各種의 染色體數 및 核型, 細胞 및 核 크기, 血清蛋白質의 電氣泳動像을 밝혀내 遺傳育種의 基礎資料를 확보하였다. 또한, 참돔, 넙치의 3倍體魚 生産 예비실험을 실시하여 그 가능성을 파악하였다.

南海岸의 주요 海產魚類 養殖場에 대한 養殖環境實態를 조사하였고, 자연산 방어 稚魚의 먹이 馴致試驗을 실시하여 稚魚의 成長度와 生率率의 提高를 위한 먹이 供給方法을 究明하였으며, 방어, 참돔 양식기술의 향상을 위하여 실시한 飼育試驗으로부터 모이스트·펠렛 및 飼料種類別 飼料效率를 究明하였다. 또한 방어의 대체 양식품종 개발을 목적으로 넙치 海上 가두리 養殖의 가능성 검토를 위한 飼育試驗 실시와 함께, 循環濾過方式에 의한 海產魚의 陸上養殖技術開發을 위하여 濾過材別 濾過試驗을 실시하는 한편, 西海岸의 地域特性에 맞는 養殖品種의 開發을 위하여 조피불락 養成試驗을 시작하였다.

海產魚 配合飼料 開發을 위하여 방어용 配合飼料중 代替蛋白質 效果試驗을 실시하여 북양어분 대신 정어리어분 50%까지 代替가 可能함과 植物性蛋白質이 사용가능함을 究明하였다.

魚病研究로 *Vibrio anguillarum*이 生産하는 細菌外毒素의 protease 特性을 구명하고, 양식농어의 아가미흡충에 대한 月別寄生率 및 적정藥劑에 대한 驅除效果試驗과 함께 월동기, 고수온기의 魚病實態를 파악하였다.

有用 貝類養殖의 技術개발로서 西海岸 백합養殖의 漁場環境 回復試驗 및 寄生蟲 感染調査를 계속하였으며, 濟州道 地域特性에 알맞는 노랑가리비의 養成可能性을 파악하였다. 濟州道 수출 대상품종인 소라의 標識 放流와 棲息場 環境 및 寄生蟲 感染狀態를 調査함으로써 第1種共同漁場

場에서의 소라資源管理 및 增産에 관한 기초자료를 확보하였다. 多獲性品種인 김과 미역에 대하여는 病害發生狀況 및 對處方案에 대하여 調査研究하였고, 特히 김의 適品種 開發로 品質向上 및 生産量 增大와 미역의 바늘구멍病 原因生物의 分類學的 位置 및 生態의 特性을 파악함으로써 驅除對策을 위한 기초자료를 확보하였다.

沿岸 增養殖의 안정적 增産에 필요한 多收穫性, 耐病性의 優良形質을 지닌 품종을 개발하기 위하여, 참굴과 진주조개의 染色體調査를 실시하여 核型을 파악함과 동시에, 藥品과 溫度處理에 의한 3倍體 幼生을 發生시켜 遺傳工學研究의 기초자료를 제공하였다. 전복에 대하여는 참전복과 까막전복의 速成種苗를 계속하여 選拔 育成중이며, 참전복과 까막전복의 交配를 통하여 優良形質의 發現個體 確保에 필요한 種苗生産試驗을 실시하여 기초자료를 제공하였다. 김의 品種改良을 위하여 色彩別 繼代培養에 의한 유전형질 특성조사를 계속하였고, 細胞融合 기초시험으로 原形質體 裸出을 위한 酵素 種類 및 濃度調査와 原形質體의 作出試驗을 실시하였다. 다시마의 優良品種 개발을 위한 養殖 및 自生 다시마의 粘液腔道, 子囊班形成 部位比較 등 分類檢索 방법과 養殖産과 自生産의 無機質 種苗培養에 따른 交雜試驗 등의 기초자료를 확보하였다.

그밖의 淺海養殖 개발을 위한 연구로서 우렁쟁이의 假移殖 時期別 成長과 生殘率을 파악하고 室內 環境 耐性試驗에 의한 水溫 및 比重에 대한 耐性比較로서 우렁쟁이 斃死豫防을 위한 자료를 확보하였다. 갯지렁이의 養殖效果와 養殖場 環境 파악으로 資源管理의 기초자료를 제공하였으며, 白翎島와 大·小靑島의 沿岸 定着生物相을 조사하여 養殖適地 適品種을 구명, 養殖場의 立體的 利用을 위한 기초자료를 확보하였다.

內水面養殖場의 基礎調査로서 안동호 등 수산자원보전지역의 環境 및

資源調査를 실시하여 효율적 水面利用의 開發 資料로 활용하였다. 그리고 담수어 양식기술개발시험으로 잉어, 틸라피아의 3倍體 生産 및 우량종 개량시험 등 遺傳育種試驗을 實施하였고, 잉어류 등의 優良種苗生産 普及, 메기 및 쏘가리 養殖試驗, 魚病研究 등을 實施하였다. 冷水性 魚類로서 연어치어 599만마리를 生産 방류하였고 산천어, 열목어, 무지개송어 등의 養殖試驗을 實施하여 內水面 養殖開發의 資料로 활용하였다.

### 3. 新漁場·漁法 開發

#### 가. 北西太平洋 漁業生物群集調查

원양어장의 安定的 확보를 위하여 韓·美合同으로 北西太平洋에서 漁業生物群集調查('88. 7. 5~9. 1)를 실시하여 同 海域의 漁業生物分布와 어장환경과의 關係 및 產業的으로 중요한 漁業에 대한 漁場性을 究明하고 이 情報를 產業界에 제공하여 操業能率向上을 期하였고, 또한 오징어 流刺網에 의한 混獲狀態를 把握하여 公海上 國際漁業紛爭에 對處할 수 있는 과학적인 基礎資料를 수집하였다.

#### 나. 音響漁法 研究

音響을 利用한 새로운 漁法을 開發하기 위하여 멸치 流刺網에 人爲的으로 水中音을 放聲時 漁獲效率 變化 試驗을 실시한 結果, 音放聲 位置에 따라 多少差異가 있었으나 일반적으로 音을 放聲하지 않았을 경우보다 約 1.43倍 漁獲이 良好하였다.

#### 다. 水中定置網 漁具 漁法 開發試驗

定置網의 漁場 확대 및 颱風으로 인한 漁具被害 防止를 위한 水中定置網을 開發하기 위하여 既存 網의 構造를 變更한 改良網을 考案, 회유水槽에서 模型試驗을 실시한 結果, 流水抵抗에 대한 網型變化가 적어 漁獲效率이 크고, 漁場擴大 利用이 可能的한 것으로 究明되었다.

#### 라. 帆布를 利用한 트롤용 展開裝置 開發試驗

鐵材로된 既存 展開板 代身 帆布로된 새로운 展開裝置를 考案하여 1,100톤級 試驗船으로 海上試驗 結果, 展開性能은 既存 展開板과 對等하면서 製作費와 重量을 各各 約80%씩 減少시킬 수 있어 經費節減과 安全事故 豫防이 可能하게 되었다.

#### 마. 選擇的 漁法 研究

전어 旋刺網의 適正網目 및 成形率을 究明하여 漁獲效率을 增大시키고 동시에 漁獲選擇性을 究明, 資源의 持續的 利用을 圖謀하기 위하여 網目크기와 成形率을 달리한 漁具를 製作 海上試驗 結果, 適正網目は 54mm, 適正成形率은 50%로 나타났다.

#### 바. 끝납시 漁具 漁法 改良試驗

表層回游性 魚種으로 限定되어 있는 끝납시 漁具漁法을 中·底層 회유性 魚種까지 漁獲이 可能토록 改良, 對象魚種의 多樣化 및 漁獲效率을



増大키 위하여 끝남시용 潛水板을 考案 水槽試驗 및 海上試驗을 실시한 結果 中·底層 曳引의 可能性이 究明되었다.

#### 4. 處理加工 技術의 開發

水産物의 食糧化를 위한 多獲性 및 低利用資源에 대한 加工技術開發 이 요청되어 정어리 및 南極새우(크릴) 製品加工과 産業化를 위한 中間工業化 試驗을 비롯하여 鹽藏미역 加工과 그 貯藏性 試驗을 실시하였다. 정어리에 있어서는 '87년에 開發한 改良煉肉의 食品素材로서의 利用可能性을 밝혔고, 정어리의 어간장製造는 '87年の 基礎研究를 토대로 醱酵槽를 利用한 量産 加工技術을 確立하는 한편, 調味料 素材로 利用할 수 있는 脫脂 煮乾品の 加工 方法도 究明하였다.

南極새우(크릴)에 있어서는 '87년에 精肉採取 技術을 確立한데 이어 採取한 살(肉)의 食品素材로 利用할 수 있는 方法을 밝혔으며, 또한 鹽藏미역의 適正加工 및 貯藏條件도 究明하였다.

水産物의 營養價値와 利用에 따른 科學的 基礎資料 提供을 위하여 主要魚種(55種) 및 정어리 加工品에 대한 有效 脂肪酸(EPA, DHA) 含量 調査를 실시하였다.

그리고 韓·美 貝類衛生協定 運營과 관련한 輸出用 貝類生産 指定海域에 대한 細菌調査와 더불어 水産物의 公衆保健上的 安定性 問題와 관련하여 비브리오 敗血菌, 貝毒, 殺蟲劑 含量調査를 실시하였다.

## 5. 産學協同

水産振興院의 研究陣과 兼職研究官이 공동으로 “참굴의 3倍體 生産에 관한 育種學的研究” 등 3개 研究課題를 遂行하였으며, 6個分野 13名의 兼職研究官을 任用, 試驗研究 및 指導事業 計劃樹立에 대한 咨문과 研究結果評價, 新技術情報交換 등을 실시하였다.

또한 中央水産産學協同審議會 專門委員(1個分野 1名)과 各道審議會委員(5個道 7名)을 委囑하여 水産技術開發 促進과 漁民所得増大를 위한 産學協力の 圓滑을 期하도록 하였다.

그리고 學生現場實習을 위해 5個所의 産業體를 指定, 水産系 專門大學 10個校 17名의 在學生들에게 現場實習토록 하였다.

〔表 79〕

補助研究課題 遂行實績

單位：千원

	'79~'84	'85	'86	'87	'88
課題數	17	2	3	3	3
所要豫算	69,155	14,000	20,300	20,000	20,000

'88 課題名	所要豫算	研究責任者
○ 참굴의 3倍體 生産에 관한 育種學的 研究	8,000	釜山水大 유명숙
○ 소라의 種苗量産에 관한 研究	6,000	濟州大 노 섭
○ 複合養殖의 實效性에 관한 研究 (水協中央會 委託事業)	6,000	統營水專大 조창환

資料：國立水産振興院

<表 80> 水產系學生 實習實績

單位：個所，名

	'84	'85	'86	'87	'88
實習業體數	27	28	5	5	5
實習生數	94	148	30	20	17

資料：國立水產振興院

<表 81> 兼職 研究官 任命 現況

單位：名

	'80	'82	'84	'86	'88
人 員	7	14	14	15	16

'88 兼職 研究官			勤 務 活 用 部 署
活用分野	所 屬	姓 名	
海洋環境	釜山水大	강 용 균	海洋資源部 海洋科
	"	박 청 길	海洋資源部 環境科
水產增殖	仁 荷 大	최 중 기	仁川水產研究所
	釜山水大	김 동 수	增殖部 魚類養殖科
	"	허 성 범	增殖部 貝藻類科
	"	장 동 석	增殖部 病 理 科
	江 陵 大	김 형 십	注文津水產研究所
	群山水專	유 봉 석	群山水產研究所
	麗山水大	고 남 표	麗水水產研究所
水產資源	濟 州 大	노 세 심	濟州水產研究所
	釜山水大	전 세 규	鎮海內水面研究所
	"	홍 성 운	海洋資源部 遠洋資源科
漁具漁法	"	고 관 서	漁具漁法研究室
食品加工	浦項實專	권 혁 사	浦項水產研究所
	釜山水大	이 응 호	利用加工研究室
漁村指導	"	공 용 식	指 導 課

資料：國立水產振興院

## 6. 先進技術 導入과 研究活性化

### 가. 水産研究團地 造成

水産研究를 活性化하기 위하여 慶南 梁山郡 機張에 水産研究團地를 建設중에 있다.

'88년에는 '87年 移越 施工中인 水産振興院 本館 및 研究棟 完成, 厚生棟 및 機械室, 漁具漁法棟의 工事を 2월에 再着工 10월에 竣工하고, '88年 施行 計劃인 水産振興院 守衛室, 汚廢水處理施設 및 水産技術訓練所 本館·生活館 一部 4千㎡의 建築工事は 4월에 實施設計를 끝내고 8월에 着工하였다.

### 나. 研究員資質向上과 先進技術導入

日本, 프랑스, 美國 등에 增養殖分野 12名, 海洋環境分野 4名, 漁業資源分野 5名, 水産加工分野 2名 등 總 23名을 과건 長·短期 海外研修를 실시하였고, 國內大學에서도 博士課程 11名, 碩士課程 29名, 其他 14名이 研修를 실시하였다.

한편 日本에 1名の 專門家를 과건하였고, 美國, 日本에서 專門家 3名을 초청하여 共同研究를 통한 技術協力 增進과 先進技術 導入에 기여하였다.

### 다. 試驗機器 및 裝備補強

日本 海外經濟協力基金(OECF)借款에 의한 試驗研究機器 補強計劃

(總 669點)에 따라 最新試驗機器 147點('87 : 515點, 누계 662點)을 도입하였고, 國內調達이 가능한 224종 474點의 試驗機器를 政府一般會計豫算으로 구입 보장하였다.

## 第 2 節 漁村指導 및 技術普及

### 1. 技術指導 및 弘報

漁村의 所得增大와 安定的生産을 위하여 全國 1,528個 漁村契에 대한 현지 巡廻技術指導를 실시, 887千톤의 養殖生産을 올리는데 기여하였다.

漁村指導事業의 효율성提高를 위하여 地域의 特性을 감안, 專門指導班을 편성 品種別 養殖施設時期, 增殖方法의 指導는 물론이고, 害敵生物 驅除와 病害豫防 등 安定的生産 및 赤潮·颱風 등 災害豫防과 迅速한 復舊로 被害를 최소화하도록 指導하였다.

한편, 主要養殖團地別로 漁場豫察을 통하여 海況과 作況·病蟲害發生 現況 및 密殖·無免許 등 施設實態를 파악하여 漁民과 有關機關 등에 통보, 이에 對處할 수 있도록 함과 同時에 漁村指導資料로 활용하였다.

그리고 技術指導活動의 圓滑과 效率提高를 위하여 魚病對策 등에 대한 비디오와 슬라이드를 製作하여 弘報하고, 漁況情報·養殖豫報 및 水產技術誌를 發刊配付하여 營漁活動에 크게 도움을 주었으며, 이미 開發된 技術의 普及과 所得源으로 開發이 必要한 品種에 대하여서는 地域別로 示範漁場을 運營함으로써 迅速한 技術普及에 기여하였다.

특히 養殖漁場의 적정관리에 對하여 成功한 事例를 발굴하여 “養殖漁場成功事例集”으로 發刊 配布하여 漁民의 漁場保全 意識을 鼓吹하였다.

## 2. 漁民教育 및 漁民後繼者指導

營漁技術수준을 向上시켜 漁民所得 增大와 自律的 營漁活動을 早期定着하는데 目標을 두고 20個 漁村指導所에서 72個水協과 合同으로 漁民 61千여名에게 水産施策과 漁業技術에 對한 集合教育을 실시하였으며, 굴, 피조개, 김, 우렁쟁이, 魚類養殖 등 主要品種에 對하여는 地域別 漁業循期에 맞추어 專門指導士 2人以上으로 構成된 專擔班을 編成 漁村契를 巡廻하면서 25千여名에게 採苗, 種苗培養, 施設 및 魚病에 關한 技術教育을 並行 推進하였다.

한편, 漁村에 定着하여 漁業에 從事할 漁村靑少年을 基幹漁家로 育成시키는데 目的을 두고 '81~'88년까지 選拔된 4,147名의 漁民後繼者에게 專擔指導士를 指定 配置하여 每月 1~2回 現地事業場을 巡廻訪問하여 水産施策, 營漁設計, 漁場管理指導 및 新技術 普及 등 科學營漁를 實踐할 수 있도록 指導하였다.

〈表 82〉 漁民後繼者 地域社會活動 現況

單位：名

計	漁村契長	水協任員	自願漁村指導者	새마을指導者	里長·班長	開發委員	靑少年會指導者
860	148	114	51	116	149	202	80
(100)	(17)	(13)	(6)	(14)	(17)	(204)	(9)

資料：國立水産振興院

3. 漁村指導機能 強化

漁民技術指導活動 強化를 위하여 漁村指導所에 會議室을 겸한 漁民教育을 실시할 수 있는 空間確保와 實證的 指導를 위한 技術指導用 裝備를 계속 確保하였으며, 漁民의 指導需要가 많은 分野인 魚類, 전복, 우렁쟁이, 內水面養殖에 대하여 國立水產振興院 산하 水產種苗培養場과 內水面 研究所 등에서 다음과 같이 漁村指導 公務員에게 現場教育을 實施하여 漁村指導員의 資質向上을 기하였다.

<表 83> 漁村指導 公務員 專門技術教育 實績

分 野 別	期 間	人 員 (名)		
		'86	'87	'88
○短期專門技術教育		40	40	30
김	1個月	13	5	-
전복	"	12	17	7
우렁쟁이	"	6	7	5
魚類養殖	"	9	11	10
內水面養殖	"	-	-	8
○長期專門技術教育		14	10	-
本院	2月~1年 3月	6	-	-
內水面研究所	3月~1年	3	3	-
水產種苗培養場	3月~2年 6月	5	7	-
計		54	50	30

資料：國立水產振興院

### 第 3 節 漁業技術 訓練

#### 1. 水産技術 訓練

##### 가. 精神教育 課程

公職觀과 사명감에 투철한 水産公職者像을 정립하고 '88서울올림픽 대회의 성공적인 수행을 위한 精神教育은 공무원 교육훈련 추가지침(총무처)에 의하여 職務教育 課程에 併합토록 됨에 따라 實務者班(1회, 99名) 이외의 정신교육 과정은 基本教育 課程의 교육훈련과 並行하여 실시하였다. 이에 따른 잉여 예산 및 인력은 기본교육 과정의 水産中堅實務者班(1회, 60名)을 증설, 운영하여 水産職 公務員의 교육기회를 확대하였다.

##### 나. 基本教育 課程

수산청 및 각 市·道 산하의 수산관계 공무원을 대상으로 직무수행 능력의 제고 및 수산행정의 실무지식 함양에 목표를 두고 水産中堅管理者班(1회, 39명), 水産中堅實務者班(2회, 117명), 水産初級實務者班(1회, 58名), 統合實務者班(1회, 44명), 研究·指導實務者班(1회, 49명), 水産新規實務者班(1회, 59명) 등 7회, 366명에 대하여 補修教育을 실시 하였다. 특히 研究·指導實務者班 教育은 국립수산진흥원 소속 水産研究士 및



漁村指導士 만으로 班을 구성하여 수산기술의 개발 및 보급을 연계시킬 수 있는 체계적인 교육방법을 강구하였다.

#### 다. 專門教育 課程

水產行政의 科學化, 專門化, 國際化 추세에 능동적으로 對處해 나갈 수 있는 전문인력 양성을 목표로 政策開發班(1회, 32명), 水產物流通加工班(1회, 50명), 海面魚類養殖班(1회, 51명), 資源保護管理班(1회, 90명) 등 4회, 224명에 대하여 專門教育을 실시하였다. 이 교육과정에서는 새로운 수산기술 정보의 提供, 事例 및 實務 中心의 토의와 발표를 통하여 동·서·남해안 각 지역별 교육생 간의 情報交換과 技術交流에도 크게 기여하였다. 또한, 政策開發班 教育은 수산관계 4~5급 공무원을 대상으로 “漁業 被害補償 制度의 改善方案”에 대한 정책 세기나를 개최하여 어민의 보호를 위한 수산시책 방향을 제시하였다.

#### 라. 漁民後繼者 및 漁民教育 課程

지역사회의 발전과 복지어촌을 이끌어 갈 어민후계자를 대상으로 漁船漁業班(5회, 357명), 魚貝類養殖班(3회, 182명), 海藻類養殖班(3회, 154명) 등 11회 693명에 대하여 現業爲主의 實用技術教育을 실시하여 어촌 정착의 기반을 구축하는 한편, 어업질서확립을 위한 수산시책 교육의 일환으로 全國 各 漁村契長에 대한 漁業秩序管理班(1회, 40명) 교육과정을 新設하여 불법어업 근절 및 자원보호의 인식을 고취시켰으며, 沿近海 및 遠洋漁船員에 대한 素養教育(144회, 13,955名)을 실시하였다.

마. 現役兵 水產技術教育 課程

轉役後 어촌정착을 희망하는 현역병에게 水產技術綜合班(3회, 236명) 교육훈련을 실시하여 漁村定着을 유도하였다.

表 84) 國立水產技術訓練所 教育訓練 實績

單位：名

	'84	'85	'86	'87	'88
計	9,348	9,447	10,701	15,401	15,613
精 神 教 育	343	331	411	319	99
基 本 教 育	207	209	211	246	366
專 門 教 育	238	186	179	198	224
漁民後繼者教育	510	958	983	812	693
漁 民 教 育	-	-	-	-	40
現 役 兵 教 育	-	-	92	255	236
漁船員素養教育	8,050	7,763	8,825	13,571	13,955

資料：國立水產技術訓練所

2. 海技員 養成

韓國漁業技術訓練所에서는 '88년까지 5,968명의 海技員(海技士課程 3,403, 普通船員課程 2,433, 通信課程 132)을 養成하였고, '86. 7월에 신설된 漁船海技士 安全教育課程을 이수한 船員은 10,139명 이었으며, 政府의 對外技術供與計劃에 의한 外國人 訓練生은 총 72개국 329명을 배출하였다.

〈表 85〉

韓國漁業技術訓練所 教育訓練 實績

單位：名

年度 課程	計	'66~'83	'84	'85	'86	'87	'88
計	16,436	4,806	325	365	1,219	3,849	5,872
內 國 人	5,968	4,654	299	312	210	255	238
· 海 技 士 課 程	3,403	3,025	115	119	23	62	59
· 普 通 船 員 課 程	2,433	1,497	184	193	187	193	179
· 通 信 課 程	132	132	-	-	-	-	-
外 國 人	329	153	26	53	42	28	28
( 國 家 數 )	(72)	(60)	(22)	(33)	(26)	(20)	(18)
海技士安全教育	10,139	-	-	-	967	3,566	5,606

資料：水產廳 國際協力擔當室

註：國家數중 중복된 나라는 제외하였음

## 第 6 章 水産物の 食糧化와 流通改善

### 第 1 節 水産物 價格安定

水産物은 計劃生産이 어렵고 一時多量生産과 季節性이 강하여 需給調節의 어려움으로 魚價가 不安定한 特性을 지니고 있다. 따라서 水産物의 需給調節을 원활히 하여 生産漁民의 受取價格을 保障하고 價格安定을 圖謀코자 每年 農水産物價格安定基金을 支援하여 水産物價格安定事業을 實施해 오고 있다.

'88年度에는 總838億원의 水産部門 農安基金중 810億원을 支援하여 價格安定事業을 實施하였다. 政府備蓄事業은 54億원을 支援, 간미역 2,012톤과 冷凍오징어 2,191톤 등 總4,203톤을 收買하여 盛需期에 放出케하여 價格安定을 도모하였다. 특히 과잉생산되는 米역의 價格을 安定시키기 위해 간미역은 當初計劃(2,000톤)을 變更 3,600톤으로 擴大하였으며 冷凍오징어는 當初計劃에는 없었으나 沿近海産오징어 價格安定을 위해 5,000톤을 收買토록 支援하였다. 그러나 當初計劃한 김, 마른멸치, 마른오징어 등 3個品目은 生産不振과 價格上昇 등으로 인하여 收買事業이 이루어지지 못하였다. 그리고 마른 오징어 備蓄事業은 從前의 乾燥業者로부터의 收買方式에서 委託加工方式으로 收買方法을 改善하였으나 울릉도

地域에 限하여 特例規定을 두어 從前의 方法대로 收買하도록 하였다.

한편, 民間價格安定事業은 總756億원의 農安基金을 支援하여 230千톤을 收買, '87年에 比해 15.8%가 增加하였는데 이를 細部事業別로 보면 生産者團體인 水協出荷調節事業 20千톤, 民間收買支援事業 171千톤, 輸出促進事業 38千톤 등으로 魚種別로 명태 66千톤, 오징어 39千톤, 정어리 22千톤, 굴 14千톤, 갈치 9千톤, 고등어 9千톤 등의 順으로 收買되어 價格安定에 寄與하였다. '88年에는 金 價格安定을 위해 民間收買支援을 中斷措置한 바 있으며 輸出不振으로 인한 米역加工業界의 輸出促進資金 10億원을 新規支援하였다. 그리고 例年과 같이 200億원의 出荷促進資金을 支援하여 委販事業을 遂行토록 하였으며 설날, 秋夕, 김장, 越冬期 등 盛需期 特別對策을 樹立推進하여 水産物 需給의 원활과 物價安定을 도모하였다.

<表 86>

政府 備蓄 事業 實績

單位; 톤, 百萬元

	計 劃		實 績		對 比 (%)	
	物 量	金 額	物 量	金 額	物 量	金 額
計	10,050	28,900	4,203	5,401	41.4	18.7
김	400 (200만속)	7,700	-	-	-	-
간 미 역	3,600	2,500	2,012	1,274	55.9	51.0
마른 멸 치	450	2,100	-	-	-	-
마른오징어	600 (80만속)	8,400	-	-	-	-
냉凍오징어	5,000	8,200	2,191	4,127	43.8	51.3

資料: 水産廳 漁政課

< 表 87 >

民間 價格安定 事業 實績

單位：千，百萬圓

	收 買 實 績		農安基金支援
	物 量	金 額	
計	229,544	190,247	75,600
○ 收買支援	171,299	109,546	35,400
- 冷凍保管	115,119	68,071	23,000
(水協)	(92,638)	(44,480)	(15,000)
(韓冷)	(22,481)	(23,591)	(8,000)
- 통조림 加工	22,915	11,194	6,000
- 煉製品 加工	15,618	13,815	2,400
- 김 加工	-	-	-
- 김미역 加工	1,714	1,485	2,000
- 水協價格支持	15,933	14,981	2,000
○ 輸出 促進	37,784	54,772	12,200
- 冷凍 水產物	20,716	29,347	3,500
- 活鮮魚・貝類	2,308	6,769	1,000
- 건어포	4,733	1,120	700
- 水產 통조림	9,778	17,224	6,000
- 김미역	249	312	1,000
○ 生産者 團體 出荷 調節	20,461	25,929	8,000
○ 委販場 出荷促進	-	-	20,000

資料：水産廳 漁政課

## 第 2 節 水産物 流通 改善

### 1. 流通施設の 擴充

馬山港이 埋立됨에 따라 漁獲物 揚陸 등 流通機能이 斷絶되는 馬山市 水協에 1,482百萬원을 支援, 7,273㎡(2,200坪) 規模의 委販場을 包含, 現代化된 綜合魚市場을 新設하여 馬山地域의 水産物 流通機能을 圓滑히 하였다.

### 2. 流通構造改善

'88年度 流通構造改善 主要 推進 實績으로는 委託販賣率 提高를 위하여 產地 水協의 共同販賣를 實施(1,751千噸, 10,149億원)하고 委(共)販場 活性化와 系統販賣 與件 強化를 위하여 內陸地 系統出荷를 推進(110千噸)하였으며, 김, 툇 천초 등 委販 脆弱品目的 系統出荷에 대해 54億원의 出荷低利資金을 支援하고 1億원의 缺損補填資金을 別途 運營하여 5個缺損組合에 6百餘萬원을 補填해 주었다. 또한 產地委販機能을 強化하기 위하여 休憩所, 沐浴湯 등 漁民便宜施設 擴充은 물론 피쉬펌프, 큰베아벨트 등 委販裝備 機械化를 적극 推進하였으며, FAX, 自動應答機, 魚代金 支給 電算化 등 設置로 委販業務의 迅速한 處理와 對 漁民 서비스 改善에 힘썼다. 適正魚價 保障으로 生産者와 消費者를 동시에 保障

하기 위하여 產地·消費地 直去來를 推進하여 42千톤의 水産物을 直賣場 등에 供給한 바 있으며 항시 需要에 比하여 供給이 不足하는 교도소, 病院, 工場 등의 大量 需要處 79個所를 開發하여 32千톤의 水産物을 供給해 주었고 多獲性 貝類인 굴에 대하여 30千톤의 直去來 實績도 舉揚하였다.

더우기 올림픽 水産食品의 安全供給을 위하여 全國 委(共)販場의 環境淨化 및 水産物의 衛生管理指導 強化를 積極的으로 推進함으로써 올림픽期間中 新鮮하고 衛生的인 水産食品을 供給하였음은 물론 夏節期에 發生하기 쉬운 水因性 傳染病등의 豫防措置에도 徹底를 기하였다.

또한 漁獲物의 品質向上과 去來秩序確立을 위하여 仲買人 등 委販從事者와 生産漁民에 대하여 案内팜프렛, 委(共)販場 構內放送 등을 利用하여 水産物의 取扱管理 啓蒙 및 弘報를 實施(29千枚, 54千回)하였으며 漁獲物의 品質向上과 去來單位 規格化를 促進하기 위하여 過量入箱 및 不良容器流通 規制를 위해 이들 入箱品에 대하여는 差等委販 또는 不利한 順位 競賣를 할 수 있도록 하고 더우기 規格 未表示 商品의 不法流通團束을 위하여 김 및 乾멸치 規格表示 모장지 122萬個를 組合 共同購買토록 하였으며, 江華水協 등 9個組合를 대상으로 새우젓, 멸치젓, 乾멸치, 굴등 4個品目에 대하여 出荷生産資金(農安基金22億원)을 支援함으로써 規格出荷를 積極誘導하였다.



### 第 3 節 水産物 加工과 食生活 改善

#### 1. 加工品 生産

'88年 水産製品 生産은 866千톤으로 前年보다 9.1% 增加하였으며 製品形態別로는 高次加工品이 5.8% 單純加工品이 11.4% 增加하였다. 이 중 加工品の 大宗을 이루고 있는 冷凍品은 499千톤으로서 고등어, 정어리, 명태, 갈치, 가자미, 조기등의 原形凍結이 386千톤으로 77%, 명태, 봉장어, 갑오징어, 바지락등의 處理凍結이 113千톤으로 23%를 차지하고 있다.

煉製品은 船上煉肉 生産으로 全般의 品質이 高級化되고 맛살류, 즉석어묵등 製品이 다양하게 開發되어 生産量도 前年보다 17.1%가 增加한 95千톤에 이르고 있는바 금후에도 需要 擴大가 豫想되어 우리나라 國民의 食生活 改善에 크게 기여할 것으로 기대된다.

또한 통조림은 43千톤으로서 前年보다 14% 增加하였으며 製品別로는 참치, 정어리, 굴, 고등어가 34千톤으로 79%를 차지하고 있어 主宗을 이루고 있다.

海藻製品은 김의 生産量 增加등으로 64千톤을 生産하여 前年對比 20.4% 增加하였으며 調味加工品도 遠洋오징어를 利用한 調味오징어의 生産好調로 29千톤을 生産하여 前年對比 27.1% 增加하고 있으나 乾製品, 塩辛品등 單純加工品은 最近 消費性向의 鈍化에 따라 一部 製品을 除外하고는 減少되고 있다.

〈表 88〉

水産加工品 生産推移

單位：톤

	'77	'82	'87	'88	'88/87(%)
計	196,025	489,024	794,072	866,089	109.1
高次加工品	50,046	151,206	329,102	348,217	105.8
냉동품(처리)	21,121	54,750	124,442	112,659	90.5
연 제 품	1,656	45,321	81,011	94,852	117.1
동 조 립	20,663	19,525	37,817	43,099	114.0
어 유 분	3,197	22,328	62,679	68,335	109.0
조미가공품	3,078	8,695	22,591	28,706	127.1
한 천	331	587	562	566	100.7
單純加工品	145,979	337,818	464,970	517,872	111.4
냉동품(원형)	63,365	198,305	339,898	386,606	113.7
해 조 제 품	28,109	67,870	53,114	63,924	120.4
자 건 품	5,622	32,434	23,942	23,188	96.9
소 건 품	13,358	25,748	16,554	13,525	81.7
염 건 품	502	116	106	87	82.1
염 장 품	21,813	1,316	762	847	111.2
염 신 품	7,532	9,840	20,887	19,018	91.1
기 타	5,678	2,189	9,707	10,677	110.0

資料：農林水産部 農林水産統計年報

註：遠洋製品 除外

## 2. 食生活 改善

'87年 1人當 年間 水産物 消費量(純食品)은 38.4kg이며 水産食品에 對한 嗜好度가 종래의 반찬 概念에서 健康食 위주로 主食化됨에 따라

통조림, 煉製品, 調味加工品, 處理 凍結 등의 高次加工品 消費가 增加되고 있어 國民 食生活이 改善되고 있음을 알 수 있다. '88年에도 水産物 消費를 擴大하기 위하여 정어리, 고등어 등 등푸른 생鮮과 굴, 피조개, 미역, 김 등 多獲性 水産物 및 主食代用 食品으로 開發한 魚肉煉製品에 대한 TV, 라디오, 新聞, 雜誌 등 言論 媒體를 통한 弘報를 211回 實施 하였으며 水産物 食糧化 홍보용책자(8,600卷), 팜플렛 및 리후렛(70,900 枚)과 달력(300枚), 책받침, 쇼핑백(11,000個)을 製作 配布하였고 등푸른 생鮮 廣告板(와이드 칼라)을 5個所에 設置하였다.

또한 우리나라 沿岸에서 大量漁獲되는 정어리, 오징어 등 多獲性 水産物의 料理講習 및 試食會를 서울을 비롯한 地方大都市까지 擴散하여 12回 開催하였으며 민물고기 消費促進을 爲하여 內水面魚類 直賣場(1個所)을 開設하는 등 食生活 改善 運動을 꾸준히 展開하였다.

그리고 國民 嗜好에 맞는 多樣的 加工食品 開發을 爲하여 高級어묵, 調味맛김, 참치 통조림 등 便利한 小包裝 食品을 生産 普及하였으며 加工業體 育成을 爲하여 運營資金 85億원과 施設資金 19億원을 支援하였다.

<表 89> 水産物 消費動向(純食品)

單位: kg/1人,年間

年度別		'82	'83	'84	'85	'86	'87
國別							
○ 韓 國		31.6	38.1	37.7	37.2	41.9	38.4
— 魚 貝 類		26.4	31.5	31.1	30.7	32.7	32.1
— 海 藻 類		5.2	6.6	6.6	6.5	9.2	6.3
○ 日 本		33.4	34.8	35.5	35.8	36.4	36.6
	(魚貝類)						

資料: 韓國農村經濟研究院 食品需給表

## 第4節 水産物 検査

### 1. 検査 動向

'88年 水産物 検査實績은 勞使紛糾에 따른 製品出荷減少 및 遠洋漁業의 生産不振 등으로 302千톤을 検査합으로서 前年度の 323千톤에 비하여 6.5%가 減少하였으며, 検査品種은 새로운 水産製品의 開發로 多樣化되어가고 있다.

<表 90> 水産物 検査 推移

단위 : 千톤

	'77	'82	'87	'88	'88/'87(%)
検査量	249	209	323	302	93.5
(指數)	(100)	(83.9)	(129.7)	(121.3)	
品種數	388	398	606	608	100.3
(指數)	(100)	(102.6)	(156.2)	(156.7)	

資料 : 國立水産物検査所

<表 91> 加工品種別 検査推移

단위 : 千톤

	'77	'82	'87	'88	'88/'87(%)
計	249	209	323	302	93.5
高次加工品	197	167	267	252	94.4
(構成比 : %)	(79)	(80)	(83)	(83)	
單純加工品	52	42	56	50	89.3
(構成比 : %)	(21)	(20)	(17)	(17)	

資料 : 國立水産物検査所

## 2. 檢査의 效率性 提高

檢査員의 資質을 향상시켜 檢査의 正確性 및 科學化를 도모코자 理化學分野 6名, 細菌分野 6名, 重金屬分野 3名에게 自體技術教育을 실시하였으며 實技能力을 培養코자 우수한 加工工場에 檢査員 17名을 分野別로(冷凍品, 통조림品, 魚肉煉製品, 寒天) 1個月間 工場實技訓練(加工實技, 機器操作, 品質管理 등)을 實施하였다.

또한 檢査標準品 設定으로 判定의 同一性 維持와 國內外産 製品比較 評價 및 優良製品의 生産을 誘導하기 위하여 檢査員과 加工業者(241名)가 參與한 가운데 冷凍品 등 8個 品種에 對하여 標準品 査定會를 4回 開催하였으며, 水産製品의 品質을 향상시키고자 冷凍品, 調味加工品, 통조림品 등 7個 主要製品에 對하여 鮮度維持, 加工方法, 選別, 衛生管理 및 包裝改善 등 技術指導를 年 1,248回 實施하였고 새로운 海外技術情報을 入手 水産物 市場動向誌를 통하여 關聯業界에 提供하였다.

한편 優秀加工業體의 檢査減免 擴大로 業界의 便宜를 圖謀코자 優秀加工業體 實態調査를 實施하여 檢査減免基準에 適合토록 指導함으로써 39個業體가 새로이 檢査를 減免받도록 하였다.

## 第 7 章 漁業基盤施設の 擴充

### 第 1 節 漁港開發

우리나라 全國沿岸에는 漁港法으로 指定한 391개의 指定漁港중 水產廳長이 管理하는 1·3種漁港이 61個, 市·道知事가 管理하는 2種漁港이 330個가 있다. 이 중 '88年末 現在 漁港開發實績은 總 計劃物量 145km 중 112km를 施設, 77%를 開發하였다.

〈表 92〉 全國漁港 指定現況

市道別	區分	指定港數	水產廳管理		市·道知事管理
			1種	3種	2種
計		391個港	37	24	330
釜山	仁川	8	1	-	7
京畿	畿畿	7	-	3	7
江原	原南	37	-	3	34
忠清	南南	24	8	-	16
全北	北南	32	3	1	28
全南	南南	17	1	3	13
慶北	北南	123	6	8	109
慶南	南南	35	7	2	26
慶南	南南	92	7	5	80
濟州	州	16	4	2	10

資料：水產廳 漁港課

### 1. 1·3種漁港

'88년까지 1·3種漁港은 61個港의 計劃物量 66km중 42.5km를 施設함으로써 63.6%를 開發하였다. '88年中 1·3種漁港開發은 完工爲主方向으로 漁船의 安全收容을 위하여 防波堤 등 외곽施設 開發에 중점을 두고 推進하였으며 忠南의 安興港 등 25個港에 353億원을 投資, 防波堤 등 4, 484 m를 施設하였고 江原道 沙川津港 등 2個港의 基本施設을 完成하였다.

또한 漁港의 기능 提高를 위하여 15個港에 35億원을 投資, 老朽, 脆弱 시설에 對한 補修, 補強事業도 추진하였다.

### 2. 2種漁港

市·道知事 管理港인 2種漁港은 計劃物量 79km중 '88년까지 69.5km를 施設함으로써 88.4%를 開發하였다. '88年中 2種漁港 開發 역시 完工爲主의 漁港建設에 두고 既着手港에 60億원(國費 50%, 地方費 50%)을 投資하여 防波堤 등 1,476 m를 施設하였고 8個港의 基本施設을 完成하였다.

表 93) 漁港開發現況

	總計劃	施設量	
		'88	'88까지
計	144,757 m	5,960	111,938
1·3種 漁港	66,146	4,484	42,487
방파제	28,236	1,403	21,157
물양장	27,666	2,441	14,465
선착장	554		554
기타	9,690	640	6,311
2種 漁港	78,611	1,476	69,451
방파제	30,539	989	26,109
물양장	5,646	228	4,969
선착장	21,973	259	19,415
기타	20,453		18,958

資料：水産廳 漁港課

註：總計劃은 第6次5個年計劃 期間까지 物量임

## 第 2 節 漁撈施設

### 1. 漁船建造

'88년에는 老朽漁船代替와 船質改良에 주력하였으며 특히 壽命이 半永久의이고 維持補修 등 管理費가 절감되어 經濟性이 우수한 合成樹脂



(FRP)船으로 船質을 改良 建造토록 적극 권장함으로써 漁船構造 改善 및 現代化를 推進하였다.

2. 低効率機關 代替 및 裝備改良

操業能率 향상과 海難事故의 未然防止 및 에너지節約을 도모코자 低効率機關인 燒球機關, 陸上用機關, 老朽機關 등을 效率이 좋은 船舶用 國産디젤機關으로 代替하기 위한 低効率機關代替事業에 3,560百萬元 (29,853馬力)을 지원하였다. 機關供給은 漁民이 希望하는 機關을 용이하게 購入할 수 있도록 水協 中央會에서 製作會社 機種別로 單價契約을 체결하여 共同購買케 함으로써 저렴한 價格으로 購入토록 주선하였고 事後奉仕가 圓滑히 遂行되도록 하는 등 需要漁民의 便宜를 도모하였다. 또한 漁船의 裝備現代化를 위하여 無電機代替를 지원함으로써 安全操業과 操業能率 向上에도 寄與하였다.

<表 94>

漁撈施設事業 實績

單位：百萬元

	數量	物量	事業費			
			計	補助	融資	自担
計			41.910	929	29.375	11.606
○ 漁船建造	472隻	8.207톤	38.217	929	26.494	10.794
- 老朽漁船代替	136	1.537	5.296	929	2.786	1.581
- 計劃造船	22	5.160	26.885	-	18.947	7.938
- 經濟性漁船	314	1.510	6.036	-	4.761	1.275
普及						
○ 低効率機關代替	369台	29.853馬力	3.560	-	2.816	744
○ 裝備改良 (30W無電機)	93台	-	133	-	65	68

資料：水産廳 漁船課

## 第 8 章 水產團體育成 및 低所得漁村 開發

### 第 1 節 水產業協同組合

#### 1. 組織

水產業協同組合法을 改正(法律 第4084號 88.12.31)함과 동시에 水產業協同組合 任員 任免에 關한 臨時措置法을 廢止하여 水產業協同組合의 組織, 運營의 自律性과 民主性을 대폭 保障토록 하였다. 이에 의하면 組合長을 組合員이 直接選出토록 하고 水產廳長의 監督權을 대폭 縮小調整하는 등 組合의 自律 運營을 擴大하였다.

'88年の 組合員數를 살펴보면 前年에 비해 3,454명이 늘어난 145,602名으로 2.4%가 增加하였다. 이中 地區別水協의 組合員은 142,354名, 業種別, 製造業水協의 組合員이 3,248名으로 나타났다.

〈表 95〉

水協의 組織

單位：個所

	'85	'86	'87	'88
水協中央會	1	1	1	1
會員水協	72	72	72	73
- 地區別	56	56	56	57
- 業種別	14	14	14	14
- 製造業別	2	2	2	2
組合員(千名)	138.8	138.9	142.1	145.6

資料：水協中央會

2. 運 營

가. 事業規模

'88년의 水協事業規模는 42,375億원( 중앙회 : 24,906億, 회원조합 : 17,469億)으로 '87년에 比하여 3,704億원이 增加하였다. 이 중 水協中央會의 사업은 信用, 相互金融, 共濟事業이 伸張하였으며, 借款事業은 26.1%가 減少하였다.

會員組合의 事業規模는 전체적으로 볼때 前년에 比하여 2,138億원 增加하였는데 組合當 平均 29百萬원으로 이는 주로 信用, 經濟, 相互金融 및 共濟事業의 伸張에 基因하며, 事業別 構成比를 보면 經濟事業이 55.2%, 信用事業이 26.8%로서 어획물 위판과 組合員에 對한 營漁資金 供給이 主眼을 이루고 있다.

<表 96> 水協中央會 事業規模

單位: 億원

	'85	'86	'87	'88	'88/'87(%)
計	18,147	20,161	23,340	24,906	106.7
信用事業	5,147	6,023	7,024	8,948	127.3
外換事業	1,344	1,373	1,232	1,185	96.2
經濟事業	3,501	3,713	3,870	3,406	88.0
共濟事業	7,257	8,749	10,863	10,970	100.9
借款事業	82	48	23	17	73.9
指導事業	53	64	64	69	107.8
相互金融事業	763	191	264	311	117.8

資料: 水協中央會

〔表 97〕

會員組合 事業規模

單位：億원

	'85	'87	'88	'88/'87(%)
計	11,228	15,331	17,469	113.9
信用事業	2,921	4,211	4,682	111.1
經濟事業	6,890	8,712	9,646	110.7
共濟事業	701	887	999	112.6
指導事業	65	79	73	92.4
相互金融事業	651	1,442	2,069	143.4

資料：水協中央會

〔表 98〕

組合當 平均 事業規模

單位：億원

	'85	'87	'88	'88/'87(%)
計	156	212	241	113.6
信用事業	41	58	64	110.3
經濟事業	96	121	133	109.9
共濟事業	9	12	14	116.6
指導事業	1	1	1	100.0
相互金融事業	9	20	29	145.0

資料：水協中央會

나. 收支狀況

'88年 水協中央會의 一般會計와 特別會計를 종합한 事業收益은 前年에 比하여 1.3%增加한 333,574百萬元으로 나타났다. 한편 事業費用은 1.3%增加한 332,548百萬元으로서 1,026百萬元의 當期純利益이 發生하였으며 이는 '87年에 比하여 44百萬元이 증가한 것이다.

<表 99> 水協 中央會 收支狀況

單位：百萬圓

	'85	'87	'88	'88/'87(%)
收 益	312,668	329,133	333,574	101.3
費 用	311,098	328,151	332,548	101.3
剩 餘	1,570	982	1,026	104.4

資料：水協中央會

한편 會員組合은 地區別水協의 경우 委販手數料과 貸出金利子가 주된 收益源으로 前年 對比 27,984百萬圓이 증가한 152,365百萬圓으로 組合當 平均은 2,087百萬圓이며 費用면에서는 收益의 대부분을 借入金利子, 事業管理費, 委販造成金 및 指導事業費 등으로 支出하고 있으며 '87년보다 27,080百萬圓이 증가 組合當 平均 371百萬圓이 증가하였다.

業種別 및 製造業水協은 貸出金利子和 地區別水協이 支給하는 委販造成金이 주된 收益源이며 借入金利子, 事業管理費 및 指導事業費로 收益의 대부분을 支出하였다.

<表 100> 會員組合 收支狀況

單位：百萬圓

	'85	'87	'88	'88/'87(%)
收 益	90,928	124,381	152,365	122.4
費 用	87,828	118,569	145,649	122.8
剩 餘	3,100	5,812	6,716	115.5

資料：水協中央會

다. 出資金 造成

水協 自立基盤 確立의 기초가 되는 出資金を 擴大 造成하기 위하여 '72년부터 増資運動을 추진하여 왔으며 그 결과 '88년 水協中央會 出資金은 '87年 對比 5.5%가 증가한 11,203百萬원을 造成하였고, 會員組合에 대한 出資配當金도 前年對比 12.3%가 증가한 564百萬원을 配當하였으며, 會員組合의 出資金은 '87年에 비해 22.2%가 증가한 56,453百萬원을 造成하였고, 組合員에 대한 出資配當金은 3,280百萬원(基準出資金 平殘의 8%)을 配當하였다. 또한 組合員 1인當 平均出資金은 '87년의 325천원에서 387천원으로 증가되었다.

<表 101>

出資金 造成狀況

單位：百萬元

	'85	'87	'88	'88/'87(%)
計	43,900	56,804	67,656	119.1
水協中央會	9,250	10,616	11,203	105.5
會員組合	34,695	46,188	56,453	122.2
- 地區別	28,457	38,158	47,377	124.1
(1人當座數)	(210)	(274)	(333)	(121.5)
- 業種, 製造別	6,238	8,030	9,076	113.0
(1人當座數)	(210)	(228)	(268)	(117.5)

資料：水協中央會

(註) 1座當金額：地區別 1,000원, 業種·製造業 10,000원, 中央會 10,000원

## 第 2 節 水産物 輸出團體

水産物 輸出業務를 取扱하고 있는 團體로는 韓國水産物輸出組合과 水産業協同組合中央會, 韓國遠洋漁業協會 및 韓國內水面漁業協會가 있으며 漁網輸出業務를 取扱하는 團體로는 大韓漁網工業協會가 있다. 이들 輸出團體는 管掌品目에 對한 輸出推薦業務와 會員社에 對한 輸出支援資金配定, 輸出秩序維持 및 會員共同利益增進을 위한 業務를 遂行하고 있으며, 홍합 및 바지락등조림 輸出을 推薦해왔던 韓國農林水産食品輸出組合은 同品目에 對한 推薦制度가 '88.7.1부터 廢止됨에 따라 水産物輸出團體에서 除外되었다.

<表 102>

水産物 輸出團體

團 體 別	根 據 法 律	許 可 者 (許可日字)	推 薦 品 目
○ 한국수산물 수출조합	대외무역법 제55조	상공부 장관 (‘86.5.1)	활선, 냉동어류, 연체동물, 간미역, 취치포등 (57개 품목)
○ 수협중앙회	수산업협동 조합법	수 산 청 장 (‘62.4.1)	굴통조림(1개 품목)
○ 한국원양 어업협회	민법제32조	수 산 청 장 (‘64.4.1)	참치류(8개 품목)
○ 한국내수면 어업협회	·	수 산 청 장 (‘70.4.15)	실지렁이, 뱀장어 (3개 품목)
○ 대한어망 공업협회	·	수 산 청 장 (‘66.3.31)	망 및 끈류(18개 품목)

資料：水産廳 貿易課

註：推薦品目數는 HS分類에 依함.

### 第 3 節 低所得漁村 開發과 漁民後繼者 育成

#### 1. 低所得 漁村 開發

漁村開發 潛在力과 協業事業 遂行能力은 있으나 地域與件이 不利하고 全國 漁家平均所得 水準에 未達하는 低所得漁村 2個所를 選定하여 392 百萬원(個所當 196百萬원)의 事業費를 投資하여 地域與件에 맞는 生産 基盤施設 事業과 所得増大事業을 綜合支援함으로써 어촌구조의 개선과 정주권기반을 확보함과 아울러 어촌사회 的 離漁現象방지와 지역간, 계층간 소득격차解消에 노력하였다.

<表 103>

示範 漁村 支援 事業 實績

單位：百萬원

漁村名	事業費				細部事業
	計	國費	地方費	自担	
計	392	248	106	38	
全南 莞島郡 扶桑 漁村契	196	124	53	19	防波堤：60 m 漁村所得源道路：120 m 貝類蕃養：2ha
慶南 蔚州郡 大松 漁村契	196	124	53	19	防波堤：31 m 漁村所得源道路：150 m 物揚場：748 m <sup>2</sup> 전복種苗 放流：20,000마리

資料：水産廳 協同組合課



2. 漁民後繼者 育成

漁民後繼者 育성을 위하여 '88년에는 漁船漁業, 增養殖業, 水産物加工分野에서 400名을 선발하여 3,531百萬원의 자금을 지원하였다. 1人當 支援金額은 漁船漁業과 魚類蕃養漁業은 10百萬원, 貝類蕃殖은 8百萬원, 海藻類蕃殖과 水産物加工에는 6百萬원씩 支援되었으며, 支援條件은 漁船漁業 및 魚類蕃養漁業은 3年据置 7年償還, 其他漁業은 3年据置 4年均等分割 償還에 適用金利는 年5%이다.

또한, 이들에게는 精神教育 3일간, 專門分野別 技術教育 6일간을 실시하였으며 漁村指導所의 專担指導士 213名이 配置되어 사후지도를 담당하였다.

<表 104>

漁民後繼者育成事業實績

單位：名, 百萬원

	計		'81~'87		'88	
		%		%		%
人 員	4,147	100	3,747	100	400	100
· 漁船漁業	2,508	60	2,246	60	262	65
· 增養殖漁業	1,597	39	1,463	39	134	34
· 水産物加工	42	1	38	1	4	1
支 援 額	31,355	-	27,824	-	3,531	-

資料：水産廳 協同組合課

## 第 9 章 水産事業 總括

### 第 1 節 投融資 實績

'88年 投融資事業은 養殖漁場開發의 52개 單位事業과 '87年에서 移越된 漁港建設事業 등 9개사업을 추진하여 전년도 移越事業은 100% 完了하였고, '88년 計劃事業中 南海水産種苗培養場 등 9個 單位事業의 일부가 對民間 및 關係部處間 協議遲延 등 外部的인 與件으로 부진하여 '89년으로 이월되었다.

<表 105> 主要水産振興事業 執行 實績

單位：百萬元

事業名	單位	事業量			總事業費
		計劃	執行	移越	
○ 增殖事業					
養殖漁場開發	ha	526	526	—	7,271
	柵	11,000	10,940		
	個所	47	47		
養殖基盤施設	個所	13	13	—	899
— 漁場淨化	ha	11,900	13,184	—	371

事業名	單位	事業量			總事業費
		計劃	執行	移越	
○ 資源 造成					
- 人工魚礁施設	ha	7,000	7,045	-	9,678
- 種苗培養場施設	個所	1	-	1	389
○ 漁業 指導					
- 指導船建造 (400長寸)	隻	1	-	1	625
- 漁業無線局施設	個所 臺	1 104	1 104	- -	535
○ 漁港 建設					
- 1・3種漁港	m	3,477	4,484	-	38,793
- 2種漁港	m	1,332	1,476	-	6,000
○ 漁撈 施設					
- 漁船建造	G/T	9,863	8,207	-	38,217
- 動力改良	馬力	22,000	29,853	-	3,560
- 裝備改良	臺	100	93	-	133
○ 水產物 流通					
- 委販場施設	坪	2,200	2,200	-	1,169
- 綜合魚市場施設	個所	1	1	-	4,394
- 給油・給水施設	D/M	7,300	7,000	-	327
- 水產物處理加工施設	個所	31	31	-	20,650
○ 遠洋漁業 開發					
- 南水洋州等漁場調査	隻	1	-	1	387
○ 漁民 支援					
- 水產資金供給					508,838
・ 營漁資金	-	-	-	-	384,000
・ 水產振興基金	-	-	-	-	4,439
・ 水產振興財政資金	-	-	-	-	8,500
・ 農漁村地域開發基金	-	-	-	-	28,096
・ 農安基金	-	-	-	-	83,803

事業名	單位	事業量			總事業費
		計劃	執行	移越	
- 漁民負擔輕減					7,901
· 颱風被害漁民約定利子補助	-	-	-	-	1,428
· 營漁資金利差補填	-	-	-	-	3,270
· 漁家負債輕減利差補填	-	-	-	-	2,148
· 船員共濟料補助	-	-	-	-	816
· 漁業前進基地施設 資金整理支援	個所	2	2		239
- 低所得漁村支援	個所	2	2	-	392
- 漁村副業(共同作業場)	"	5	3	1	100
漁船員福祉會館建立 (設計費)	個所	1		1	10
- 西海 5 島支援	隻	2	2		239
○ 漁村指導	課題	5	5		270
○ 試驗研究	"	38	38	-	1,125
○ 淡水魚試驗研究	"	3	3	-	108
○ 韓國漁業技術訓練					
· 漁業技術訓練	名	430	419	-	1,202
訓練船建造(370名)	隻	1		1	642
○ 內水面開發					
- 稚魚買入放養	단마리	3,400	3,400		584
- 연어人工孵化放流	"	735	735		50
- 마을共同養魚場	個所	2	2		30
- 淡水魚加工施設	"	1	1		50
- 道立內水面開發試驗場 施設	"	2	2		1,016

資料：水產廳 行政管理擔當官室

<表 106> 移 越 事 業 (1987→1988)

單位：百萬圓

事 業 名	物量	事 業 費				
		計	補助	融資	地方費	自擔
計		8,028	7,303	70	360	295
○漁 港 建 設 (築造 以 叫号被害復舊)	11 個港	3,060	3,060	-	-	-
○漁 港 調 查	6件	283	283	-	-	-
○指 導 船 建 造	1隻	1,100	1,100	-	-	-
○南 水 洋 漁 場 調 查	1隻	388	137	-	-	251
○養 殖 基 盤 施 設	1個所	100	20	50	10	20
○道立內水面開發試驗場施設	1個所	700	350	-	350	-
○南 濟 州 種 苗 培 養 場	1個所	672	672	-	-	-
○研 究 團 地 造 成 工 事	1個所	1,666	1,666	-	-	-
○漁 村 副 業	2個所	59	15	20	-	24

資料：水產廳 行政管理擔當官室

<表 107> 移 越 事 業 (1988→1989)

單位：百萬圓

事 業 名	物量	事 業 費					移 越 事 由
		計	補助	融資	地方費	自擔	
計		7,793	6,562	410	-	821	
○南海水產種苗培養場	1 個所	1,527	1,527	-	-	-	私有土地敷地 買入協議遲延
○漁 港 建 設 (築造 以 補強)	13 個港	2,965	2,965	-	-	-	絕對工期不足
○南 水 洋 漁 場 調 查	1隻	914	-	400	-	514	南水洋漁期 (88.12~89.3)
○漁船員福祉會館建立	1 個所 (設 計 費)	10	10	-	-	-	'89施設費確定 後設計が實 施되어야 함으 로 所要工期 不足
○指 導 船 建 造	1隻	688	688	-	-	-	工事契約締結 遲延
○漁 村 副 業 事 業	1 個所	26	8	10	-	8	所要工期不足
○研究團地造成事業	"	585	585	-	-	-	設計變更으로 絕對工期不足
○濟州水產研究所新築	"	138	138	-	-	-	敷地買入 및 公有水面理立 協議遲延
○漁業技術訓練船建造	1隻	940	641	-	-	299	絕對工期不足

資料：水產廳 行政管理擔當官室

## 第 2 節 事 業 成 果

水産業은 그동안 관목할만큼 伸張을 이룩하였으나 이과정에서 漁獲手段의 增大, 遠洋漁業의 規制強化와 工業化 등 他部門의 發展에 따른 相衡的 要因 등으로 資源減少 및 漁場縮小를 가져왔다. 이에 對處하기 위하여 水産資源을 造成·管理하고 기르는 漁業의 生産基盤施設을 擴充하였으며 遠洋漁場을 安定的으로 確保하여 水産物生産은 321만톤, 輸出은 20억47백만\$를 달성하였으며 漁家所得은 전년대비 10.6% 증가한 6,821천원으로 늘어났다.

主要事業別 實績을 보면 沿岸漁場牧場化를 위해 水産資源造成事業으로 人工魚礁를 7,045ha에 시설하여 '88년까지 총 38,317ha를 개발하였고, 種苗培養場 1개소를 신설하여 總10개소로 확충하였으며 種苗(돔, 넙치, 새우 등 12種) 2,421萬마리를 생산하였다.

養殖漁場은 526ha를 신규 개발하여 總125千ha를 개발하였으며 漁場環境淨化事業(13千ha) 등을 추진하여 4千톤의 汚物을 收去하였다.

內水面開發에 있어서는 稚魚 34백만마리를 放養하였고, 總總地 54千ha中 42千ha를 개발 완료하였으며 養魚場施設도 '87년의 912개소(1,321ha)에서 1,136개소(1,380ha)로 늘어났다.

水産資源保護와 漁業秩序確立을 위하여 漁業指導船 1隻(400톤급)을 建造하였으며 特히 今年은 “不法漁業追放의 해”로 定하여 集中的인 指導團束과 關係部處와의 緊密한 協助로 不法漁業根絶對策을 마련하여 積極的に 團束한 結果 2,814件을 적발 조치하였고 漁民 95千名에 대해

不法漁業根絶과 安全操業에 대한 教育을 실시하였다.

또한 資源保護에 영향이 큰 沿岸許可漁業 全業種과 申告漁業中 壺網漁業 등 일부漁業에 대해서는 新規許可를 억제하도록 하고 近海流刺網 등 6개 近海漁業에 대해서도 계속 新規許可抑制와 業種別 上限船腹量을 설정하여 무분별한 增톤을 금지하고 있다.

水產技術開發 普及을 위하여 水產研究團地造成事業(부지 58천평, 건평 7천평)을 추진하여 水產振興院은 '89 5월, 水產技術訓練所는 '89. 9월 移轉을 目標로 建設中이며, 研究員資質向上을 위해 國內외의 優秀研究機關 및 大學에 77명을 研修시키고 專門家 4명을 交流하였으며 OECF 借款으로 試驗機器 및 指導裝備 등 662點을 導入 활용하고 있다.

전국 1,539개 漁村契에 生産技術指導를 延 38,251회 실시하고 새로운 試驗研究事業으로 魚類의 遺傳育種學의 研究, 韓國近海漁場의 海洋變動 調查, 沿近海資源動態 및 生態調查, 帆布를 利用한 트롤용 展開裝置 등 41個 課題를 試驗研究하였다.

遠洋漁場의 安定的 確保를 위하여 佛, 키리바티, 투발루, 쿡 諸島와 漁業協定을 更新締結하였으며 南水洋漁場進出 및 베트남, 中國 등 特殊地域을 包含한 6개 新漁場을 開發進出하였고 海外合作事業擴大 등으로 遠洋漁業의 持續의인 伸張勢를 堅持하였다.

水產物流通改善과 價格安定을 위해 內陸地系統出荷 및 產地消費地 直去來의 擴大實施로 流通에 圓滑을 期하였으며 水產物의 價格安定對策을 樹立, 農安基金을 '87년 886億원의 10%가 增加한 996億원을 確保 政府 備蓄 및 民間出荷調節事業으로 234千톤을 收買, 盛需期에 방출하였다.

國民의 蛋白質供給의 53%를 占하고 있는 水產物을 副食概念에서 主食으로의 轉換과 國民嗜好에 알맞은 水產食品의 開發 및 普及을 위하여 '88년도 追更豫算에서 140億원을 追加確保하여 冷凍煉肉施設, 海藻加工

施設 등 24個所에 追加支援하였으며 水産物の 消費擴大와 料理法 普及을 위하여 能動的으로 弘報함으로써 水産物の 食糧化事業을 計劃대로 踉蹌없이 推進하였다. 特히 우리나라 水産業發展에 最大懸案 課題中の 하나였던 沿岸漁場의 合理的인 利用과 綜合的인 開發을 위하여 全國沿岸漁場에 對한 基本調査를 實施하고 “韓國沿岸漁場基本調査報告書” 全 9卷을 發刊함으로써 앞으로 地域特性에 알맞게 開發할 수 있는 基礎資料를 제공하였다.

漁業基盤施設擴充에 있어서는 漁船建造(8,207톤)와, 動力改良(29,853마력) 및 漁撈裝備改良(30W 無電機 93臺) 등 漁撈施設現代化에 주력하여 動力船이 全體漁船의 79.2%를 점유하고 經濟性이 높은 合成樹脂船은 2.4%에서 3.9%로 伸張되었다.

漁港開發은 448億원을 112개항에 投入, 101개항을 完工함으로써 總計 劃 145km中 112km를 완성하여 77%를 개발하였다.

漁民支援強化 및 負擔輕減을 위해 營漁資金을 '87년보다 340億원이 많은 3,840億원을 支援하고 水産振興基金, 農漁村地域開發基金 및 農安基金 등 水産資金供給規模를 總 5,449億으로 大幅 擴大供給하였다.

또한 漁民負擔輕減을 위하여 營漁資金利差補填 등에 79億원을 支援하였고 免稅油類도 398萬드림으로 擴大供給함으로써 353億원의 漁民負擔을 輕減시켰고 特히 沿近海漁民들의 오랜 숙원사항이었던 漁具 등 漁業用機資材의 附加價値稅가 減免될 수 있도록 租稅減免規制法에 反映하여 漁民의 負擔을 크게 輕減시켰다.



## 第 10 章 水產法令 整備 및 制度 改善

### 第 1 節 法令 整備

#### 1. 水產業 協同組合法 改正

水產業協同組合 任員 任免에 關한 臨時措置法에 의하여 組合長을 水產業協同組合中央會長이 任免하던 것을 同 臨時措置法을 廢止하는 동시에 水產業協同組合法을 改正하여 組合員이 組合長을 選出하도록 하고, 水協中央會長은 大統領이 任免하던 것을 組合長으로 構成된 總會에서 選出하도록 함으로써 組合員의 組合運營에의 參與 機會를 擴大하는 한편 中央會의 事業計劃 및 收支豫算에 對한 水產廳長의 事前 承認權을 政府 政策事業外에는 事後 報告制로 변경하는 등 水產廳長의 組合 및 中央會 運營에 對한 干여를 緩和함으로써 水協 運營의 自律性과 民主性을 保障하기 위해 '88年 12月 31日 法律 第4084號로 改正하였다.

改正된 主要內容은

가. 組合長은 組合員이 直接 選出함을 原則으로 하되 各組合의 實情에 따라 定款이 規定하는 바에 依하여 總會에 같은하는 代議員會에서도 選出할 수 있도록 하였으며

나. 水協中央會長은 會員組合의 組合長들로 構成된 總會에서 直接 選出하도록 하고

다. 從前에는 中央會의 事業計劃 및 收支豫算에 關하여 水産廳長의 事前承認을 받도록 하던 것을 앞으로는 原則的으로 事後報告만 하도록 하여 水協運營의 自律性과 民主性을 保障하되 水協中央會가 政府로부터 資金이나 事業費를 補助 또는 融資를 받아 施行하는 政府政策事業에 있어서는 公益性을 고려하여 事業計劃書에 대하여 水産廳長의 事前 承認을 받도록 하였다.

라. 組合의 組合長, 理事, 中央會의 會長, 副會長, 理事의 任期를 3年에서 4年으로, 組合, 中央會의 監事의 任期를 2年에서 3年으로 各各 1年씩 延長하였으며

마. 從前에는 組合員 資格을 年長者에 局限시켜 왔으나 앞으로는 實質的으로 家計를 運營하는 사람이 組合員이 될 수 있도록 하고 組合의 區域內에 居住하는 住民도 準組合員이 될 수 있게하여 組合의 利用範圍를 넓히고

바. 組合 및 中央會의 任員選舉에 있어 直接 選舉運動 目的을 爲한 戶別訪問을 禁止하는 등 선거운동 方法을 制限하고 그에 위반한 者에 대한 罰則規定을 新設하였다.

사. 이 法에 依한 組合長을 비롯한 組合의 任員과 代議員의 選出은 '90年 3月 31日 이전에 完了하도록 하되 그 具體的인 選出 日字는 總會에서 定하도록 하고 이 法 施行當時의 任員 및 代議員의 任期는 그 後任者가 選出되기 前日까지로 하였고

아. 이 法에 依한 中央會長을 비롯한 中央會의 任員은 이 法에 依한 組合長의 選出이 完了된 날로부터 1月 以內에 새로 選出된 組合長으로 構成된 總會에서 選出하거나 그 同意를 받아 任命하도록 하고, 이 法

施行 當時의 中央會 任員의 任期는 그 後任者가 새로 選出 또는 任命되  
기 前日까지로 하였다.

## 2. 水產業協同組合任員任免에관한臨時措置法 廢止

水產業協同組合의 自律性을 保障하고 組合員들의 民主化欲求에 副應  
하기 위하여 組合長을 組合員이 選出하도록 함을 主要內容으로 하는 水  
產業協同組合法中改正法律에 맞추어 종래 水產業協同組合中央會長이 組  
合長을 任免하도록 한 本臨時措置法을 '88年 12月 31日 法律 第4083號  
로 廢止하였다.

## 3. 漁船法施行令 改正

現行規程의 運用上 나타난 未備點을 補完하기 위하여 從前에는 遠洋  
漁業에 限하여 使用하는 水產物 運搬漁船의 범위에 國內港과 外國港間  
또는 外國港間에 漁獲物이나 그 製品을 運搬하는 船舶外에 遠洋漁場으  
로부터 漁獲物이나 그 製品을 運搬하는 船舶도 포함하는 것을 主要內容  
으로 하는 漁船法施行令을 '88年 11月 14日 大統領令 第12543號로 改正  
하였다.

## 第 2 節 制度改善

### 1. 水産物 検査

水産物 検査에 따른 水産業界의 便宜圖謀와 輸出促進을 위하여 水産物 検査法 施行規則을 改正하여 각종 規制를 緩和하였는 바 그 主要内容은 다음과 같다.

가. 自家消費用, 試驗調査研究用 水産物에 대한 검사면제를 받고자 할 때에는 個別的으로 신청하여 면제를 받았으나 앞으로는 免除對象이 되는 水産物에 대해서는 國立水産物検査所長이 公告하여 일괄적으로 免除을 받을 수 있도록 하였으며

나. 一部 수산물의 검사 有効期間을 현실에 맞도록 하기 위하여 통조림은 4個月에서 6個月로 冷凍品은 2個月에서 4個月로 延長하였고

다. 調味加工品の 검사표준중 乾燥度의 기준이 추상적(적당한 것)으로 정하여져 있는 것을 水分含有量을 기준으로하여 구체화 하였다.

라. 또한 고등어, 정어리, 콩치보일드 등 통조림류의 검사표준(固型量)을 외국의 예에 맞추어 340g ~ 350g 에서 320g 으로 조정하고

마. 水産物検査例規 第148號를 改正하여 調味취치포에 대한 理化學検査(아황산가스, 분변제대장균)를 매분기 1회이상 하던 것을 하절기(5~6월)에 한하여 1회이상 실시하도록 하는 등 規制를 완화하였다.

## 2. 民願事務處理

國民 便宜 위주의 對民 봉사행정을 具現하기 위하여 민원사무처리기준을 다음과 같이 改善하였다.

가. 民願事務處理基準表에 원양어업허가 등 54件에 手數料欄을 新設하였으며

나. 外貨獲得用 수산물원료 輸入推薦 등 2件에 대해서는 具備書類를 간소화 하였고

다. 養魚場 시설을 위한 農地轉用推薦權을 水産廳에서 市·道知事로 증양식適地調査權은 國立水産振興院長 및 各水産研究所長에서 漁村指導所長으로 委任하였으며 검사불합격 수산물판매권 등 10件은 國立水産物檢査所長에서 각 支所長으로 권한위임 하였다.

라. 또한 農地轉用 推薦 처리기간을 19日에서 12日로 短縮하였고

마. 동조림제품, 마른김, 얼구운김, 냉동품, 기타 수산제품검사신청 등 4件을 水産製品檢査申請 하나로 統合하였으며

바. 수산물검사면제승인신청과 수산가공기기류감정의뢰 등 2件의 민원사무를 廢止하였다.

사. 그리고 새로운 행정수요에 따른 割當關稅推薦申請, 優秀加工業體檢査減免承認申請 및 漁船 原簿閱覽, 謄本交付申請 등 3件을 신설하는 등의 제도를 개선하였다.

### 第 3 節 職制改正

어선의 安全操業지도 및 不法漁業團束과 海難事故防止 및 救助를 위하여 430톤급 漁業指導船 1隻 건조에 따른 指導船乘船運營要員으로 일반직 5名 기능직 5名 및 고용원 4名 등 14名을 增員하는 水産廳職制를 改正하였고

有用水産種苗의 量産 放流로 沿岸漁場牧場化事業을 효과적으로 추진하기 위하여 남제주군에 水産種苗培養場 1個所 新設에 따른 運營要員 및 기존 8個 수산종묘배양장 廳舍防護員과 서울올림픽조직위원회로부터 리受받은 요트경기운영정 1隻을 水産試驗船으로 운영하게 됨에 따라 이에 필요한 人力으로 일반직 7名, 기능직 4名 및 고용직 11名 등 22名을 增원하고 忠武水産研究所를 忠武市에서 統營郡으로 이전함에 따라 그 名稱을 統營水産研究所로 改稱하고 위치를 변경하는 내용의 國立水産振興院職制를 改正하였다.

제주도 南濟州郡에 新設한 水産種苗培養場을 南濟州水産種苗培養場으로 名稱을 定하고 北濟州水産種苗培養場과 그 管轄區域을 調整하였으며 광주직할시와 전라남도의 管轄區域 變更 및 송정시·광산군 廢止에 관한 法律에 의거 莞島水産種苗培養場의 管轄區域중에서 송정시와 광산군을 削除하는 등 國立水産振興院 漁村指導所 및 水産種苗培養場의 名稱·位置 및 管轄區域에 관한 규칙을 개정하였다.

第 2 編

1989 年度 水 産 施 策

**여백**



## 第 1 章 水產施策方向

### 第 1 節 指標와 重點施策

우리나라 水產業은 그 동안 각 경제분야의 발전과 함께 持續的인 成長을 거듭한 결과 '87년도 FAO 통계에서도 나타나듯이 生産量은 세계 8위, 輸出에 있어서는 4위로 명실상부한 先進 水產國으로서의 位置를 굳건히 하게 되었다.

또한 '88년도 漁家所得도 6,821千원으로 '80年代初에 비하여 2倍의 增加를 가져왔다.

앞으로도 이러한 成長을 지속적으로 추진하면서 바다를 漁民의 생활 터전으로 가꾸고 수산업을 競爭力있는 食糧 産業으로 育成하며 어촌을 定住環境이 完備된 풍요로운 생활공간으로 育成하고자 '89년에는 水產物 生産 340萬톤, 輸出 21億弗을 指標로 설정하고 1,585億원의 예산과 6,476億원의 각종 수산자금을 지원하여 沿岸 水產資源의 조성과 所得倍加, 연근해 어업의 構造調整, 원양어장의 安定的 확보, 漁業基盤 시설의 擴充, 수산물 需給 및 價格安定, 연구기능 강화와 技術開發 普及, 어민 지원강화 등의 重點 施策을 적극 추진할 계획이며, 특히 이러한 重點施策은 '89. 4. 28 발표된 農漁村 發展 綜合對策에서 제시된 水產業 構造

改善과 漁家 所得增大, 농어촌 定住圈 開發, 농어민 負擔輕減과 함께 추진하여 어촌에서도 都市에 못지 않은 所得과 생활복지를 향유할 수 있도록 추진할 것이다.

<表 108> '89 水產物 生産 計劃

單位：千噸

	'89計劃	'88實績	'89/'88
計	3,400	3,209	105.9
沿 近 海	1,685	1,512	111.4
養 殖	930	887	104.8
內 水 面	65	36	180.6
遠 洋	720	774	93.0

資料：水產廳 沿近海課

<表 109> '89水產物 輸出計劃

單位：百萬\$

	'89計劃	'88實績	'89/'88
計	2,100	2,047	102.6
水 產 物	1,980	1,911	103.6
活 鮮 魚	440	476	92.4
冷 凍 品	320	260	123.1
海藻鹽辛藏品	150	150	100.0
号 丞 립	160	137	116.8
其他水產物	240	270	88.9
遠 洋 魚 類	670	618	108.4
漁 網	120	136	88.2

資料：水產廳 貿易課

## 第 2 節 投融資 規模

'89年 水產部門의 總豫算額은 1,585億원으로서 '88年の 1,268億원에 비하면 25%가 증가된 규모이며, 政府 總豫算의 0.7%, 農林水產豫算의 8.9%를 차지하고 있다.

'89年 예산은 沿近海 漁業分野에 重點支援하여 연안 어민의 生産基盤 構築과 自立度 向上을 도모하는데 그 방향을 두고 있으며 事業別 主要 內容은 다음과 같다.

### 1. 水產資源造成

水產生物의 산란, 서식장인 人工魚礁 施設을 위해 '88年보다 1千헥타를 늘린 8千헥타에 8,934百萬이 지원되며 우량 수산종묘의 量産供給을 위해 '88~'89까지 2個年 사업으로 추진하고 있는 남해 수산종묘 배양장 시설에 1,317百萬원과, 기존 종묘 배양장 시설 보강에 225百萬원이 지원된다.

또한 연안 定着性 生物로서 고소득 품종인 꽃게, 우럭, 돔, 새우 등 330萬마리의 수산종묘를 人工魚礁 施設 海域 및 沿岸 內灣에 방류하는데 165百萬원이 지원되며, 水產高校 自營水產科 學生의 寄宿舍 食費의 50%인 59百萬원을 4個校 8學級 320名에 支援할 計劃이다.

## 2. 増養殖 開發

漁村契를 중심으로 바지락, 고막, 가무락 등 주요패류 370헥타, 우렁챙이 및 진주양殖 21헥타, 고소득 개발품종인 魚類蕃養 41個所와 김의 病害 豫防과 生産性 向上을 위한 김냉동망 6,000척 등 양식어장 개발에 3,726百萬이 지원되며, 이러한 어장개발을 효율적으로 추진하기 위한 김냉동망, 사료저장 시설 등 基盤施設도 9個所에 526百萬원이 지원된다.

그러나 이 부분의 사업은 전년보다 어류축양 및 패류 양殖의 支援規模가 縮小되어 豫算이 減少되었으며, 특히 수익성이 比較的높고 국민의 수요가 증대하고 있는 魚類蕃養事業은 보조지원이 중단되고 전액 融資 支援(80%)하여 추진된다.

## 3. 內水面 漁業 開發

대단위 內水面의 資源造成을 위해 잉어, 송어, 떡붕어 등 稚魚 29百萬마리를 放流하는데 509百萬원이 지원되며, 새마을 양殖契의 소득향상과 자립기반을 위한 마을 공동 양어장 2個所 및 담수어 가공시설 1個所에 56百萬원이 지원된다. 또한 내수면의 효율적인 이용계획 수립을 위하여 20萬헥타에 달하는 전국의 댐, 호수, 강 등의 內水面 潛在力調査에 100百萬이 지원된다.

## 4. 遠洋漁場의 安定的 確保

어업교섭단 파견, 有力人士 招請, 각종 국제어업 회담참석 등 水産外

交強化 및 남방양 어장 개발을 위해 523百萬원이 지원된다.

#### 5. 漁港建設

完工爲主의 漁港 修築事業에 注力하면서 '92년까지 61個 1·3種어항 기본시설의 완공을 목표로 '89년에 46,300百萬원을 投資 6個港을 완공, 總34個港을 완공할 計劃이며 2種漁港開發에 총사업비의 50%에 해당하는 3,700百萬원이 支援된다.

#### 6. 漁撈施設

8톤 미만의 老朽 연안어선을 經濟性 漁船인 합성수지선으로 대체하기 위해 '88年보다 100톤이 늘어난 1,700톤에 4,643百萬원이 지원되며, '88년까지 예산으로 지원되던 裝備改良은 농어촌 지역개발 기금으로 전환하여 지원하게 된다.

#### 7. 水産物 流通施設

產地 漁獲物의 신속한 양육, 판매를 위해 委販場 2,088명 施設과 綜合 魚市場 1個所 施設에 1,447百萬원을 지원하게 되며, 어선출어시 유류, 수보급을 위한 給油 給水施設 8,400드럼 시설과 연안 급유선 1척 대체를 위해 347百萬원이 지원된다.

## 8. 水產技術 개발을 위한 연구기능 강화

研究基盤造成을 위해 수산연구단지 移轉費 3,218百萬元, 수산연구소 청사 2個所 신축비 554百萬元와 遺傳育種學 연구 및 새로운 증양식 품종 개발연구 등 39個 수산연구과제에 2,648百萬元이 지원되며, 기술지도 보급을 위해 429百萬元이 지원된다.

## 9. 水產資金 支援

漁業經營費 支援을 위한 營漁資金 供給도 '88년의 3,840億원보다 25% 늘어난 4,800億원을 공급하기 위하여 150億원을 지원하고 水產振興 財政資金도 85億원의 공급규모를 유지하기 위하여 15億원이 지원된다.

또한 '86. 3. 5 農漁村 綜合對策에 의하여 營漁資金 대출이율을 10%에서 8%로 인하함에 따라 발생하는 利差補填額 3,655百萬元과 '87. 3. 16 農漁家 負債輕減 對策과 '87. 12. 9 農漁家 經濟活性化對策에 의하여 '88年度부터 중장기 수산개발자금 및 영세어가 中長期 低利代替資金 등의 이자 인하에 따른 利差補填額 4,017百萬元이 지원된다.

## 10. 漁民支援 強化

농어가 負債對策에 새로운 전환점을 만들기 위해 漁家負債 對策費 150億원이 예산에 책정되어 零細漁家 特別對策, 營漁資金 金利引下 등에 사용되며 어촌사회의 정주권 조성과 지역간 균형발전을 도모하기 위한 漁村綜合開發事業도 '88년 2개소에서 '89에는 15個所에 3,150百萬元이 지원된다.

그리고 어선원에 대한 綜合厚生福祉 施設인 漁民福祉會館 1個所에 402百萬元이 지원되며, 어선원에 대한 共濟料 補助를 위해 666百萬元이 지원된다.

또한 '87년도에 발생한 셀마 및 다이너 태풍 등 재해시 피해 어민의 營漁資金 約定利子 보조를 위해 1,091百萬元이 지원된다.

### 11. 安全操業指導

500톤급 指導船 1척 건조비 1,940百萬元과 어업통신의 주역할을 담당하고 있는 어업무선국의 通信裝備 보강 및 安全操業指導 인건비 보조에 3,784百萬元이 지원된다.

<表 110>

'89 水 產 豫 算

<會 計 別>

單位：百萬元

	'89	'88	增△減	對比(%)
一 般 會 計	129,174	97,601	31,573	132
財政投融資特別會計	25,291	25,243	48	100
國庫債務負擔行爲	4,000	4,000	-	100
計	158,465	126,844	31,621	125
事 業 費	142,676	112,790	29,886	126
· 基 本 的 經 費	15,789	14,054	1,735	112
· 人 件 費	12,382	10,713	1,669	115
· 基 準 經 費	2,700	2,676	24	101
· 官 署 運 營 費	707	665	42	106

資料：水產廳 企劃豫算擔當官室

〈事業別〉

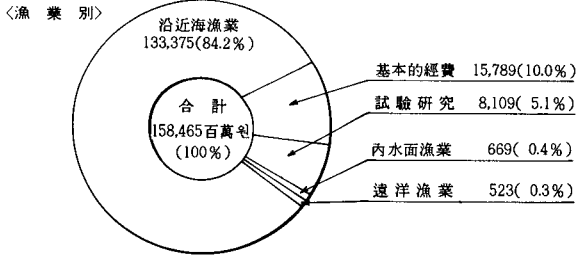
(單位：百萬圓)

	'89	'88	増減	對比(%)
計	158,465 (25,291)	126,844 (25,243)	31,621 (48)	125
I. 事業費	142,676 (25,291)	112,790 (25,243)	29,886 (48)	126
1. 水産資源造成	10,770	10,317	453	104
2. 養殖漁場開發	4,732 (3,834)	6,445 (5,083)	△1,713 (△1,249)	73
3. 内水面漁業開發	669	1,152	△483	58
4. 遠洋漁場の安定的確保	523 (400)	529 (400)	△6 ( )	99
5. 漁港建設	55,045	46,363	8,682	119
6. 漁撈施設	5,821 (3,482)	5,204 (3,046)	617 (436)	112
7. 水産物流通施設	1,816 (1,025)	1,703 (964)	113 (61)	107
8. 試驗研究及漁村指導	8,538	6,585	1,953	130
9. 水産資金	24,172 (16,500)	21,168 (14,000)	3,004 (2,500)	114
10. 漁民支援	20,740 (50)	4,737 (1,740)	16,003 (△1,690)	438
11. 安全操業指導	6,628	5,470 (10)	1,158 (△10)	121
12. 其他經常事業	3,222	3,117	105	103
II. 基本的經費	15,789	14,054	1,735	112

資料：水産廳 企劃豫算擔當官室

※ ( )は財特等





이상의 정부예산 외에도 漁業經營資金과 수산물 유통·제조시설 및 運營資金, 수산물 가격안정 자금 등 各種 水產資金도 '88年보다 1,228億 원이 증가한 6,476億 원이 지원된다.

〈表 111〉 各種 水產資金(基金) 支援計劃

單位: 億 원

		'89	'88	增 減
調 達	營 漁 資 金	4,800	3,840	960
	水產振興基金及財政資金	139	132	7
	農漁村地域開發基金	271	101	170
	國 民 投 資 基 金	180	200	△20
	農 安 基 金	1,086	975	111
計		6,476	5,248	1,228
運 用	沿 近 海 漁 業 經 營	4,264	3,244	1,020
	遠 洋 漁 業 經 營	560	643	△83
	水 產 物 流 通 · 製 造	271	109	162
	漁 撈 施 設	295	277	18
	備 蓄 及 價 格 安 定	1,086	975	111

資料: 水產廳 企劃豫算担当官室

## 第 2 章 沿岸水產資源의 造成과 所得倍加

### 第 1 節 水產資源 造成

#### 1. 人工魚礁施設擴大

沿近海水產資源의 產卵, 棲息場을 造成하기 위하여 '89년에는 11,168 萬圓을 投資, 9個市·道의 施設適地 8千ha에 人工魚礁를 施設하고, 既 施設한 海水中 28個所에 대하여 漁獲效果와 魚礁의 保存狀態를 調査하여 各 水域 및 魚種에 適合한 魚礁를 開發하고자 試驗研究를 積極 推進해 나갈 計劃이다.

〈表 112〉

人工魚礁施設計劃

單位：ha

計	既施設('71 '88)	'89計劃	總施設('71 '89)
釜 山	200	100	300
京 畿	367	100	467
江 原	6,256	1,100	7,356
忠 南	1,141	500	1,641
全 北	1,159	400	1,559
全 南	7,738	1,700	9,438
慶 北	6,673	1,300	7,973
慶 南	10,468	1,700	12,168
濟 州	4,315	1,100	5,415

資料：水產廳 資源造成課

## 2. 種苗生産 · 放流

'89년에는 地域別 특성에 適合한 有用品種의 種苗 生産技術개발 및 放流를 위해 '88년에 着工한 慶南 南海水産種苗培養場의 陸上施設을 完工하는 한편 1,317百萬원을 投資하여 海上中間育成場을 完공하여 年間 1,200萬마리의 종묘생산능력을 가진 대규모 종묘배양장을 시설할 계획이다.

그리고 既存 9個 種苗培養場에도 貝藻類 위주에서 魚類 및 甲殼類 위주의 施設로 補強하기 위하여 225百만원을 投資, 2,630萬마리의 有用種묘를 生産하여 漁村契 및 養殖漁民 등에게 分讓하고 沿岸에 放流할 計劃이다. 이 가운데 巨濟水産種苗培養場에서는 넙치수정란 300萬마리, 보리새우 450萬마리 등 1,075萬마리의 種묘를 生産할 計劃으로 있어 가장 큰 規模를 나타내고 있다.

또한 대구 資源의 增強을 위하여 水協 主管하에 慶尙南道와 國立水産振興院의 協助로 대구의 主産卵場으로 밝혀진 慶南 鎮海灣의 利水島 沿岸에 人工受精卵 20億알을 放流할 計劃이며 연어 稚魚는 '88년에 비해 23% 增加한 903萬마리를 東海岸 9個河川에 放流할 뿐만 아니라 연어의 回歸率을 높이기 위하여 遡上河川의 整備와 孵化用水의 改善, 稚魚飼育技術 등을 계속 開發할 계획이다.

表 113 種苗生産計劃

單位：千마리

培養場別 魚種別	計	北濟州	注文津	麗川	迎日	巨濟	完島	保寧	扶安	南濟州
計	26,300	1,750	2,400	3,150	410	10,750	5,310	2,150	280	100
전복	2,200	600	400	350	300	150	200	100	100	
참돔	280	100		50			30		50	50
돌돔	70	50					20			
돔수정란	1,000	1,000								
우렁챙이	10,000		2,000			3,000	5,000			
넙치	260			50	10	100	50			50
넙치수정란	5,000			2,000		3,000				
감성돔	100			100						
꽃게	600			600						
보라성게	100				100					
보리새우	4,500					4,500				
대하	2,100							2,000	100	
조피볼락	90						10	50	30	

資料：國立水產振興院

## 第 2 節 養殖漁場 開發

### 1. 養殖漁業 開發 및 調整

養殖漁業의 開發을 위하여 外延漁場 擴大는 물론 新技術 開發, 普及을 持續的으로 推進하여 나가는 한편 각종 災害의 豫防과 一部 品種에 대한 生産을 調節하여 養殖水産物의 安定的 生産을 증진추진할 계획이

다. 따라서 김, 미역, 굴, 피조개, 바지락 등과 같이 技術이 普遍化된 品種에 대하여는 地先漁民이 共同參與하는 漁村契 所得源으로 開發하여 沿岸 多數漁民의 所得을 增大하고 진주조개, 魚類養殖 등과 같이 축적된 技術과 많은 資本을 必要로 하는 品種은 開發能力을 갖춘 漁民에게 支援하여 均衡發展을 圖謀하여 나갈 것이다. 그러나 김, 미역, 굴, 피조개와 같이 生産過剩우려가 있는 品種에 대하여는 全國 單位로 漁場開發 및 生産을 調節하여 養殖漁民의 被害를 防止함은 물론 經營의 安定을 기할 計劃이다. 또한 沿岸漁場 基本調査 結果를 토대로 하여 地域別, 品種別 適地適種開發을 推進하고 高所得 新品種 開發을 擴大하여 養殖品種을 多樣化하여 나갈 계획이다.

## 2. 生産基盤施設擴充

養殖水産物의 生産施設을 擴張 誘導하여 高蛋白魚種의 增産體制를 確立하기 위하여 꼬막, 새꼬막, 전복, 우렁쉥이 및 眞珠養殖漁場 391ha를 開發하고 海況異常에 의한 김갯병 發生 및 災害發生時에 代替網 6,000 柵을 供給하여 김의 안정생산을 도모할 계획이다.

또한 김冷凍網貯藏庫 2個所, 魚類養殖場 41個所, 전복 및 魚類種苗培養場 4個所, 魚類養殖用飼料貯藏庫 3個所를 施設할 것이다.

## 3. 養殖漁場 管理指導

養殖漁場의 효율적인 管理와 不實管理漁場의 防止를 위하여 養殖漁業權을 品種別, 養殖時期別로 구분 每年 정기적으로 精密實態調査를 실시하여 不實管理 어업권은 關係法規에 의거 강력措置하여 漁業秩序를 確

立하여 나가고 있다. 특히 養殖漁業 免許前에 어장정비狀況을 확인하여 整備가 완료된 漁場에 限하여 먼저토록 하고 主要養殖品種에 對하여는 潮流소동, 漁場의 시설기준 등을 감안 市·道別로 生産計劃量을 부과하여 適正施設에 의한 安定生産을 유도하고 김, 미역 施設時期인 9~11月 中에는 關係機關 합동으로 適正施設指導 확인 및 不法施設에 대하여 重點團束할 계획이다. 또한 漁場정소 및 경운 등 漁場淨化事業의 지속적 인 推進과 施設基準에 의한 適正施設, 가뭄, 颱風, 해일 등 자연재해에 대비한 施設의 安全管理 지도로 安定生産에 의한 漁民所得増大를 도모 하여 나갈 것이다.

### 第 3 節 內水面漁業開發

#### 1. 內水面 資源造成

大單位水面 등 遊休 內水面에 대한 水産資源을 造成하기 위하여 509 百萬원을 投入, 잉어, 떡붕어, 향어, 송어 등의 稚魚(體長 5~7cm) 29백 만마리를 昭陽湖, 衣岩湖, 忠州湖 및 陝川湖에 放養할 計劃이다.

魚種別로 보면 一般魚種인 잉어, 떡붕어는 20百萬마리를, 開發魚種인 송어 4百萬마리, 향어 4百萬마리, 백연어 1百萬마리를 放養할 計劃이며 水面別로는 昭陽湖에 冷水性 魚種인 송어 4百萬마리, 衣岩湖에 잉어, 떡붕어, 향어 5百萬마리, 忠州湖에 잉어, 떡붕어, 향어, 백연어 570萬마리, 그리고 陝川湖에는 잉어, 떡붕어, 향어 14百萬마리를 放養하여 內水面 資源造成을 積極 推進할 計劃이다.

<表 114>

稚魚放養計劃

單位：百萬마리, 百萬원

	'71~'88		'89	
	數 量	金 額	數 量	金 額
計	666	6,884	29	509
一 般 魚 種	604	5,666	20	300
· 잉어, 떡붕어				
開 發 魚 種	62	1,218	9	209
· 송 어	23	647	4	122
· 향어, 백연어	39	571	5	87

資料：水産廳 資源造成課

2. 內水面 潛在力 調査

'70年 內水面 潛在力 調査以後 內水面 漁場의 시설과 댐, 湖 등 大單位 水面의 造成 등으로 우리나라 內水面의 與件은 많은 變化를 가져왔다. 따라서 既存 生態系 및 內水面 利用 등 諸變化에 따른 科學的인 기초자료를 蒐集하여 효율적이고 計劃的인 利用方案을 수립, 開發을 推進코자 내수면 潛在力 調査를 實施할 계획이다. 이 調査는 國立水産振興院 主管으로 2年('89~'90)間에 걸쳐 실시하고 調査範圍는 댐, 湖, 貯水池, 江, 河川 등 全內水面을 對象으로 內水面의 기초환경, 棲息生物狀態, 水面의 이용실태, 生産狀況, 생산 潛在力, 水質汚染與否, 其他 관련 與件 등을 綜合的으로 調査할 計劃이다.

3. 內水面漁業技術開發 및 소비촉진

내수면 試驗研究 기능을 活性化하기 위하여 國立水産振興院 傘下 3個

內水面 研究所와 江原, 忠北, 忠南, 全北, 全南, 慶北, 慶南道 內水面開發試驗場에서 地域特性에 알맞는 養魚 技術을 開發 普及하고 있다. 또한 全國의 均衡있는 內水面 개발을 위하여 7億원을 투입 移越 推進한 京畿道 內水面 開發 試驗場的 竣工으로 8個道가 試驗場을 保有하게 되었으며 忠北은 前年에 이어 새로운 施設 및 裝備 등을 補強하므로써 現代式 施設을 갖추고 있으며 全北道는 7億원을 들여 與件이 좋은 完州郡으로 移轉 施設中에 있다. 그리고 限定된 內水面의 生産性 提高와 經濟性 魚種에 對한 養魚技術 開發을 爲하여 高密度 순환 濾過式 養魚技術 開發과 은연어, 슈피송어 등의 定着化를 위한 種苗生産 및 養魚技術을 開發中에 있다.

한편, 淡水魚는 水產物 食糧化 및 漁民 所得 增大를 위한 量產 體制를 確立하였고 國民 所得의 增加로 기호도가 높은 活魚狀態의 需要가 漸増됨에 따라 消費가 擴大되고 있으며, 한국내수면어업협회의 淡水魚 直賣場 設置 運營, 料理法 開發, 講習會 및 展示會 등 弘報活動을 實施, 持續的으로 淡水魚 消費 促進을 기하고 있다.

#### 4. 內水面 資源 保護 및 낚시터開發

內水面 資源 保護를 위하여 봄철 産卵期, 가을철 盛漁期 및 연어 등 遡河性魚類의 遡上時期를 特別團束期間으로 설정하여 行政機關과 有關團體 및 內水面資源保護名譽監視官으로 하여금 重點 指導·啓蒙 및 團束을 하는 한편, 水面別, 河川別로 단속 공무원을 指定, 責任 團束制를 실시하여 內水面 資源保護에 효율성을 提高할 계획이다. 또한 국민생활 수준의 向上으로 遊漁 人口가 날로 증가함에 따라 遊漁人의 자발적인 資源保護意識제고와 遵法精神을 함양하기 위하여 新聞, 傳單, 專門誌 등



을 이용 연중 홍보하고, 社團法人 全國낙시회聯合會에서 會員들이 건전 낙시風土造成 現地 캠페인을 실시하여 遊漁秩序를 確立토록 할 것이며, 全國 內水面 潛在力調査시 낙시터開發與件을 調査하여 보다 靑각하고 다양한 낙시 與件提供을 위한 資料로 活用할 계획이다.

## 第 4 節 漁場保全 管理

### 1. 淸淨海域 및 保全水域 管理

'72.11.24. 체결된 韓美貝類衛生協定과 輸出用 貝類의 생산관리 및 加工品 檢査에 關한 規則과 關連하여 指定된 淸淨海域(輸出用 貝類의 生産海域)은 現在 巨濟-閑山灣, 紫蘭-蛇梁海域, 山陽海域, 駕莫灣海域 등 4個所에 21千ha가 指定되어 있으며, 國土利用管理法에 의거 水產動植物의 産卵, 棲息環境을 保護하고 水產資源을 育成하기 위하여 指定된 水產資源保全地域은 現在 全國에 29個所가 있으며 이중 海面에는 淺水灣, 靈光, 莞島, 得能灣, 汝自灣, 駕莫灣, 南海·統營 1·2, 閑山灣, 鎮東灣 등 10個所에 413千ha가 指定되어 있다. 이들 海域은 水產資源의 安定的 보호육성을 위하여 매우 重要한 海域으로서 淸淨海域에 대하여는 136個 調査地點을 選定, 海水 및 貝類에 대한 細菌含量 등 衛生調査를 실시하는 한편 水產資源保全地域에 대하여는 153個 調査地點을 選定, 一般水質汚染度 및 重金屬汚染度 調査를 실시하여 水質保全管理를 위한 기초자료로 活用할 計劃이다. 또한 이들 海域 및 그 周邊에 대하여는

家畜放牧, 工場設置 등을 禁止토록 하고, 公有水面 埋立, 干拓, 浚渫 行爲를 강력히 抑制하는 한편 海洋汚染의 根本原因이 되고 있는 工團廢水 및 生活下水, 糞尿, 廢棄物 등 각종 汚染物質의 海洋流入 방지를 위하여 環境廳主管 관계부처 合同의 沿岸汚染防止 종합대책을 樹立, 汚染物質 淨化處理施設을 擴充하고 汚染物質의 海洋投棄 行爲를 強力히 규제· 단속해 나가는 등 關聯部處와의 긴밀한 협조하에 淸淨海域 및 水産資源保全地域의 水質保全管理에 철저를 기해 나갈 計劃이다.

表 115) 淸淨海域 指定 現況

指定番號	海 域 名	面 積	最初指定日
計	4個所	20,614ha	
第 1 號	巨濟 閔山灣	2,121	'74. 7. 5
第 2 號	紫蘭-蛇梁海域	9,492	'84. 5. 23
第 3 號	山陽 海域	4,425	'87. 12. 1
第 4 號	麗 莫 灣	4,576	'87. 12. 1

資料：水産廳 增殖課

## 2. 漁場環境 淨化

沿岸漁場의 各種 病害 및 汚染被害를 豫防하기 위하여 '86년부터 시작한 漁場環境 淨化事業은 老化된 漁場의 底質을 改善하고 海底에 放置된 各種 廢棄物을 收去하는 한편 불가사리 등 害敵生物도 除去하여 沿岸漁場의 環境改善 및 生産力 增大에 크게 기여하고 있을 뿐만 아니라 沿岸漁場保全管理에 대한 漁民認識 提高에도 크게 기여하고 있어 '86년부터 '88년까지 國費 588百萬元을 支援 沿岸漁場 35 fha를 淨化한데

이여 '89年에도 國費 327百萬원을 支援 12千ha의 全國 主要沿岸漁場에 대하여 漁場底質 改善 및 放置된 廢棄物 收去, 害敵生物 除去 등 漁場 環境淨化事業을 擴大 推進할 計劃이다.

### 3. 赤潮被害 豫防對策

주로 여름철 高水溫期에 沿岸海域에서 빈번하게 發生하는 赤潮로부터 有用 水產動植物의 被害豫防을 위하여 沿岸汚染防止 綜合對策의 일환으로서 赤潮發生防止 및 被害豫防 對策을 樹立, 仁川, 木浦, 麗水, 忠武 沿岸과 鎮海灣 一圓 등 赤潮多發 海域에 61個 調查地點을 選定 赤潮生物 분포 및 赤潮發生 환경 등을 調査하는 한편 赤潮發生이 우려되는 海域에는 赤潮를 早期에 發見 被害豫防 對策을 推進하기 위해 漁村指導員을 機動配置하고 赤潮發生 狀況 등을 수시로 파악해 나가도록 하며 水振試驗船의 기동배치, 漁民赤潮監視員指定, 關係機關 合同 航空豫察 등으로 赤潮豫察 및 監視活動을 강화해나갈 計劃이며, 또한 赤潮豫察 결과 特別對策이 필요할때는 赤潮發生 注意報 또는 警報發令을 하고 養殖施設物의 移動, 早期採取 指導 등 赤潮被害 豫防對策을 推進해 나가도록 하는 한편 京畿·仁川, 全南, 慶南 등 3個 地域에 대하여는 赤潮對策 委員會를 構成하여 關聯機關·團體間 協助體制 強化로 赤潮發生防止 및 被害豫防에 철저를 기해나갈 계획이다.

아울러 長期的인 對策의 一環으로 赤潮被害를 根本的으로 豫防할 수 있는 赤潮防除 技術開發을 위하여 國立水產振興院에서 持續的인 試驗研究事業을 推進해 나갈 계획이다.

## 第 5 節 漁業秩序確立

### 1. 不法漁業團束

毎年 不法漁業根絶對策을 樹立하여 推進하여 왔으나 不法漁業의 實態에는 큰 變化가 없는 등 漁業秩序가 確立되지 아니하고 있어 効率的인 不法漁業 根絶對策을 마련하기 위하여 '88년에 地域別 懇談會를 통한 漁民 意見을 綜合하여 內務部, 法務部 등 關係部處와 協議會를 거쳐 새로운 不法漁業根絶對策을 樹立, 관계부처와 協助 推進할 계획이다.

주요대책으로는 漁民, 水產關係 公職者에 對한 教育·弘報를 강화하고 不法漁業 防止協議會 구성 및 名譽監視官 委囑 運用 등 漁民들의 自律的인 漁業秩序 確立을 誘導할 것이다. 零細不法漁業者에 대한 轉業 措置와 不法漁業 根絶 示範地域指定, 運營 및 不法漁船에 대한 出入港 統制를 強化함은 물론 不法漁獲物에 대한 委販防止 등 不法漁業 豫防 및 再發 防止 指導를 強化하고 海上團束 方法을 개선하여 每月 10日以上 道單位 合同團束 實施와 檢察 指揮下에 警察과 合同으로 每2個月마다 全國一齊團束을 實施하되, 團束時에는 虞犯海域을 指定, 指導船을 集中配置하는 등 團束을 크게 強化할 것이며 沿岸50個市·郡에 指導·團束 專担係 新設을 推進하고, 老朽化되고 絶對數가 不足한 市·道 指導船을 追加 確保하고 團束人力도 크게 增員하는 등 指導團束機能補強을 推進할 계획이다. 또한 不法漁業者에 對한 處罰을 強化하기 위하여 改正 推進中에 있는 水產業法에 無許可漁業者에 對한 罰則을 大幅 強化

할 計劃이다.

아울러, 沿近海 漁業 調整 및 資源管理方案의 再檢討 등 不法漁業과 直接 또는 間接으로 影響을 미치는 各種 法令 및 制度를 改善해 나갈 計劃이다.

## 2. 安全操業指導

海上에서의 安全操業指導를 위하여 東海大和堆 오징어 盛漁期(6.16~12.31), 黃海·東中國海 영어盛漁期(3.1~7.31), 西海 홍어盛漁期(10.1~다음해 4.30)에는 500톤급 以上 大型指導船을 配置하여 漁撈保護 및 操業紛爭 豫防指導를 期할 것이며 特히 遠海漁場에는 1,300톤급의 福祉母船을 出動시켜 操業漁船에 油類, 얼음, 機關 부속품 등의 船用品을 供給하고 응급환자에 대한 治療를 담당할 의사를 승선시킬 계획이다.

또한 主要 港口 38個所(出入港統制所15個所, 合同申告所23個所)에 水協의 安全點檢要員 94名을 配置하여 出入港 漁船에 대한 安全點檢을 實施하고, 東·西海漁撈保護本部에 乘船指導員 各10名씩을 配置하여 操業現場에서의 安全操業指導 業務를 遂行하도록 할 것이다.

地區別水協 및 業種別水協主管下에 沿近海漁船의 船主 및 船長, 機關長, 通信長 등 95千名에게 年1회 안전조업교육을 실시하는 한편 漁船의 安全操業을 圖謀하고 操業의 不便을 덜어주기 위하여 船舶安全操業規則(4部合同部令) 및 沿近海漁船의 安全操業規制事項 告示를 개정하여 '89. 4.13부터 시행하고 있다. 그 主要內容을 보면 東海漁撈界限線을 北緯38度30分에서 38度33分으로 3마일 北上 調整하고, 大和堆漁場 出入航路도 鬱陵島와 344海區를 經유하여 航海하도록 短縮調整하였으며 서해의 白翎島, 大靑島, 小靑島, 延坪島, 江華島 周邊漁場과 만도리漁場도 大幅擴

張하였다. 西海操業自制線을 中國의 資源保護水域外廓線까지 5~20마일 擴張하고 船團操業免除 海域을 海岸線으로부터 12마일로 擴大하고, 船團操業離脫 承認을 받고 歸港한 漁船의 再出漁時에도 單獨出港을 許容하여 漁民의 不便을 크게 해소하도록 하였다.

또한 沿近海 出漁船의 安全操業, 指導機能 補強을 위하여 금년에 500 噸級 1隻을 建造 하였다.

### 3. 漁業無線局 運營

水協 漁業無線局은 출어중인 漁船의 安全操業지도업무와 漁業活動支援 및 間諜船, 疑訝船舶 발견보고 등 海上安保機能의 일부를 支援하고 있다.

'89년의 重点 運營方針으로는 越線, 被拉 및 海難事故 豫防指導활동을 強化하기 위하여 接敵海域에서 操業하는 漁船과 遭難漁船의 位置를 철저히 確認하여 軍·警有關機關과 긴밀한 協助體制를 유지하므로서 事故發生을 未然에 방지하는 한편, 遠海 操業船舶의 通信 소통난 解消를 위하여 東中國海와 大和堆 漁場 등 遠距離에 出漁하는 漁船은 電波通達 距離가 良好한 短波帶 無電機(4~8MHZ) 設置를 적극 권장 通信圈 확장에 力點을 두고 推進中이다.

白翎島, 鬱陵島 등 낙도, 벽지에 所在한 21個 無線局의 技術職員을 活用 1500余隻의 漁船無線局 檢查를 實施할 計劃이며, 36個 無線局을 通하여 漁船通信電子裝備 5千余台를 無料點檢 및 簡易修理로 漁民便宜 도모와 奉仕 活動을 實施할 것이다.

漁業無線局 시설補強을 위하여 國庫補助 715百萬원을 投入, 三千浦漁業無線局의 送受信所를 分離시설하고, 江華無線測位局의 방향탐지기를

最新型 장비로 교체함과 아울러 無線測位 體制도 改善, 測位의 정확성과 能率을 제고할 것이며 그밖에 老朽通信裝備 11台를 交替하고 데이터 通信裝備를 年次的으로 設置, 陸上 固定通信網의 電算化를 推進할 계획이다.

## 第 6 節 漁業外所得源의 開發擴充

### 1. 沿岸 農工團地의 誘致

漁家所得을 持統的으로 增大시키기 위해서는 漁村所得源의 擴充과 함께 漁業外所得의 增大가 필요하다. 이를 위해 漁村工業開發을 통한 漁業外所得 增大政策으로 農工地區事業이 본격적으로 추진되고 있는 것이다. 이 事業은 '83년에 制定된 農漁村所得源開發促進法을 근거로 農漁村地域에 小規模 工團을 造成해서 就業機會를 擴大하여 農漁家의 安定된 所得增大를 기하려는 데 목적이 있다.

'84년부터 '88年末까지 진척된 農工地區 造成狀況을 보면, 總122個 地區가 農工地區로 指定되었으며 그중 沿岸地域에 32個地區가 指定되어 268 業體가 入住稼動할 豫定이다.

政府에서는 '89년에도 各地域을 均衡的으로 開發해 나간다는 方針 아래 45個 農工地區를 追加指定하여 開發하여 나갈 것이다.

이와 관련하여 水産廳에서는 沿岸地域에 農工地區를 적극유치하여 漁村의 遊休 勞動力의 고용기회 創出로 漁業外所得을 增大시키는 한편 農

工地區審議時 開發에 따른 水質環境汚染의 事前 豫防에도 철지를 기하  
도록 最善을 다할 것이다.

## 2. 漁村副業施設擴大

賦存資源을 利用한 副業事業의 推進과 漁獲物處理, 出漁準備作業, 漁  
具資材의 保管 등 多目的으로 活用되는 共同作業場施設 建立을 위해  
125百萬圓의 事業費를 投資하여 漁村契 共同의 作業場 5個所를 施設토  
록 하여 漁民의 漁業經營에 따른 便宜提供과 漁家所得 增大를 積極 추  
진할 계획이다.

## 3. 漁村 觀光資源開發

國民所得 增加에 따른 레저수요를 漁家所得으로 連結시키고 漁村勞動  
力의 季節性을 克服하기 위하여 海洋레저센터 모델을 開發하여 普及·  
擴大할 계획이며 휴게소, 活魚場, 觀光遊覽船 施設 支援 등 漁村觀光開發  
事業의 長期計劃을 樹立하여 '90년부터 推進할 계획이다.

## 4. 地域特化 水產物開發

靈光굴비, 忠武멸치, 鬱陵島오징어 등 地域特化 水產物을 指定하여 特  
化開發品目에 대한 資金支援을 擴大하고 組合販賣센터 設置 및 販賣弘  
報도 強化하여 나갈 計劃이다.



## 第 3 章 沿近海漁業의 構造調整

### 第 1 節 漁業 構造調整

#### 1. 推進方向

漁業 構造調整은 沿近海漁業 資源의 限界性에 의한 單位生産性의 저하와 어업인구의 감소 등 어업여건의 變化와 民主化, 地方化, 國際化 등 경제사회 발전에 부응한 수산발전단계에 맞는 基本秩序를 재정립하여 국민 食糧資源인 수산물을 安定的으로 공급함은 물론, 어업을 경쟁력있고 능률적인 산업으로 발전시키고자 하는 것으로서 그 추진방향은 資源造成의 확대, 기르는 어업의 육성, 漁船裝備의 現代化 및 漁業專門人力開發 등 수산시책으로 기 추진중인 사항은 계속 추진하고 1단계로 沿近海漁業 構造調整을 통한 資源水準에 적합한 어선세력의 適正化로 어업의 經濟性 및 競爭力強化에 주력하여 추진하되 단계적으로 경영규모 및 어장이용의 적정화를 통한 漁業生産構造의 高度化, 어업의 기계화 및 자동화 등 省力化에 따른 노동 생산력 향상, 어업 團地造成 등을 기본 방향으로 하여 推進할 계획이다.

## 2. 沿近海漁業 構造調整

沿近海漁業은 漁船勢力的 增大에도 불구하고 '80年以來 漁業生産이 150萬톤 水準에서 停滯되고 있을 뿐만 아니라 單位 生産性도 低下되는 등 資源의 限界性을 보이고 있다. 따라서 全體漁船勢力을 資源에 적합한 水準으로 整備하여 單位漁船의 經濟性 및 競爭力을 높이는 한편 資源의 合理的 利用管理를 위한 制度의 정비에 중점을 두고 推進할 計劃이다.

이를 위해 어선새력이 過多한 漁業과 資源에 미치는 영향이 큰 어업, 경쟁력이 저하된 不實漁業을 대상으로 하여 連차적으로 漁船 勢力을 減縮하여 나갈 계획이다. 이와 더불어 大型漁船을 중심으로 원거리 조업에 필요한 冷凍施設 등 設備과 船舶構造 改善을 통한 外延漁場 利用 및 海外漁場 進出을 적극지원하여 利用漁場을 擴大하고자 하며 이의 추진을 위하여 '89년말까지 漁業構造 調整法 制定 및 水產資源 保護令 改正 등 關聯制度를 整備하고 漁船減縮에 필요한 자금도 連차적으로 확보해 나갈 계획으로 있다.

## 3. 漁業資源公社設立推進

最近 國民食糧資源으로서의 水產物의 需要는 增加하고 있는 반면, 沿岸漁場은 埋立, 干拓에 의한 環境變化 및 水質汚染 增大 등으로 漸次 縮小되고 있으며 沿近海水產資源 및 漁場의 生産性은 날로 減少趨勢에 있어 沿岸水域에 對한 水產資源의 劃期的인 造成이 절실히 要請되고 있다. 이에 따라 沿岸水域의 水產資源을 效率的으로 造成·管理할 專擔機

構인 漁業資源公社의 設立을 積極 推進할 計劃이다. 同公社에서는 人工 魚礁施設, 種苗生産 등 增養殖事業과 漁場環境의 淨化·保全 및 保護를 推進토록 할 方針이다. 따라서 現在 多元化되어 있는 水產資源造成事業 執行機構를 漁業資源公社에 統合, 綜合性과 一貫性을 維持하여 事業의 能率性과 專門性을 提高함과 同時에 水產資源利用者, 漁場毀損者, 政府 出捐으로 1,000億의 基金을 造成, 運用토록 하여 水產資源造成事業을 더욱 擴大 實施하여 나갈 計劃이다.

## 第 2 節 漁業制度의 整備補完

### 1. 水產業法 改正

우리나라 水產業은 그동안 對內外的인 어려운 與件속에도 꾸준히 발전하여 어업생산에 있어 世界 8位의 눈부신 발전을 이룩하였다.

그러나 近年에 들어 遠洋漁業의 與件不利와 產業化進展에 따른 埋立 干拓, 환경오염 등으로 沿岸漁場의 縮小 등 漁場環境이 變化되고 있는 한편, 漁船勢力 增大로 인한 資源의 減少, 市場開放化 등 與件變化에 能動的으로 對處하기 위한 새로운 水產業制度의 發展이 要求되고 있다.

이에 따라 政府에서는 '84년부터 水產業法 改正資料를 위한 기초자료를 蒐集하여 '86년에 漁民團體, 學界, 元老水產人 등 各界人士 및 專門家의 참여하에 改正資料에 대한 用役調査를 실시하고 '88년에는 同 調査 結果를 기초로한 改正試案에 대하여 8個 市·道 및 中央公聽會를 개최하

어 各界各層의 의견을 수렴한 바 있다.

'89년 3월에는 그간의 검토결과 및 收斂된 意見を 종합한 改正案에 대하여, 관계부처와 협의하는 등 年內 改正을 목표로 作業을 推進中에 있다.

금번의 水產業法 改正에 있어 그 基本方向은

첫째, 現行 水產業法이 '53년에 制定된 以來 12次에 걸쳐 부분적으로 개정 시행되고 있는 바 그간 어업여건의 변화에 따라 施行過程에서 나타난 不合理한 要素를 現實에 맞게 改善하고

둘째, 漁業間의 調整, 資源管理 및 漁場利用制度의 개선으로 漁業部門間, 漁民階層間의 균형발전과 합리적인 자원이용을 圖謀하는 한편

세째, 民主化, 地方化 등 사회발전 추세에 맞추어 水產制度 및 施策運營에 있어 어민의 參與를 擴大하는 등 水產調整委員會 기능을 획기적으로 강화 育成하고

네째, 國際化, 産業化 등 경제사회발전이 부응하여 어업의 피해 補償制度를 보완 발전시키는 등 어업의 興件變化와 수산발전 段階에 맞는 漁業制度를 확립하여 건전하고 균형적인 漁業發展과 수산물의 經濟的, 安定的供給基盤을 構築하기 위한 기틀마련에 力點을 두고 있다.

## 2. 水產資源保護令 등 關聯法令 改正

母法인 水產業法이 全面改正됨에 따라 관련 下位法令도 당연히 개정된 수산업법을 토대로 정비가 뒤따라야 할 것이다.

우선 개정되어야 할 관련 하위법령을 구분하여 보면

첫째, 大統領令으로 되어 있는 水產業法 施行令, 水產資源保護令, 漁業

登錄令이 있으며,

둘째, 部令으로서는 漁業免許 및 어장관리에 관한 규칙, 어업허가에 관한 규칙, 水産動植物 保護水面 管理規則, 行政處分の 基準과 節次에 관한 規則 등이 整備對象의 法令으로 들 수 있다.

현행 水産資源保護令上 漁業規制는 網目 制限을 포함한 漁具漁法制限, 漁期 및 漁場制限, 採捕物禁止體長制限, 漁獲努力量制限 등을 그 주요내용으로 하고 있으나 이제는 漁場環境의 變化 등 현실여건을 감안한 水産資源의 保護管理, 漁業紛爭調整, 不法漁業의 척결 등에 주안점을 두고 연근해 어민의 漁業經營 및 福祉向上에 도움을 줄 수 있는 어업제도 확립을 위하여 水産業法 改正과 병행하여 一括 整備할 계획으로 있다.

### 3. 漁業許可에 관한 規則 改正

어업허가의 신청절차와 操業區域 및 操業方法을 改善함으로써 어민의 편의를 도모하고 操業의 安全度를 높여 어민을 보호하기 위하여 '89. 1. 30일자로 漁業許可에 관한 規則을 改正, 公布後 40일이 경과한 날로부터 시행토록 하였으며 그 주요골자는 다음과 같다.

첫째, 현재에는 定數가 있는 모든 어업에 대하여 再許可 申請時에는 당초의 허가기관에 신청하고 있으나 앞으로는 시·도별로 定數가 있거나 操業區域이 定하여진 漁業外의 어업에 대해서는 어민편의를 위하여 신청인의 주소지 또는 조업근거지 어업허가 관청에 再許可를 신청토록 하였으며

둘째, 1隻의 어선에 2人以上이 따로 漁業許可를 받았거나 다른 漁船에 대한 複數의 漁業許可가 다른 어선에 분리 허가되는 일이 발생하지 않

도록 그 확인 절차를 정하였고

세계, 遠洋獨航式 참치延繩에 대하여는 조업구역 제한을 철폐하여 太平洋, 印度洋, 大西洋을 단일 操業區域으로 하고 기타 遠洋漁業에 대하여도 필요시에는 조업구역을 조정할 수 있도록 하였으며

네제, 현행 潛水器漁業의 操業方法인 頭口式 외에 改良된 마스크식을 추가하여 선택적으로 사용할 수 있도록 함으로써 潛水夫의 조업편의와 안전도를 제고하였다.

## 第 4 章 遠洋漁場の 安定的 確保

### 第 1 節 水産外交 強化

#### 1. 沿岸國과의 協力

北太平洋 公海操業과 韓美共同事業 物量 擴大를 위하여 美洲地域에 漁業交涉團을 1回, 아르헨티나, 수리남, 모잠비크, 쏘말리아 등 南美와 아프리카 沿岸國과의 漁業協力を 위하여 漁業交涉團을 各 1回 派遣할 計劃이며 兩國漁業 協力事項 協議 등을 위하여 앙골라 등 2個國 水産責任者를 招請할 計劃이다. 또한 開發途上 沿岸國과의 技術支援事業으로 수리남 등 17個國으로 부터 26名의 研修生을 招請하여 漁撈技術과 漁船機關에 대하여 訓練시키고 버마 등에 우리나라 水産專門家를 派遣하여 水産技術을 指導할 豫定이다.

漁業協力 增進을 위하여 兩國間會議를 14回 開催하고 國際捕鯨委員會 등 9個 國際水産機構會議에도 參席할 計劃이다.

## 2. 漁獲쿼타 確保

### 가. 美國

우리나라는 美國의 200海里 排他的 經濟水域(Exclusive Economic Zone)과 北太平洋 公海에서 41隻의 大型트롤 漁船이 操業하여 遠洋漁業 總生産量の 約 46.4%를 生産하고 있다. 美國水域에서의 操業은 '77年 美國의 200海里 經濟水域 宣布後 韓·美漁業協定이 체결되어 쿼타操業으로 전환한 以來 '84년까지 漁獲쿼타는 每年 增加되어 왔으나 그 以後 美國의 水産資源 自國化 政策에 따라 '87년에는 我國 主操業 海域인 北太平洋水産委員會 管轄水域(베링해, 알류우선, 알라스카灣)의 境遇, 外國에 대한 쿼타割當總量(TALFF)을 133千톤으로 減縮하였고, '88年 以後에는 外國에 對한 直接쿼타割當을 중식시켰다.

한편 美國이 操業國 및 美國內의 業界間 契約에 의거 올림픽방식(Olympic System)으로 共同事業을 수행하고 있으나 '90년부터는 共同事業도 중식될 것으로 展望된다.

따라서 北洋漁業은 直接쿼타 中식 및 共同漁業事業 減少趨勢에 對應하여 公海操業 및 韓·蘇共同事業을 活性化시켜 나가고 있으며 '89年度에는 總569千톤을 生産할 計劃이다.

특히 共同事業을 수행함에 있어서 중견에는 同 事業에 의한 生産物量을 內國物品으로 간주하여 搬入되던 것이 '87. 5.1부터는 關稅를 부과토록 되었으나 同 事業漁獲物이 國民經濟에 미치는 影響을 감안하여 '89. 1.1부터는 關稅를 免除하고 방위세만 適用하고 있다.

以外에도 國內 名태 供給의 源泉인 北洋漁場의 持續的 確保를 爲하여



美國, 蘇聯 등과의 實質的인 合作投資事業의 擴大와 베링公海 漁場의 固守를 爲하여 關係國과의 資源調査 協力 등 協力關係를 繼續 維持해 나갈 計劃이다.

<表 116> 직접쿼타 및 共同漁業 實績

單位: 톤

	直 接 쿼 타				共 同 漁 業	
	쿼타量	消費量	消費率(%)	隻 數	實 績	隻 數
'83	324,690	272,568	83.9	28	57,323	15
'84	329,757	268,432	81.4	27	98,166	22
'85	250,219	221,294	88.4	27	176,767	28
'86	116,169	98,596	84.9	28	375,570	30
'87	32,400	3,182	9.8	27	447,840	31
'88	-	-	-	-	359,449	31

資料: 水産廳 遠洋生産擔當室

#### 나. 뉴질랜드

'77. 3. 美·蘇의 200海里 經濟水域 宣布로 일부 트롤漁船이 뉴질랜드 近海로 移動 操業하였으나, '77年 뉴질랜드도 200海里 經濟水域을 宣布 함에 따라 '78. 3. 韓·뉴 漁業協定을 체결하고 쿼타操業을 시작하였다.

그러나 最近 뉴질랜드 政府는 自國 漁民保護 및 漁業資源管理 側面을 고려하여 自國民에 대한 쿼타는 擴大하고 對外國 쿼타割當을 점차 줄여 나가는 同時에 쿼타配定도 漁獲 不良水域으로 集中 配定하여 쿼타소진 實적이 不振하였다.

<表 117> 年度別 뉴질랜드 쿼타 消費 實績

單位: 톤

	業 種 別	쿼타量	消費量	消費率(%)	出漁隻數
'83/'84漁期	트 물	20,985	12,930	62	6
	오징어채낚기	6척	1,985	-	6
'84/'85漁期	트 물	20,540	14,886	72	6
	오징어채낚기	6척	1,066	-	6
'85/'86漁期	트 물	8,390	6,103	73	5
	오징어채낚기	1,500	1,092	73	6
'86/'87漁期	트 물	8,662	4,060	47	4
	오징어채낚기	1,500	1,408	94	6
'87/'88漁期	트 물	5,781	3,053	53	4
	오징어채낚기	1,325	1,324	100	3
'88/'89漁期	트 물	2,916	1,802	62	2
	오징어채낚기	807	807	100	3

資料: 水産廳 遠洋生産擔當室

註: 1) '81/'82, '82/'83 漁期쿼타 消費實績은 '87年度 年次報告書 참조.

2) '88/'89漁期 消費量 및 消費率은 '89. 7. 31 實績임.

'88/'89漁期('88. 10.1~'89. 9.30)에는 관리어종의 擴大와 채낚기쿼타 감축으로 總 3,723톤중 2,916톤의 트물쿼타와 807톤의 오징어채낚기 쿼타를 할당받아 5隻의 漁船이 操業하고 있으며, '89/'90漁期('89.10.1~'90. 9.30)에는 漁場性이 좋은 水域의 쿼타를 增量 要請할 計劃이다. 앞으로 同國의 水産政策 方向에 능동적으로 對處할 수 있도록 兩國間의 漁業協力 強化와 合作投資事業도 積極 推進해 나갈 計劃이다.

#### 다. 濠洲

'83. 11 韓·濠漁業協定 締結以後 '83/'84漁期에 최초로 漁船 1隻이 出漁하였고 '84/'85漁期에는 8隻이 出漁하여 2,300톤의 漁獲實績을 올렸으나 '85/'86漁期부터는 出漁船들이 南西大西洋 오징어 漁場으로 進出함에 따라 出漁隻數가 감소되어 '87/'88漁期에는 3隻이 319톤을 漁獲하였다. '88/'89漁期에는 操業實績이 없으나 漁場確保 側面에서 韓·濠漁業協定の 원활한 推進과 入漁交涉을 繼續할 計劃이다.

### 第 2 節 新漁場開發 推進

#### 1. 新漁場開發

海外漁場の 안정적 確保을 위해 漁業協力에 의한 新漁場개발과 公海 漁場 및 新漁法에 의한 漁場개발을 積極 추진할 計劃이다.

'89년에는 漁業協力에 의한 漁場開發을 위해 모잠비크 漁場과 버마 漁場에 9個社 15隻을 出漁시킬 計劃이며 公海 및 新漁法에 의한 漁場開發도 '88년에 이어 北大西洋어장에 7隻, 北太平洋 미드웨이 公海어장에 듬저자망 1隻, 太平洋公海 高緯度 어장에 참치流刺網 2隻 등 總3個水域 漁場에 10隻을 繼續的으로 出漁시킬 計劃이다.

또한 '85年 以後 輸出産業으로 각광받고 있는 먹장어 魚皮製品 生産을 위하여 뉴질랜드 水域과 臺灣東部近海 公海漁場에 먹장어 통발漁船

3隻을 出漁시키 試驗操業中에 있으며 試驗結果에 따라 擴大 進出을 결정할 計劃이다.

특히 政府의 北方漁業進出施策의 一環으로 推進하고 있는 特殊地域 어장의 積極的인 개발과 北太平洋수역 大型操業船의 代替漁場 확보 및 우리나라 水產物 需要의 새로운 供給源 確保를 위해 蘇聯 水域에 4個社 6隻을 투입하여 操業하고 있으며 앞으로 共同事業 및 合作事業을 통하여 繼續 擴大 進出し킬 計劃이다.

또한 中國 및 베트남水域에 5個社 16隻의 漁船을 出漁시키고 있으며 베트남水域에는 우리 沿近海漁船인 안강망漁船 4隻을 出漁시킬 計劃이다.

## 2. 合作事業 推進

海外漁業투자者는 水產資源을 풍부하게 保有한 沿岸國들이 200海里 경제수역 宣布 등 資源自國化 정책을 強化함에 따라 外國漁船의 直接入漁를 規制하고 다만 合作(單獨投資包含) 入漁만이 許容되고 있는 沿岸國家에 對하여 부득히 漁場確保를 위한 合作入漁 형태의 漁業進出이 불가피한 實情이므로 政府에서도 合作事業을 통한 沿岸國과의 어업협력強化 및 어장確保를 위한 打開策으로 推進할 計劃이다. 특히 광활한 漁場을 保有하고 있는 모리타니아, 호주에 新規進出을 적극推進하고 水產資源이 풍부한 美國, 인도네시아에 追加로 合作進出을 推進하되 특히 美國의 경우 水產資源의 自國化 정책을 더욱 強化하여 我國에 對한 直接쿼타 操業이 終了되고 共同事業도 '90年度 부터 終了가 豫想되는 등 我國漁船의 入漁가 사실상 不可한 實情이므로 漁撈合作事業을 통한 繼續的인 漁業協力關係의 유지 強化와 長期的으로는 美國沿岸漁場確保 側面에서

漁撈合作事業을 擴大해 나갈 計劃이다.

合作事業으로 漁獲한 어획물은 現地 販賣와 第3國 輸出을 原則으로 하고 現地 또는 第3國 輸出이 어려운 魚種에 限하여 我國業體의 投資比率 範圍內에서 一部 國內 搬入을 허용할 計劃이다.

### 3. 南水洋漁場 進出

南水洋에는 미래의 食糧資源인 Krill이 5~10億톤 潛在하는 것으로 推定하고 漁獲可能量을 5~7千萬톤으로 評價하고 있다. 이에 따라 이 資源의 確保와 南水洋·南極大陸에 대한 分割 및 領土權 主張에 對稱하여 우리나라는 '78년부터 '88년까지 8次에 걸쳐 試驗調查船을 파견하여 漁獲實績을 蓄積하고 海洋環境을 調査하였다. 그 結果 南水洋에 대한 科學的인 조사로 南水洋海況과 漁場性이 把握되었고 漁具漁法 및 조업 기술이 開發되어 진출기반을 確保하였으며, 國際水產機構 및 研究機關에 조사실적을 提出하는 등 研究開發에 다각도로 努力한 結果 '85. 4. 28 南極海洋生物資源保存協力團으로 加入하고 '85. 11. 19에는 南極海洋生物資源保存委員會에 加入하였으며, '86. 11. 28에는 南極條約에 加入하여 國際的으로 南水洋 進出國으로 公認받아 南極水產資源에 대한 既得權을 確保하게 되었다. 이와 같은 南水洋에 대한 研究開發實績을 土產으로 '88年 부터는 政府 補助事業에서 出漁에 所要되는 資金의 一部를 支援하는 融資事業으로 轉換하였으며, '89年에도 2,000屯級 트롤漁船 2隻을 '89年 11月부터 '90年 3月까지 스코시아海域에 出漁시킬 계획으로 있으며, 앞으로 民間主導事業으로 企業化를 유도하여 Krill 資源의 利用에 있어서 선진국으로서의 위치를 확고히 할 계획이다.

### 第 3 節 遠洋漁業 育成指導

#### 1. 經營改善

遠洋漁業의 생산에 直接的인 영향을 미치는 沿岸國의 어업자원 自國化 政策 및 國際水產機構의 자원관리 擴大 등 국제어업여건변화에 對處하기 위하여 既存 漁場의 안정적 確保와 新漁場 및 新漁法 개발 등 遠洋漁業의 安定的 成長을 積極的으로 推進할 計劃이다. 이를 위하여, 적정 漁船勢力的 유지 및 老朽漁船 代替 등 漁船의 원활한 供給과 漁船員의 처우 및 作業環境의 개선으로 生産性을 극대화하고 加工品의 개발 확대와 品質의 高級化로 附加價値를 높이고 內需基盤을 확대 시킬 것이다.

또한, 內實있는 企業經營으로 財務構造를 改善하여 經濟與件 變化에 適應力을 確保하도록 指導하는 한편 遠洋出漁資金 560億원을 支援할 것이다.

#### 2. 勞使協調와 安全操業

遠洋漁船員과의 勞使協調를 위하여 下級船員들의 月 최저固定給을 260千원에서 280千원 以上으로 引上하고 歩合金(生産手當) 상향 調整과 상여금의 지급 擴大는 물론 船員子女學費補助 지원 擴大, 貸金の 適期 지급, 歩合金の 精算 등을 철저히 하도록 指導할 계획이다. 또한 船內居住

및 衛生施設의 改善, 慰樂 및 休息施設의 확대와 船員給食의 質的 向上으로 船員處遇 및 勤勞環境을 改善함으로써 厚生福祉를 增進해 나가도록 할 것이다.

그리고 船員과의 對話機會를 擴大, 船員의 隘路와 苦衷을 해결해 주고 船員家族을 위로, 激勵토록 할 것이다. 아울러 勞使協議會 運營을 活性化하여 船員들의 災害補償에 철저를 기함으로써 勞使間 協調 및 유대를 強化해 나갈 것이다.

遠洋漁船의 安全操業을 위해서는 船員教育의 內實化를 기하고 船舶修理檢査 및 安全點檢의 철저와 船舶 自體安全에 留意토록 할 것이며 事故收拾의 신속 處理, 事故業體에 대한 行政處分 및 出漁資金 支援排除 등 制裁를 強化해 나갈 계획이다.

## 第 5 章 漁業基盤施設の 擴充

### 第 1 節 漁港建設 促進

#### 1. 漁港開發

'89年 漁港開發方向은 外廓施設 完工 위주에 두고 推進하고 있다. 1·3種漁港은 463億원의 事業費로 忠南의 安興港 등 28個港에 대한 建設事業과 全南의 馬良港 등 7個港에 대한 補修, 補強事業을 推進하고 2種漁港은 72個港에 74億원의 事業費를 投資할 계획이다.

〔表 118〕

漁 港 開 發 計 劃

	投資港數	物 量	事 業 費		
			計	國 費	地 方 費
計	100 個港	7,063 m	537 億원	500	37
1·3種漁港	28	5,332	463	463	
2種漁港	72	1,731	74	37	37

資料：水産廳 漁港課



## 2. 漁港被害最小化

颱風 및 暴風으로 인한 漁港被害를 最小化하기 위하여 '88년에 全海域의 深海波와 東海 및 西海一部의 淺海波를 調査完了하였고 '89년에는 西海殘余區域 一部와 南海의 淺海波調査를 完了하여 이를 基礎로 '89年末까지 全漁港에 대한 既存 施設物의 安全度를 診斷하여 補修·補強計劃을 樹立, 老朽脆弱度에 따라 年次的으로 斷面을 改良할 것이며 將來計劃施設物에 대하여도 同 診斷結果를 기초로 安全한 斷面으로 設計해 나갈 것이다.

市·道知事 管理 2種 漁港은 당청에서 調査된 隣近海域 深·淺海波 資料를 最大限 活用토록 하고 이를 基礎로 設計波高를 算出, 施設物의 安全度를 診斷하여 被害頻度 및 尤甚度 등을 考慮, 既存 施設物에 대한 補修·補強工事を 年次的으로 施行할 수 있도록 指導할 계획이다. 한편 颱風 進路圈에 位置한 漁港工事に 대해서는 早期着工토록 하여 颱風來襲期 以前에 防波堤의 主要工程을 完了토록 하고 施工中인 先端部 등에 于先 假設工事を 施行하여 被害의 最小化에 積極 努力할 계획이다.

## 3. 制度改善

漁港修築事業은 지금까지는 漁船收容 및 待避 目的으로 基本施設 爲主의 漁港을 建設하여 왔으나 그동안 高度産業社會로의 發展에 따른 漁業與件變化에 相應하는 漁港建設의 必要性이 대두되고 있으며 漁村地域을 漁港中心의 定住生活圈으로 開發하기 위해서 現行 漁港法을 改正,

漁港建設에 대한 제도개선을 推進할 계획이며 구체적인 改善方向은

첫째, 漁港機能施設의 範圍를 擴大하고 漁民에 대한 厚生福祉 및 住民環境整備施設을 大幅 新設하며

둘째, 漁港開發의 活性化를 위하여 民資誘致方案을 강구하고

셋째, 主要施設計劃을 樹立할 때는 事전에 住民 또는 利害關係인의 意見을 收斂하는 行政節次를 確立함으로써 漁港建設事業에 住民의 參與를 擴大할 計劃이다.

넷째, 漁港區域內에서 一部 公有水面 管理 또는 埋立業務와 重複되는 分野를 調整하고

다섯째, 漁港管理業務의 效率性 提高를 기하기 위하여 漁港管理體系를 合理的으로 調整하고 漁港施設 使用料의 範圍를 設定할 計劃이다.

## 第 2 節 漁撈施設 現代化

### 1. 漁船建造

#### 가. 老朽漁船 代替

'89年 老朽漁船代替事業은 5,804百萬원을 投入 '88年보다 100톤이 많은 1,700톤을 合成樹脂(FRP)船으로 代替할 計劃이다.

老朽漁船 代替對象은 木船은 16年以上 鋼船은 21年以上이며 支援規模는 多數 零細漁民이 고루 惠澤을 받을 수 있도록 8톤 未滿을 代替建造

하는 경우에 限하여 總建造費中 補助 20%, 融資 60%(年利 8%, 2年据置 6年償還)를 정부예산사업으로 支援하고 있으나, 漁業許可나 漁業鑑札이 없는 漁船이나 登錄 및 檢査를 未畢한 漁船은 支援對象에서 除外하고 있다.

#### 나. 經濟性漁船 普及

鋼船이나 木船에 比하여 耐久年數가 길고 補修 및 維持管理費가 節減되는 經濟性漁船인 合成樹脂(FRP)船을 '89년에는 1,600톤 建造할 計劃이다. 支援對象은 40톤 미만의 小型漁船에 限하며 農漁村地域開發基金으로 總建造費의 80%를 年利 5%, 3年据置 10年償還 條件으로 지원하고 있다.

아울러 韓國漁船協會가 漁船의 性能向上 및 試驗研究에 관한 事業을 推進하여 FRP標準漁船 48種을 開發, 告示하였으며 '89년에도 2~3種을 開發告示할 計劃이다.

#### 다. 計劃造船(漁船) 建造

國民投資基金에 의한 計劃造船事業은 '77~'88年 동안 282,057百萬元을 投入 819隻 97,256톤을 建造支援한데 이어 '89년에는 31,000百萬元을 投入하여 5,200톤을 代替할 計劃이다.

支援對象漁船은 40톤以上으로 近海漁船은 老朽漁船代替와 被害復舊에 限해 支援하며 漁獲強度가 높은 大型트롤, 大型機船底引網, 大型旋網, 近海안강망, 近海채낚기 등의 減隻對象漁船은 水產資源의 適正利用 管理를 위하여 被代替船 2隻을 1隻으로 減隻 建造時에만 支援하고 있다.

## 2. 低效率 機關 代替 및 裝備改良

安全操業과 操業能率 向上을 위하여 '88년부터 補助를 隨伴한 政府豫算事業인 動力改良事業을 중단하고 農漁村地域開發基金 3,520百萬원을 確保하여 融資(年利 5%, 1年据置 4年償還) 80% 조건으로 陸上用機關 등 低效率 및 老朽機關을 燃料節約型 船舶用디젤機關으로 代替하며 多數漁民에게 골고루 惠澤이 갈 수 있도록 200馬力以下の 國產船舶用디젤 機關으로 支援對象을 限定하고 있다. 또한 漁撈裝備 現代化를 통한 安全操業圖謀 및 漁業生産性 提高를 위하여 農漁村地域開發基金에 의한 裝備改良事業으로 低效率機關代替 支援條件과 同一한 條件으로 1,480百萬원을 投入 老朽無電機의 4種의 漁撈裝備 586臺를 支援할 계획이다.

〈表 119〉 漁撈施設事業計劃

單位：百萬元

	物 量	事 業 費				備 考
		計	補助	融資	自擔	
計		49,704	1,161	35,332	13,211	
老朽漁船代替(FRP)	1,700臺	5,804	1,161	3,482	1,161	
經濟性漁船普及	1,600 ~	6,400		5,120	1,280	
計劃造船	5,200 ~	31,000		21,700	7,300	
低效率機關代替	22,000HP	3,520		2,816	704	
裝備改良	586臺	1,480		1,184	296	
無電機	110 ~	165		132	33	
魚探機	56 ~	168		134	34	
레이다	80 ~	344		275	69	
로	90 ~	153		123	30	
오징어自動釣上機	250 ~	650		520	130	
漁船用機資材生産支援	5個業體	1,500		1,050	450	

資料：水產廳 漁船課

또한, '89년에는 漁船用機資材 生産業體에 대한 運營資金 支援計劃을 樹立, 漁船用品 性能向上 및 機資材의 圓滑한 需給을 圖謀하고 보다 優秀한 漁撈裝備의 生産供給을 위하여 1,050百萬원의 水産振興基金을 確保 1個業體에 200百萬원 限度內에서 漁船用品 製造施設承認을 받은 中小業體나 漁船用品 生産實績이 있는 業體 또는 新規로 事業을 하고자 하는 中小業體를 對象으로 支援할 計劃이다.

### 3. 制度改善

漁船의 安全性 確保로 海難사고를 미연에 방지하고 安全操業을 도모하기 위하여 全動力漁船과 總噸數 5톤이상 無動力漁船에 대하여는 漁船檢査를 실시하고 있으나, 漁民의 便益을 도모하고 漁船行政의 效率性を 提高하기 위하여 漁船法 施行令의 改正을 推進할 計劃이다. 그 주요내용은 沿岸 近距離 航行으로 海難事故 憂慮가 비교적 적고 어선구조가 간단하고 機關操作이 容易하여 자체정비·수리 및 점검이 가능하여 安全管理에 支障이 없다고 판단되는 總噸數 1톤미만 動力漁船과 內水面漁船에 대하여는 漁船의 安全性 確保를 위한 最初 定期檢査만 받도록 하고 그 이후의 漁船檢査는 省略토록 하여 總噸數 1톤미만 沿岸漁船 17,263隻과 內水面 漁船 1,301隻 등 總18,564隻이 漁船檢査 면제혜택을 받음으로써 어민부담경감과 검사불편을 해소할 계획이다. 또한, 地方自治制實施와 관련하여 現在 市·道知事가 행하도록 되어 있는 漁船建造·改造 發注許可業務, 所有者가 不明한 漁船의 管理 및 漁船의 現場確認 등의 業務를 市長·郡守 또는 區廳長에게 委任토록 함으로써 漁船行政業務의 效率性 提高 및 漁民의 便益을 도모할 계획이다.

이외에도 이미 조치한 사항으로서 어선검사집행지불 48개소에서 62개소로 확대 운영함은 물론 現地出張検査와 巡廻検査를 강화하여 漁民이 원하는 場所와 期日に 漁船検査를 받을 수 있도록 하고, 検査期日到來 1개월전에 漁船検査準備 등 검사에 필요한 受檢案内文을 발송하여 어선 검사에 만전을 기하도록 하고, 検査期日이 지난후에도 受檢促求文을 2회 발송하여 未受檢漁船 發生豫防에 철저를 기함으로써 漁民의 受檢不便事項解消와 漁民便益爲主의 漁船検査業務遂行을 위한 지속적인 検査制度改善을 적극 推進할 計劃이다.

## 第 6 章 水產物需給 및 價格安定

### 第 1 節 水產物流通 및 去來制度 改善

#### 1. 流通施設의 擴充

水產物의 迅速한 揚陸·販賣와 衛生的인 處理 및 系統出荷를 확대하기 위하여 事業費 2,066百萬원을 投入, 委販場 6,902㎡(2,088坪)와 綜合魚市場 1個所를 新設하여, 產地 地區別水協의 流通機能을 提高하고 어선출어시 유류, 食수보급을 위한 給油·給水 8,400드림 施設과 沿岸 給油船 1隻도 代替할 계획이다.

#### 2. 流通機能強化

'89年 流通機能의 強化 推進方案으로는 產地水協의 共同販賣를 擴大('88 : 1,751千톤, 10,149億원→'89 : 1,935千톤, 10,642億원)하고 김, 미역, 툇 등의 委販 脆弱品目에 대하여 組合과 漁村契間의 共同收集 販賣事業을 繼續 推進(14個組合, 4,460톤)해 나가겠으며, 販賣施設 및 裝備補強

을 위하여 委販場·綜合魚市場擴充은 물론 魚代金支給 電算化 組合을 擴大해 나가는 한편 福祉會館 등 漁民便益施設을 設置함으로써 漁獲物의 신속한 處理와 對 漁民 서비스 改善을 強化해 나갈 計劃이다. 또한 '86년부터 1·2段階로 實施해 오던 養殖水產物의 產地去來制度 改善을 위해 '89. 1.1부터는 10個 組合에서 鮮魚類, 養殖物 등 全 水產物에 대해 組合別 委販規模에 따라 委販手數料을 下向調整(3~5%→2~4%)하여 漁民 受取價를 높여 나가며 김, 미역 위주의 10個 組合에 대하여는 수수료一部를 漁村契에 還元토록하여 漁村 生産基盤事業에 支援되도록 할 計劃이다. 또한 任意上場制 實施에 對備, 今年度에 同 制度 轉換에 따른 補完對策 講究 등 實施與件을 充分히 檢討할 計劃이다.

水產物의 規格出荷로 商品性を 提高하고 水產物 標準去來單位의 早期 定着을 誘導하고자 水協內陸地 系統出荷를 推進(4千噸)하고 系統出荷 低利資金을 擴大 支援('88: 22億원→'89: 35億원)해 나가며 系統出荷 缺損補填基金의 運用(100百萬元)과 漁民 直出荷에 대한 장려금 지급 등으로 系統出荷 與件을 強化하여 水產物의 원활한 供給에 萬全을 期하며 또한 大量需要處의 擴大 및 直賣場 運營에도 힘써 나갈 計劃이다.

漁獲物의 品質向上과 去來秩序 確立을 위하여 生産漁民, 仲買人 등 委販從事者에 대하여 漁獲物의 取扱管理要領 등을 隨時 啓導 및 弘報하고 過量入箱 漁獲物에 대하여는 不利한 順位の 競賣 등을 할 수 있도록 함으로써 定量入箱을 定着해 나가겠으며 특히 委(共)販場 등에 대한 水產物의 流通環境 淨化와 衛生管理를 強化하여 新鮮한 水產物을 供給할 수 있도록 해 나갈 것이다.

한편, 最近 國內搬入이 增加하고 있는 遠洋漁獲物의 流通秩序를 確立하고 원활한 國內需給을 유지하기 위하여 '89. 3. 1 "遠洋漁獲物 搬入申



告 및 調査確認에 關한 要領”을 制定 施行함으로써 遠洋漁獲物의 搬入 量을 철저히 確認할 수 있도록 하였으며 또한 遠洋漁獲物의 不法 流通 防止 및 適正魚價 提高를 위하여 遠洋漁獲物의 委販制度 推進을 積極 檢討해 나갈 計劃이다.

## 第 2 節 水產物 價格安定

### 1. 政府備蓄事業

主 生産期에 大量生産되는 水產物의 產地價格 下落을 防止하기 爲하여 產地水協으로 하여금 生産漁民으로 부터 直接 收買하여, 端境期 主要 消費地에 集中 放出로 價格上昇을 抑制하여 生産者와 消費者를 同時 에 保護하기 爲하여 農水產物 價格安定基金 211億원을 投入, 김 800톤 (400萬觔), 간미역 2,000톤, 冷凍오징어 2,500톤, 마른멸치 300톤(10萬포), 마른오징어 200톤(267千觔)을 收買 備蓄 할 計劃이다.

<表 120>

'89 政府 備蓄 事業 計劃

單位：톤, 百萬원

	物 量	金 額	事 業 時 期
計	5,800	21,126	
김	800	11,300	1~ 4월
간 미 역	2,000	1,380	4~ 5월
냉 동 오 징 어	2,500	4,456	9~11월
마 른 멸 치	300	1,470	9~11월
마 른 오 징 어	200	2,520	11~12월

資料：水產廳 漁政課

## 2. 價格支持事業

農安基金 755億원을 支援하여 總 218千톤을 收買目標로 收買支援, 輸出促進, 生産者團體出荷調節事業 등의 民間價格安定事業을 實施할 計劃이다.

이중 民間收買支援事業은 總338億원의 農安基金을 支援하여 冷凍保管, 통조림加工, 煉製品加工, 김加工, 간미역加工販賣事業에 160,205톤을 收

<表 121> 民間價格安定事業計劃

單位：톤, 百萬원

事業別	收買計劃		農安基金支援
	物量	金額	
計	218,231	172,097	75,500
○收買支援	160,205	104,345	33,800
· 冷凍保管	110,140	76,250	23,000
(水協)	(83,100)	(56,250)	(15,000)
(韓冷)	(27,040)	(20,000)	(8,000)
· 통조림加工	35,800	15,010	6,000
· 煉製品加工	12,000	9,460	2,500
· 김加工	120	2,000	1,000
· 간미역加工	2,145	1,625	1,300
○輸出促進	31,026	41,125	13,700
· 冷凍水產物	12,948	14,625	3,900
· 活鮮魚·貝類	2,233	5,000	1,400
· 乾魚脯	5,555	1,500	400
· 水產통조림	10,290	20,000	8,000
○生産者團體出荷調節	27,000	26,627	8,000
○水協委販場出荷促進			20,000

資料：水產廳 漁政課

買支援하고 輸出促進事業은 137億원을 支援하여 冷凍水產物, 活鮮魚, 貝類, 건어포, 水產통조림 등에 31,026톤의 輸出用 水產物을 收買토록 支援할 計劃이다. 生産者團體 出荷調節事業은 농안기금 80億원을 지원하여 갈치, 고등어, 오징어, 김 등 都賣 및 消費者物價 管理品目 등의 출하조절과 鮑, 우뚝가사리 등 共同收集販賣事業 등에 27千톤을 收買토록 支援하며 수협위원장 출하촉진을 위하여도 200億원을 지원할 계획이다.

### 第 3 節 水產物의 食糧化

#### 1. 加工製品 生産 및 支援

'87年 國民 1人 1日當 動物性 蛋白質 供給量은 30.45 g으로 이중 水產物이 52.9%인 16.11 g을 供給하였다. '80年 以後 쇠고기, 돼지고기 등 肉類 供給이 急增하고 있는 趨勢임에도 불구하고 水產物이 動物性 蛋白質의 主供給源이 되고 있음은 肉類에 비하여 核酸과 不飽和脂肪酸이 多量 含有된 健康食品으로 認識되고 있기 때문이라 하겠다.

水產物은 國民 蛋白質의 主된 供給源으로서 重要한 위치를 차지하고 있음에도 傳統의인 食生活 慣習에 따라 대부분이 鮮魚原形 狀態의 副食으로 消費되어 왔다. 그러나 '80年 以後 國民所得 向上과 核家族化 등 高度 産業社會 進入에 따른 食生活 패턴 變化로 水產物 消費狀態도 종래의 副食用 鮮魚消費에서 卽席, 便利, 營養爲主의 加工製品 爲主로 그 需要가 變化되어 가고 있다. 이와같은 趨勢에 따라 優良 加工製品을 消

費者에게 大量 供給할 수 있도록 하기 위하여 '89年에도 加工施設 擴充에 17,980百萬元을 支援하고 煉製品, 통조림, 冷凍品, 調味加工品, 海藻加工品 등 生産業體에 運營資金 9,500百萬元을 支援하는 등 持續的인 加工品 增設施策을 擴大해 나가고 있다.

'89年에도 800千톤의 製品生産을 目標로 水產物 食糧化를 積極 推進하는 한편 國民 嗜好에 맞는 多樣的 製品을 生産, 供給함으로써 國民 保健 向上에 寄與하고 있다. 이를 위하여

첫째, 加工用 原料의 安定的 供給을 위해 原料 鮮度維持 및 原料供給 系列化를 기하고 특히 煉製品 原料의 원활한 供給 및 品質 高級化를 위해 船上 및 陸上 煉肉의 生産을 擴大하여 나갈 것이다.

둘째, 加工品の 品質向上을 위하여 自體 品質管理 體制를 確立토록 指導하고 包裝材質 向上 및 單位 包裝制를 誘導하며 海外技術 情報을 蒐集, 業界에 提供할 것이다.

셋째, 新製品 開發을 위한 試驗 研究로서 정어리, 고등어 등을 素材로 한 便利 食品과 水產加工 廢棄物 및 副產物 利用에 관한 研究를 繼續하여 實施할 것이다.

## 2. 消費 促進

水產物의 消費底邊 擴大를 위하여 무엇보다도 弘報가 重要함으로 TV, 라디오, 新聞, 雜誌 등 各種 言論 媒體를 最大한 活用하여 정어리, 고등어, 굴, 미역, 오징어 등 多獲性 水產物을 비롯한 모든 水產物은 成人 病豫防은 물론 無公害 健康食品임을 集中 弘報하는 동시에 民間團體 및 業界로 하여금 自律的으로 有料弘報를 擴大토록 誘導하고 있다.

또한 새로운 料理法 開發 普及을 위하여 서울을 비롯한 地方 大都市에서 등푸른 生鮮, 多獲性 水產物, 민물고기, 어묵 등에 대한 料理講習 및 試食會를 開催하고 리후렛과 팜푸렛을 製作 關聯機關, 團體, 業體 및 消費者들에게 配布하는 한편, 料理冊子도 계속 擴大 普及할 計劃이다.

### 3. 水產物 檢査

最近 國內外的으로 水產物 加工食品이 단백질 供給源으로서 食生活에서 차지하는 比重이 커짐에 따라 食品의 安定性提高에 관심이 높아지고 있다. 이와같은 추세에 부응하여 '89年 水產物 檢査指標을 信賴받는 檢査業務 確行으로 定하고 細部方針으로는 檢査判定의 標準化, 檢査員의 資質向上, 檢査의 科學化 및 製品生産指導의 強化에 力點을 두고 迅速·公正한 檢査業務를 持續的으로 推進하고 있다.

첫째, 檢査判定의 標準化를 위해 冷凍品外 6個 主要製品에 대하여 主生産時期에 檢査標準品 査定會를 開催하여 適正한 檢査標準設定으로 檢査判定의 同一性을 維持하여 對外的으로 檢査의 公信力을 높이고 加工業界의 참여로 優秀製品生産을 誘導하며

둘째, 檢査員의 品質向上을 위하여 重金屬, 細菌, 理化學에 대한 自體分析教育과 國立水産技術訓練所에 水產物 流通加工班을 설치하여 每年 水產物加工에 대한 專門教育을 實施하고 있으며 冷凍品, 통조림, 寒天, 魚肉煉製品 등 高次加工品에 대한 工場實技訓練으로 加工 및 檢査技法 등을 熟練化함으로써 全檢査員의 資質을 向上시키고 아울러 檢査員의 國家技術資格(水産製造技士 1·2級)을 取得케 하여 檢査의 信賴度와 食品의 安全度를 提高하고자 한다.

세째, 檢査의 科學化를 위하여 持續的으로 分析檢査裝備의 補強과 先進國水準의 檢査技法 導入을 推進하고 있으며,

네째, 製品生産指導의 效率性 提高를 위하여 實效性있는 새로운 技術情報을 入手, 水產物市場動向誌 發刊과 加工現場指導을 通하여 業界의 新製品 및 加工技術開發을 誘導함과 동시에 加工工場 衛生管理 點檢을 實施하여 미흡한 點을 補完함으로써 品質의 向上은 물론 優秀加工業體에 대한 檢査減免承認도 확대해 나가고

다섯째, 適正 檢査標準과 製品加工方法 改善資料에 活用코자 마른멸치 適正水含量調査外 9個 課題를 調査分析事業으로 選定, 推進하여 나갈 계획이다.

## 第 4 節 水產物 輸出入 對策

### 1. 水產物 輸入開放 對策

국제적인 輸入自由化 擴大 추세에 따라 農產物과 더불어 水產物의 輸入開放問題가 당면 현안문제중의 하나로 대두되고 있다. 이는 그동안 우리나라가 눈부신 經濟發展을 이룩하여 國際收支 黑字를 기록함으로써 國際社會에서 그 지위가 크게 향상된 데 기인한 것으로 우리나라 貿易規模는 1,125億 \$ 로써 세계 12위국이 되었으며 國際收支 黑字에 있어서도 對美 貿易黑字 86億 \$ 을 포함, 143億 \$ 로써 일본, 대만, 서독에 이어 세계 4위를 차지하였고 水產物의 경우도 '88년에 輸出 2,047百萬 \$, 輸

入 292百萬 \$ 를 達成하여 赤字는 무려 1,755百萬 \$에 달하였다. 반면 우리나라의 農水産物 輸入 自由化率은 農水畜産物 전체가 71.9%인데 비해 水産物이 40.2%의 낮은 수준을 유지하고 있어 우리나라의 交易對象 國인 미국, EC 등으로 부터 通商摩擦이 심화되고 있음은 물론, GATT에서도 그동안 우리나라가 취해왔던 國際收支 赤字를 이유로 한 輸入制限 措置(18條B)를 더 이상 인정할 수 없다는 입장에 있어 구조적으로 취약한 農水産物의 輸入開放問題는 汎 政府的인 대처가 시급히 요구되는 어려운 입장에 처하게 되었다. 따라서 정부에서는 이러한 어려움을 타개하기 위하여 단계적인 輸入自由化 豫示制度를 도입, '89~'91년까지의 農水産物 輸入開放 品目을 '89. 4. 8 豫示하였다. 豫示品目은 우리나라 水産業의 구조적인 취약점을 감안, 어민에게 직접적인 피해가 적은 품목으로 신중을 기하여 선정하였으며 아울러 수산물의 특성인 넓은 수요의 대체성, 價格의 多樣性, 供給源의 汎 世界性 등으로 個別 品目別 補完對策이 어려운 점을 감안, 水産資源 造成과 漁業 生産性 向上을 위한 構造調整 및 漁民에 대한 각종 支援事業의 확충으로 전체 어민의 소득 제고를 기할 수 있는 補完對策을 수립, 추진해 나가고 있다.

<表 122>

農水産物 輸入自由化 豫示 現況

	總 品目數	既自由化 品目數	年度別 豫示			
			'89	'90	'91	計
農林畜水産物	1,785	1,284(71.9)	82	76	85	243(84.9)
- 農畜産物	1,162	873(75.1)	55	42	41	138(86.2)
- 林産物	295	279(94.6)	1	2	7	10(97.3)
- 水産物	328	132(40.2)	26	32	37	95(69.2)

資料：水産廳 貿易課

註：( )는 輸入自由化率(%) 임

## 2. 水產物 輸出 增大

水產物 輸出은 '82年 이후 연평균 20%의 꾸준한 증가 추세를 보여 왔으나 '87年末부터 시작된 급속한 원貨切上과 沿近海 水產物의 生産 減少로 '88년부터 둔화되기 시작, '89年 上半期에는 前年 同期 對比 84.8%에 그치는 실적을 보이고 있다. 이와같이 수출이 저조한 主 原因으로 는 우리나라의 주요 수출국인 日本과 美國의 일시적인 需要減少에 기인 한 것으로 분석되며 下半期에도 輸出의 基本的 與件이 되는 沿近海 水 產物 生産의 減少 및 원화결상에 따른 수출 채산성 악화 등으로 크게 호전되기는 어려운 것으로 예상된다. 따라서 금년도 輸出目標 21億\$를 달성하기 위하여는 輸出用原資材의 확보가 용이하도록 지원하고 新製品 開發 및 東歐圈 市場 등의 적극적인 進出 支援과 生産性 向上을 통한 적정 輸出價格을 유지토록 유도해 나감은 물론 輸出 隘路要因 打開을 위한 輸出制度 改善에 적극 노력해 나갈 계획이다.

<表 123>

水產物 輸出 動向

單位：百萬\$

	'88. 上半期	'89. 上半期	對 比(%)
計	1,122	952	84.8
水 產 物	1,055	891	84.5
沿 近 海	712	617	86.7
遠 洋	343	274	79.9
漁 網	67	61	91.0

資料：水產廳 貿易課



## 第 7 章 研究機能強化와 技術開發 普及

### 第 1 節 水產振興院의 活性化

#### 1. 水產研究園地建設과 機能補強

##### 가. 研究園地 建設

'88년에 移越 施工中인 水產振興院 守衛室, 汚廢水處理施設, 水產技術訓練所 本館·生活館 一部工事を '89. 2월에 再着工하여 7월에 竣工하고, '89年 施行 計劃인 水產技術訓練所 本館·生活館의 完工, 道路 및 造景 工事は 實施設計를 5월에 完成하여 7월에 着工하는 한편 水產振興院은 '89. 5월에 移轉 完了하였고 水產技術訓練所는 10월에 移轉할 計劃이다.

##### 나. 機構 및 機能補強

'88. 11. 7 水產振興院 職制를 2部 10課(科) 2研究室 12研究所 20指導所 9種苗培養場 851名으로 改正한데 이어 '89년에는 持續的, 安定的 生産增大를 위한 水產種苗 需要增大에 대처하기 위하여 大規模 水產種苗

培養場 1個所를 增設하고, 水產研究團地の 圓滑한 運營을 위하여 管理 要員을 大幅增員할 계획이며, 새로운 研究 및 指導需要에 대처하기 위해 現在 本院機構를 2部에서 5部로 확대 改編하고, 院長職級을 1級으로 格上하는 한편, 水產工學研究所와 水產經濟研究所를 新設하고, 東·西·南海岸에 圈域別로 대단위 地域水產研究所를 新設 하는 한편, 漁村指導 所를 60個所로 增設하는 등 水產振興院 職制를 계속 補強해 나갈 計劃 이다.

## 2. 研究員 資質向上 및 試驗機器補強

### 가. 研究員 資質向上

2000年代를 향한 尖端水產技術 開發을 위하여 遺傳育種研究 등을 內 實化하고 研究員의 國內·外 研修, 專門家交流, 海外研究所와의 情報交 流를 계속확대해 나갈 계획으로 '89년에는 日本, 프랑스, 美國 등에 20 名의 研修生을 파견하고 專門家 3名을 파견하는 한편, 國內研修도 계속 확대할 계획이다. 특히 優秀研究人력을 活用하기 위해 停年退任하는 優 秀研究員을 名譽研究官으로 活用함은 물론, 海外의 著名한 教授를 專門 職公務員으로 採用할 計劃이다.

또한 第21次 韓·日 農林水產技術協力委員會 合意事項 및 韓·佛姊妹 結緣事業을 통하여 日本에서는 海產魚類 遺傳育種技術 및 養殖技術開發, 海漁況豫測 및 新漁具漁法開發, 人工魚礁 效果調査 技術研修를 프랑스 에서는 海洋資料處理 및 赤潮生態 毒性學에 대한 研修를 實施할 계획 이다.

나. 試驗機器 補強

日本 海外經濟協力基金(OECF)에 의한 機器導入 殘餘分 7點을 購買 完了(총 669點, 7億엔)할 계획이며, 南海種苗培養場 등 新設 기관용 및 老朽裝備代替를 위한 試驗機器 및 裝備 224種 1,224點을 一般會計豫算 으로 購入할 계획이다.

3. 研究基金造成 및 運用

水產研究財團은 '88. 8. 20에 資本金 540百萬원으로 設立하여 現在 560 百萬원을 造成, '89년에는 利子收益金 59百萬원으로 研究, 指導員의 海外研修, 試驗研究 支援事業 및 職員 厚生福祉事業에 使用할 計劃이다.

<表 124> 水產研究財團事業 運營計劃

單位：千圓

區 分	'88	'89	增(△)減	備 考
計	51,360	69,567	18,207	
水產試驗研究費	12,732	32,211	19,479	
水產技術指導普及費	3,107	10,891	7,784	
學資金支援	8,335	16,000	7,665	
經常運營費	4,819	3,465	△ 1,354	
移 越 金	2,367	-	△ 2,367	
資 本 積 立 金	10,000	7,000	△13,000	

資料：國立水產振興院

#### 4. 產學協同

'89. 3. 24 中央水產產學協同審議會 定期會議을 개최하여 임기 만료된 3個 分野 3名의 兼職研究官을 任用하였고(兼職研究官 총 16名), 中央審議會 專門委員(7개 분야 27명)과 各道 審議會 委囑職委員(8개도 39명)을 委囑하였다.

또한 各道 審議會에서 접수된 12個 補助研究課題中 “低食鹽 진석화젓의 製造 및 豊味改善에 관한 研究”外 2個 課題를 선정하여 연구를 진행하고 있으며, '89年 水產系 專門大學生 現場實習 産業體로 4個所를 지정하여 5個 專門大學生 15名을 現場實習할 수 있도록 하였다.

<表 125>

產學協同 補助研究課題

單位：千圓

課 題 名	所要豫算	研究責任者
3 個 課 題	20,000	
○ 低食鹽 진석화젓의 製造 및 豊味改善에 관한 研究	7,000	麗水水大 김 우 준
○ 江原沿岸에 棲息하는 꼬끼리 조개의 棲息環境과 生態에 관한 研究	7,000	江陵大 김 형 섭
○ 漁場利用 管理實態와 漁村指導 方向 (水協中央會 委託事業)	6,000	釜山水大 최 정 윤

資料：國立水產振興院

## 第 2 節 所得과 直結되는 技術開發

### 1. 增養殖技術開發

#### 가. 有用 貝藻類 增產試驗

西海岸 백합의 養殖漁場 回復試驗, 寄生蟲 感染率 및 漁場環境調查와 김의 갯벌 診斷을 위한 기초시험, 漁場別 김 適品種 養殖試驗을 계속 중이고, 酸處理에 의한 김의 附着生物 驅除試驗, 미역의 바늘구멍病에 대한 原因生物의 分類 기초시험, 鬚養殖 技術開發試驗, 岩礁性 海藻群落의 변화 및 現存量調查를 착수하였다.

優良種 開發을 위한 遺傳育種學的 연구기반을 확립하기 위하여 참굴과 진주조개의 3倍體生産 시험을 계속하고 전복의 3倍體生産 시험에 착수하였다. 김의 優良種 選拔培養, 繼代培養에 의한 遺傳形質 特性을 조사 중이며, 다시마의 分類檢索, 암수 配偶體의 分離培養 및 遺傳形質別 交雜試驗에 착수하였다.

#### 나. 淺海 有用生物 養殖技術 開發試驗

東海岸의 地域의 特性에 적합한 새로운 養殖品種의 開發을 위하여 털게의 生殖生態 究明과 飼育에 관한 시험을 추진 중이며, 우렁쟁이 斃死 豫防을 위한 環境의 耐性 特性의 把握을 위하여 越年産 우렁쟁이의 室

內 環境條件에 따른 耐性調査를 실시 중에 있다.

#### 다. 種苗生産 및 魚類養殖 技術開發試驗

水産種苗의 大量生産을 통한 沿岸資源增強과 養殖用 種苗의 安定적 供給 基盤 造成을 위하여 넙치, 돔類, 조피볼락, 대하, 보리새우, 전복, 우렁챙이, 꽃게, 보라성게 등의 有用 水産種苗 2,630만 마리를 生産하는 한편, 범가자미, 소라, 승어, 능성어, 북쪽말뚝성게 등 13種의 새로운 魚種을 중심으로 하여 人工種苗 生産技術 開發試驗을 실시할 계획이다.

海産魚類養殖場의 自家汚染機構 및 養殖場의 適正管理를 위한 基礎資料의 蒐集을 위하여 南海岸의 주요 양식장에 대한 養殖場環境調査를 계속할 것이며, 海上 가두리 養殖의 技術 향상을 위하여 참돔 및 자주복의 養成管理 技術開發試驗을 실시할 것이며, 西海岸의 地域特性에 적합한 조피볼락의 養殖技術開發로 地域漁民의 所得增大을 위하여 海上 가두리에 의한 조피볼락 養成試驗을 실시하는 한편, 海産魚類의 安定的이고 計劃的인 陸上水槽養殖에 필요한 適正濾過技術 및 養成管理技術의 開發을 위하여 濾過試驗 및 室內飼育試驗을 실시할 계획이다.

방어용配合飼料중 植物性蛋白質源인 大豆粕 代替效果를 究明하여 海産魚 配合飼料의 生産原價 節減效果를 究明하고 기초연구로서 조피볼락의 營養要求중 적정 단백질 함유량을 究明하여 配合飼料 開發 資料로 活用할 計劃이다.

한편, 魚類의 遺傳育種學의 研究로서, 자주복, 조피볼락, 가자미類에 대한 基礎細胞遺傳學의 및 生化學의 研究를 실시하고 高級魚種인 넙치, 참돔의 3倍體魚 生産에 대한 豫備試驗을 실시 할 것이다.

魚病研究로 間接螢光抗體法에 의한 방어 連鎖球菌症 迅速診斷, 正

常魚와 病魚(넙치·연쇄구균증)의 조직학적 手法 및 血液學的 검사에 의한 건강 상태파악 그리고 육상 양식 넙치의 월별 魚病 發生 실태파악 및 적정 치료약제 선택에 관한 연구를 할 계획이다.

#### 라. 養殖漁場의 立體的 利用 研究

養殖漁場의 利用效率를 提高하기 위하여 立體的 利用 研究를 실시하고 있으며, 우선 養殖品種의 複合養殖에 의한 成長度 및 經濟性에 대하여 西海岸 延坪島, 大靑島 등 도서지역과 忠南 瑞山郡, 唐津郡 지역에서 조사 중이다.

#### 마. 淡水魚 試驗研究

內水面 利用의 효율적 관리를 위하여 安東湖 等 水產資源保全 地域의 環境 및 資源調査를 實施하고 담수어 양식기술 개발을 위하여 잉어 3倍體 시험 등의 遺傳育種學的 基礎研究와 우량종묘 생산보급, 메기 및 쏘가리 養殖試驗, 틸라피아 우량종 개량시험 등을 實施할 計劃이다. 또한 연어 資源造成을 爲하여 연어 치어를 生産 放流하고 산천어, 열목어, 무지개송어 養殖試驗을 실시하고 있다.

#### 바. 內水面 潛在力調査

內水面의 一般現況, 棲息生物, 水面利用, 生産潛在力, 水質 및 기타 관련여건을 조사하여 內水面의 효율적이고 계획적인 이용방안의 기초자료를 제공하고자, '89~'90년까지 2개년간 계획으로 전국의 댐, 호, 저수지,

호소, 강, 하천, 양어장 및 낚시터를 대상으로 內水面 潛在力調査를 실시할 것이다.

## 2. 漁業技術 開發

### 가. 音響漁法 研究

尖端漁法 研究의 일환으로 先進水產國에서는 이미 實用化 단계에 이르고 있는 音響漁法 研究를 위하여 '83년부터 多獲性 魚類를 對象으로 水中發生音을 蒐集하는 한편, 音響에 대한 集魚反應 및 驅魚反應 試驗, 魚類 學習用 音響부-이 製作 試驗 등으로 基礎資料를 축적하여 왔으며, '87년부터 音響漁法의 實用化를 위하여 멸치流刺網에 人工 驅魚音을 放聲時 漁獲効果 變化 試驗을 實施한 結果, 音を 放聲하지 않았을 경우보다 漁獲量이 增加됨을 究명한 바 있다.

'89년에는 오징어채낚기漁業을 對象으로 漁船에서 發生되는 水中音에 대한 오징어의 反應을 究明하고 周波數와 音壓을 달리한 數種의 人工音을 放聲하여 오징어 集魚狀態 및 漁獲에 미치는 영향 등을 調査, 音響을 利用한 오징어채낚기漁業의 實用性을 究명한 計劃이다.

### 나. 選擇的 漁法 研究

最近 沿近海 漁業의 對象資源이 減少추세에 있어 資源保護가 時急한 實情이므로 對象魚種만 選擇의으로 漁獲하거나, 일정크기 以上の 對象魚만 効果의으로 漁獲할 수 있는 選擇的 漁法 開發이 要望되고 있다.



이를 위하여 年次的으로 對象漁業을 달리하여 選擇的 漁法을 研究할 計劃이며, '88년에는 전어旋刺網을 對象으로 適正網目 및 成形率을 究명한 바 있다.

'89년에도 전어旋刺網을 對象으로 網地를 달리하여 漁獲選擇性을 究명할 計劃이다. 즉, 나이론 複糸(Multi-Filament)로 된 既存漁具와 나이론 單糸(Mono-Filament)로 된 新漁具로 海上試驗을 實施, 漁具別 漁獲效率은 물론 채포된 漁獲物의 種類와 魚種別 體長, 體重 등 生態를 測定하고 羅網部位를 調査하여 漁獲選擇性을 究명함과 同時 漁業經營의 合理化를 圖謀할 計劃이다.

#### 다. 끝낚시(曳繩釣)漁具 漁法 改良試驗

南海岸과 濟州道 沿岸에서 삼치, 방어, 가다랭이 등 高級魚種을 主 對象으로 操業하고 있는 끝낚시 즉, 曳繩釣漁業은 現在 操業水層이 거의 表層에 限定되어 있어 中·底層 回游性 魚種의 漁獲이 不可能하며, 操業方法도 人力에만 依存함으로 操業의 機械化가 要望되고 있어 '88년에는 曳引水層 調整用 潛水板을 考案 水槽試驗과 海上試驗을 實施, 中·底層 曳引의 可能性을 究명한 바 있다.

'89년에는 '88년에 이어 潛水板의 種類別 潛水能力과 魚種別 漁獲性能을 調査, 實用性을 究명함과 동시에 漁業의 機械化를 위한 自動卷揚 드럼식 揚繩機를 設計 製作하여 海上試驗을 통해 機械的 性能 및 實用性을 究명할 計劃이다.

## 라. 뜬(浮子) 開發試驗

漁具資材의 國產化 및 新素材 開發을 目的으로 資材 種類別로 年次計劃을 樹立 實施할 豫定이며, 一次年度인 '89년에는 뜬을 對象으로 試驗할 計劃이다.

뜬은 各種 漁具뿐만 아니라 養殖場 施設에도 필요불가결한 資材이다. 특히, 트롤 및 底引網에 使用되고 있는 深海用 뜬은 水壓에 견딜수 있는 特殊 材質로 되어 있어 高價로 輸入 使用하고 있으며, 自體重量이 무거워 浮力이 弱한 결점이 있고, 沿岸漁業이나 養殖場에 使用되고 있는 淺海用 뜬은 耐波性, 耐久力이 弱한 결점이 있다. 이를 解決하기 위하여 深海用 뜬은 合成樹脂로 원형을 만들고, 内部에 空氣를 주입시킬 수 있는 裝置를 하여 高壓空氣를 充填시켜 耐水壓 및 浮力을 增大시키고, 製作費를 低廉하게 할 수 있도록 設計, 製作하여 材質別, 空氣 充填量別 浮力과 耐壓, 耐衝擊 試驗으로 實用性을 究明하고, 淺海用 뜬은 合成 고무로 原형을 만들고, 深海用 뜬과 같이 空氣를 주입하여 耐波性, 耐久力 試驗으로 實用性을 究明할 計劃이다.

## 마. 刺網 揚網裝置 開發試驗

沿近海 漁業의 人力難 解決을 위하여 年次計劃을 樹立, 漁業의 機械化를 推進하고 있으며, '89년에는 刺網漁業을 對象으로 試驗할 計劃이다.

沿近海 刺網漁船數는 約16千余隻으로 沿近海 漁業中 매우 重要한 位置를 차지하고 있으나, 大部分 人力에 依存하고 있어 他漁業에 비해 機械化가 더욱 요망되고 있다. 그러나 대부분 小規模 漁船을 사용하고 있어 完全 機械化가 어려운 실정이다. 따라서 우리나라 刺網漁船 實情에

알맞는 揚網裝置를 開發하기 위하여 刺網 上·下에 開閉式 고리를 일정한 間隔으로 附着하고, 고리에 揚網用 로프를 끼워 揚網時 로프를 당기면 그물이 船內에 올라오도록 하며, 揚網用 로프는 船首 甲板에 設置된 揚網臺의 開閉式 볼록을 통해 사이드 드럼으로 감아 올릴 수 있도록 한 Ring式 揚網裝置를 考案하여 海上에서 試驗操業을 통해 操業人員과 所要 힘, 所要時間 등을 測定하는 한편, 實用性을 究明한 다음 船尾 甲板에 小型 드럼을 設置하여 사이드 드럼으로 감아 올린 揚網用 로프가 自動的으로 處理될 수 있도록 할 計劃이다.

### 3. 水產物 利用加工 技術 開發

#### 가. 加工技術 開發試驗

多獲性 魚種인 정어리의 加工技術 開發, 加工副產物 내지는 廢棄物의 利用에 관한 研究를 비롯하여 主要 水產物의 脂肪酸組成과 海藻類의 微量成分에 관한 分析試驗을 실시중에 있다.

정어리 加工技術開發에 있어서는 '87~'88년에 速成醱酵液化物의 加工條件 究明과 量產試驗을 실시한데 이어 여기서 얻어진 液化物의 製品化를 위하여 粉末 및 眞空凍結乾燥製品의 加工試驗을 실시하고 있는 한편, 既히 開發한 改良煉肉을 利用한 便利食品, 調味製品 등의 加工試驗도 실시할 計劃으로 있으며, 이 이외에도 水產物 加工工場에서 冷凍品이나 통조림 處理加工時에 나오는 頭部, 內臟物 등 副產物의 利用을 위하여 液化製品 加工試驗을 실시중에 있다. 또한 水產物의 營養價値와 利用에 따른 科學的 基礎資料 提供을 위하여 主要 水產物에 대한 有效

脂肪酸(EPA, DHA) 含量調査와 海藻類에 대한 특수 미량 成分調査 試驗을 실시중에 있으며, 양식김의 鹽酸處理에 따른 食品으로서 安全性 與否를 파악하기 위하여 酸處理김에 대한 酸殘存量 分析試驗을 실시중에 있다.

#### 나. 魚貝類 衛生管理 改善試驗

冷凍貝類의 對美輸出에 따른 韓·美 貝類衛生協定 이행을 위하여 輸出用 貝類生産 指定海域 4個所 21千ha에 대한 細菌 및 殺蟲劑 汚染調査와 貝類冷凍 加工工場의 加工用水 및 養殖場 주변 人家의 3槽式 改良 便所 排出水의 細菌汚染度 조사를 계속 실시하고 있다. 한편, 貝類養殖場의 衛生管理를 위하여 '86~'88년에 이어서 降雨에 의한 水質變動에 관한 연구도 계속될 것이다. 또한 수산물의 公衆保健上的 安全性 問題와 관련하여 貝類毒素試驗과 여름철에는 비브리오 敗血菌 汚染調査도 추진할 것이며, 정어리의 速成醱酵과 관련하여 醱酵에 관여하는 微生物 相과 그 利用을 위한 연구도 '88년에 이어 계속 실시중에 있다.

### 第 3 節 基礎調査事業

#### 1. 海洋環境調査

우리나라 沿近海 海洋環境의 合理的 利用, 管理 및 保全을 위한 科學

의인 基礎調査로서, 韓國近海漁場의 海洋變動調査(海洋物理, 化學, 生物學的 調査)를 東·西·南海의 22個 定線 175個 定點에서 年6回 실시하며, 특히 人工衛星映像受信裝備로 NOAA人工衛星的 海面畫像을 受信하고 周邊海域에서 操業하고 있는 漁船으로부터 現場 表面水溫을 通報받아 이들 資料를 綜合分析하여 海·漁況豫報의 基礎資料로 活用하고, 81個 沿岸定地觀測所에서 매일 海洋物理 및 氣象學的 調査를 실시한다. 아울러 36個所에서 年4回 人工魚礁效果調査를 실시하며 六角魚礁와 組立式 四角魚礁의 新種魚礁 2種을 開發하여 慶南의 1個 場所에서 試驗 調査한다.

한편, 南海西部海域 40個點에서는 底質組成 및 變動狀況을 究明코져 年2回 底質調査를 실시하고 國內·外的 海洋科學資料와 情報蒐集, 處理分析, 保管, 交換 및 配布를 위한 韓國海洋資料센터(KODC)를 운영한다.

沿岸漁場 環境汚染調査를 全國 重要臨海工團 및 養殖場 周邊水域에 設定된 237個 調査點에서 化學的 酸素要求量, 溶存酸素 및 營養鹽類 등 理化學的 水質指標成分에 대하여 年6回, 海水, 水產物, 底質中の 重金屬含量調査 年1回, 水產物中の 農藥 및 PCB含量調査를 年2回 실시하여 全國沿岸海域 汚染의 經年變化 樣狀을 파악하는 한편, 鎮海灣을 비롯한 全國 重要養殖漁場에 대한 漁場淨化事業 效果調査를 年2回 실시한다.

또한 赤潮에 의한 養殖生物의 피해를 경감시키기 위하여 南·西海岸에서 赤潮豫察을 年16回以上 실시하고, 底質改良에 의한 赤潮防除技術 開發試驗, 그리고 海水 및 貝類中の 有毒性 플랑크톤의 出現種과 出現량을 調査하여 沿岸汚染 指標生物로서 重要的 種에 대해서는 室內人工培養實驗에 의해 그들의 生理生態의 特性을 究明한다.

全國 水產資源保全地域(海面 10個所, 內水面 19個所)에 設定된 153個 調査點에 대하여 化學的 酸素要求量을 비롯한 理化學的 水質指標成分을 年6回(內水面은 4回), 水產物中の 重金屬含量調査 年1回, 底質汚染調査

年2回, 그리고 魚貝藻類의 生産動向 및 出現種調査를 年2回 실시하여 水產資源保全地域의 水質環境 및 資源動態變化를 파악하여 水域保全管理의 基礎資料로 活用한다.

## 2. 漁業資源調査

沿近海漁業 資源을 합리적으로 이용하고 관리하기 위하여 沿近海 主要漁業(13個 漁業) 對象資源에 대한 漁獲量變動調査, 生物學的의 調査 및 魚卵·稚魚調査를 실시하여 資源의 動態 및 生態에 관한 연구를 하고 있으며, 신속 精確한 資源動態 파악을 위해 과학어탐에 의한 직접조사도 실시하고 있다.

한편, 고래資源의 評價 및 管理를 위하여 고래資源 目視調査를 실시하고 있으며, 魚群의 移動狀況과 漁況의 전망을 분석하여 주간 및 월간 漁況豫測을 실시하고, 오징어漁業에 대하여는 漁獲試驗에 의한 漁場調査를 실시하여 漁況豫測을 위한 자료로 活用하고 있다.

遠洋漁業 資源의 持續的 利用과 合理的 管理를 위하여 트롤·새우트롤·다랭이延繩 및 旋網·오징어流刺網 및 채낚기, 공기棒受網 등 9個 主要 漁業을 對象으로 漁獲統計 및 生物學的 資料를 蒐集 分析하여 資源動態를 把握하고 명태, 대구, 다랭이類, 오징어類 등 14個 魚種에 대한 魚體精密測定調査와 오징어, 다랭이類 등 4個 魚種에 標識放流를 實施하여 魚種別 資源豊度變動把握 및 資源狀態를 評價하며, 아울러 電氣泳動法에 의한 主要 魚種의 系統群調査를 실시하고 있다. 分析 및 評價된 結果는 大西양다랭이保存委員會 및 韓·美漁業專門家會議 등 16個 國際漁業會議와 遠洋漁業 政策資料로서 提供될 것이다.

한편, 北太平洋 公海漁場을 安定的으로 確保하기 위하여 試驗調查船 釜山 851號로 60日 동안 우리나라와 美國의 調査官이 合同으로 北西太平洋 漁業生物의 分布·移動과 海洋環境과의 關係를 究明하고, 現地 漁船의 操業動態를 把握, 漁業情報資料를 漁船에 提供하여 漁獲增産에 寄與하며, 아울러 公海에서의 연어 및 海洋哺乳動物 混獲狀態와 環境과의 關係를 밝혀서 公海上의 國際的 漁業紛爭에 對處할 基礎資料를 確保할 계획이다.

#### 第 4 節 水産技術指導 普及

##### 1. 技術指導 및 弘報

國立水産振興院에서는 20個 指導所와 19個 市·郡駐在 指導職 公務員 250名이 全國의 全漁村契를 巡廻하며 全養殖品種에 對해 漁業循期에 副應한 適期技術指導를 통하여 安定的 生産을 圖謀함은 물론 이와 併行하여 漁場의 生産性を 回復하고 保全하기 위하여 密殖豫防 등 漁業秩序確立과 適正漁場管理에 力點을 두고 漁民啓導에 임할 것이다.

全國 主要養殖團地 27個灣을 對象으로 海況과 作況을 週期的으로 觀測·調査하여 養殖施設時期와 方法을 指導하고, 病蟲害發生狀況을 把握하여 漁民들로 하여금 이에 對處토록 指導하며, 幼生調査를 實施하여 採苗時期의 豫報로 種苗의 安定的 確保를 誘導하는 한편, 이와는 別途로 全國의 主要地點 39個所에 對하여 海洋觀測을 實施, 이들 資料를 漁

民指導 및 弘報資料로 活用하고, 有關機關에 通報하여 行政資料로 活用케 할 것이다.

또 地域의으로는 養殖이 可能하나 아직 開發이 안된 品種에 대하여서는 새로운 漁村所得事業으로의 擴大普及과 定着化를 위하여 전북수하식·과래양식·김병동양 등 36個所의 示範漁場을 運營할 것이다.

특히 近來에 急増하고 있는 魚類養殖事業에 대한 指導에 있어서는, 稚魚의 確保에서 부터 出荷할 때까지 稚魚의 馴致, 飼料의 投餌, 高水溫期 魚病의 診斷과 治療 등 全般의인 漁場管理와 飼料의 確保에 이르기까지 訪問指導와 集合教育 등을 통하여 安定生産指導에 임할 것이다.

沿岸 第1種共同漁場에서의 점차적인 資源減少現象에 대하여 海藻類 資源造成과 아울러서 種苗의 投入 등에 의한 資源造成事業을 積極의으로 誘導하고, 漁場의 適正管理에 의하여 生産増大를 圖謀하는 한편, 지난해에 2個 漁村契를 始發로 하여 推進되고 있는 漁村綜合開發事業에 대하여는 隣近漁村으로의 波及效果舉揚을 위하여 指導活動을 強化할 것이다.

아울러, 養殖漁場의 効率的 保全管理와 漁業秩序確立을 위하여 有關機關과의 圓滑한 協助體制를 維持, 漁民啓導에 임하고, 赤潮 등 災害의 豫防과 被害의 最少化를 위하여 赤潮發生 憂慮地域 47個所에 豫察班을 配置하고, 또한 全國을 34個班으로 颱風·暴風 등에 의한 被害의 豫防을 위하여 督勵班을 編成, 運營할 것이다.

그리고 漁村指導事業의 効率的 遂行을 위하여 時宜의으로 要望되는 事業品種에 대하여 비디오 1篇과 水産技術誌 3種을 發刊하는 등 漁民의 要望에 副應하고, 水産情報의 迅速한 傳達를 위하여 海·漁況豫報와 養殖豫報를 週間·月間 또는 隨時로 發刊配付하고, 新聞·雜誌와 라디오·TV 등을 통한 弘報活動을 展開하는 한편, “養殖漁場管理 成功事例集”



을 發刊配付 弘報하여 漁場適正管理에 對한 漁民의 意識을 鼓吹하고자 한다.

## 2. 漁民教育 및 漁民後繼者指導

새로운 水産技術普及과 水産施策에 對한 漁民의 理解增進을 통하여 健全漁村을 育成한다는 目標아래 國立水産振興院 傘下 20個 漁村指導所에서 水協과 合同으로 70千여名에게 集合教育을 實施함과 아울러 굴, 피조개, 김, 미역, 우렁쟁이 및 魚類養殖 등 主要養殖品種에 對하여는 漁村指導所單位로 品種別 專門指導士 2人以上으로 構成된 專擔班을 編成 運營하여 地域別 漁業循期에 맞추어 漁村現場을 巡廻하면서 34千余名의 漁民에게 採苗, 種苗培養, 漁場管理, 養殖施設 및 魚病 등에 관한 技術教育을 並行實施할 計劃이다. 한편, 科學營漁實踐을 위한 旗手養成으로 技術波及의 據點確保 및 漁村指導者育成을 위해 '89년에 選定된 後繼者 150名을 包含, 總 4,297名의 漁民後繼者에게 專擔指導士를 配置하여 每月 1~2回以上 現地 事業場을 巡廻 訪問하여 水産施策, 事業設計와 漁場管理, 新技術普及 및 營漁日誌記錄管理 등을 指導하고, 또한 指導所別로 年1回以上 漁民後繼者 指導評價會議을 開催하여 事業推進에 따른 問題點 및 改善對策討議, 相互 情報交換 등을 實施할 計劃이다. 그 외에도 全國 105個 自生組織協議會를 對象으로 分期別 懇談會를 開催하고 營漁事例發表, 技術教材 및 刊行物 配付, 先進地 見學, 親善 體育大會 支援 등으로 漁民後繼者 自生組織의 活動을 積極 獎勵할 計劃이다.

### 3. 漁村指導機能 強化

#### 가. 指導組織補強 및 基盤擴充

漁村指導所 機能을 強化하기 위하여 現在 漁村指導所長中 一部 職級이 漁村指導士로 되어 있는 것을 漁村指導官으로 昇格하고(7個所), 漁村指導組織 및 人力擴充을 推進하는 것을 비롯하여 漁村指導所 1個所 増築(麗水)과 漁村指導活動車輛 4臺 確保와 二輪車, 顯微鏡 등 指導裝備 9種57點과 養殖漁場 適地調査裝備 1set(分光光度計 등 6種)을 補強할 計劃이다.

#### 나. 漁村指導公務員 指導能力向上

魚類, 전복, 內水面養殖 分野에 대한 새로운 技術 및 專門知識習得을 위하여 漁村指導公務員 20名을 對象으로 水産種苗培養場과 內水面研究所에서 種苗生産 重要時期에 맞추어 1個月間 現場教育을 實施한다. 그리고 先進水産技術과 關聯한 施設視察 및 情報交換을 위하여 水産研究財團事業에서 漁村指導公務員 10名을 對象으로 海外研修(日本)를 實施하며, 또한 總務處 短期海外訓練 計劃으로 1名에게 6個月 課程의 日本研修를 計劃하는 등 對漁民技術指導 普及의 專門性을 더욱 強化할 것이다.

#### 다. 自願漁村指導者 運營

漁村指導所 地域內에서 德望과 營漁經驗이 豊富한 漁村指導者를 發掘

하여 漁村指導事業에 自進 參與케 함으로써 對漁民 技術普及을 보다 効率的으로 推進하기 위하여 沿岸 市·郡單位로 1名以上の 自願漁村指導者를 委囑키로 하고 '87년부터 시작하여 '88年 44名, '89年 83名(再委囑 27名 包含)을 委囑하는 등 總127名을 確保하고 이들의 漁場을 開放하여 營漁體驗事例 傳播 등을 통한 漁村指導活動波及의 據點으로 活用해 나갈 計劃이다.

## 第 5 節 漁業技術의 向上과 訓練

### 1. 水產技術 訓練

새로운 漁業技術의 開發 등 水산업 발전에 따른 技術行政의 수요를 충족시키고 漁民所得의 向上과 직결되는 實用技術教育을 擴大하기 위하여 水産관계 공무원을 대상으로 하는 基本教育(7回, 390名) 및 專門教育(5回, 340名)을 실시함과 아울러, 어업종사자를 대상으로 하는 어민후계자교육(12回, 490名), 漁民教育(5回, 470名), 漁船員素養教育(140回, 12,000名)을 실시함으로써 총 169回, 13,690名을 教育시킬 계획이다.

공무원 교육에 있어서는, 직급별 특성에 부합한 職務遂行能力의 향상에 역점을 두고 基本教育 과정의 지속적인 補修教育을 추진해 나가는 한편, 專門教育 과정의 교육훈련을 擴大하여 水産經營班과 內水面魚類 養殖班을 新設, 運營하고 政策開發班教育은 “沿岸 水産資源의 造成과 管理方案”을 주제로 정책 세미나를 개최하여 水産資源의 增大方案을 모

색한다.

漁民後繼者教育 課程에서는 '89어민후계자 150명에 대하여 漁船漁業班 및 水產養殖班으로 구분, 專門教育을 실시하며 '81~'88어민후계자 중 교육 희망자 340명을 선정하여 漁船漁業班 및 김·굴·고막·우렁쉥이·넙치·잉어養殖班의 現業을 중심으로 現場 經營教育을 실시한다. 특히, 수익성 양식품종으로서 어민들의 관심이 높은 넙치·잉어養殖班은 소수의 인원(10~15名)에 대하여 2주간의 長期教育으로 추진하며 거제 종묘배양장 등 수산연구기관에 現場實習 위주의 위탁교육을 실시할 계획이다.

또한, 해양오염 방지를 위하여 100톤이상 어선의 해양오염방지 관리인 320명에 대한 海洋汚染防止管理班 교육과정을 新設, 運營하며, 어업질서 확립교육으로서 漁村契長 80명에 대한 漁業秩序管理教育을 실시하는 한편, 연근해 및 원양 어선원 12,000명을 대상으로 안보의식을 고취시키고 자질을 향상시키기 위한 漁船員 素養教育을 실시할 계획이다.

## 2. 海技員 養成

'89년에 韓國漁業技術訓練所에서는 海技士 課程 207名과 普通船員 課程 200名 등 우리나라 訓練生 407名과 政府對外技術供與計劃에 의한 外國人 訓練生 50名을 양성 배출할 계획이며 乘船員의 자질 향상과 어선의 安全運航을 위하여 年 4회에 걸쳐 총 3,200名에게 安全教育을 실시할 계획이다.

## 第 8 章 漁民支援의 強化

### 第 1 節 水産資金供給擴大

#### 1. 營漁資金

'89年 營漁資金의 支援計劃은 4,800億 원으로 沿近海漁業分野에 4,240億 원을 遠洋漁業分野에 560億 원을 供給할 計劃이며 漁民便益爲主의 貸出制度를 確立하기 위하여 貸出基本約定에 의한 限度去來制度和 信用貸出을 擴大實施하는 한편 漁船鑑定基準을 現實化할 것이다.

<表 126>

營漁資金 供給計劃

單位：億 원

	'88	'89(p)	增(△)減
所 要 額	7,262	8,146	884
供 給 額	3,840	4,800	960
供 給 率(%)	(53)	(59)	(6)
調 財 政 資 金	545	648	103
達 韓 銀 借 入 金	1,947	2,076	129
水 協 自 體 資 金	1,348	2,076	728
運 沿 近 海 漁 業	3,210	4,240	1,030
用 遠 洋 漁 業	630	560	△70

資料：水産廳 協同組合課 ※'88遠洋100億 원 特別支援

## 2. 水產振興基金 및 水產振興財政資金

水產振興基金 54億원과 水產振興財政資金 85億원을 漁船用機資材生産, 輸出水産物運送 및 水産物食糧化事業과 水産物加工業體의 經營資金으로 支援하여 漁業과 水産製造業의 均衡的 發展을 도모할 計劃이다.

〈表 127〉

水產振興基金 運用計劃

單位：百萬圓

	'88	'89(p)	增(△)減	內 譯
計	4,618	5,392	774	
沿近海漁業	2,139	2,190	51	'89 沿近海 漁業 · 漁船用機資材生産：1,050
水産製造業	2,300	3,000	700	· 輸出 水産物 運送：1,140
次期移越	179	202	23	

資料：水産廳 協同組合課

〈表 128〉

水產振興財政資金 運用計劃

單位：百萬圓

	'88	'89(p)	增(△)減	內 譯
計	8,500	8,500		
沿近海漁業	1,100		△1,100	'89 水産物 製造 加工 · 冷凍 冷蔵：2,800
遠洋漁業	1,250		△1,250	· 통조림 加工：2,700
水産物製造加工	6,150	6,500	350	· 海藻 加工：500
漁網生産		2,000	2,000	· 調味 加工：500

資料：水産廳 協同組合課

### 3. 農漁村地域開發基金

'89년에 支援할 農漁村地域開發基金의 規模는 總 271億원('88追更 180億원 포함)으로, 經濟性漁船普及 등 5個部門에 支援할 計劃이다.

經濟性漁船普及은 船齡16년(鋼船21년)이상 老朽漁船, 海難脆弱漁船, 漁業許可가 留保된 被害漁船 등을 40톤미만 合成樹脂(FRP)漁船으로 代替建造코자 하는 漁民을 대상으로 1,600톤을 中長期 低利로 支援하고 있다.

低效率機關代替事業은 老朽 및 低效率(燒球, 陸上用, 電氣点火式)機關을 설치한 沿近海 漁船을 대상으로 200馬力이하의 國產 船舶用 디젤機關으로 代替코자하는 漁民에게 22千馬力을 低利로 支援하고 있다.

裝備改良事業은 無電機, 魚群探知機, 레이다, 로란, 오징어自動釣上機 등 586대의 漁撈裝備 購入資金을 低利로 支援하여 操業能率 向上과 漁民所得增大에 寄與토록 하고 있다.

그외에 水産物食糧化事業은 14個所의 冷凍煉肉 및 海藻加工施設資金으로 支援토록 하고 있으며, 水産物 處理加工施設事業은 16個所의 製氷, 冷凍·冷蔵시설과 綜合魚市場의 新增築資金으로 支援하여 水産物の 貯藏 및 流通改善에 寄與할 수 있도록 하고 있다.

表 129 農漁村地域開發基金 支援計劃

單位：百萬圓

	'88		'89		融資年數		金利 (%)
	物量	金額	物量	金額	据置	償還	
計		10,096		27,100 (18,000)			
經濟性漁船普及	1,940 <small>隻</small>	4,811	1,600 <small>隻</small>	5,120	3	10	5
低効率機關代替	22,000 <small>HP</small>	2,816	22,000 <small>HP</small> (22,000 <small>噸</small> )	2,816 (2,816)	1	4	5
裝備改良			586 <small>臺</small> (586 <small>噸</small> )	1,184 (1,184)	1	4	5
水產物食糧化施設	5個所	1,734	14個所 (14 <small>噸</small> )	4,400 (4,400)	2	5	8
・冷凍煉肉	4 <small>噸</small>	1,574	(8 <small>噸</small> )	(3,200)			
・海藻加工	1 <small>噸</small>	160	(6 <small>噸</small> )	(1,200)			
水產物處理加工施設	2個所	735	16個所 (10 <small>噸</small> )	13,580 (9,600)	2	5	8
・製氷, 冷凍, 冷蔵工場 ・新增築等							

資料：水產廳 協同組合課

註：'89年度 支援計劃中 外書에는 ( )內的 '88追加支援分이 包含됨.

#### 4. 水協 自體資金 造成 및 運用

水產資金의 원활한 調達을 위하여 '89년 貯蓄目標을 1兆88億圓으로 정하고 一般受信店舖 7개소('88末現在 107개소), 相互金融受信店舖 13개소('88末現在 155개소)와 온라인店舖 7개소('88末現在 103개소)를 증설하여 貯蓄增大와 顧客에 대한 서비스를 강화할 계획이다.

'89년 水產資金 規模는 '88년말 殘額대비 2,736億圓이 증가한 1兆3,416



億圓으로 1兆793億圓을 貸出金으로 運用할 계획이다.

<表 130>

'89水協資金 需給計劃

單位：百萬圓

調 達		運 用	
科 目	金 額	科 目	金 額
計	1,341,587	計	1,341,587
預 受 金	385,341	現 金 · 預 置 金	57,083
· 一 般	324,600	有 價 證 券	73,034
· 相 互 金 融	60,741	貸 出 金	1,079,348
會 員 換 決 濟	106,160	· 信 用	1,055,918
借 入 金	665,631	· 共 濟	13,000
· 金 融	225,420	· 相 互	5,000
· 財 政	438,620	· 借 款	5,430
· 借 款	1,591	經 濟 事 業 債 權	34,239
經 濟 事 業 債 務	15,779	在 庫 資 產	9,032
充 當 金	28,557	業 務 用 固 定 資 產	66,692
共 濟 積 立 金	66,116	其 他 雜 資 產	22,159
雜 負 債	37,850		
資 本 金	36,153		

資料：水協中央會 '89事業計劃書(綜合資金需給計劃)

## 第 2 節 漁村開發

### 1. 漁村綜合開發事業

現在 우리 漁村이 안고 있는 가장 큰 문제점은 漁業構造가 零細하고 生産基盤이 취약하여 漁家所得이 他産業分野에 비해 상대적으로 낮은 수준에 있을 뿐 아니라 특히 漁村중에서도 地域間, 階層間의 所得隔差가 크다는 것이다.

이에 따라 政府에서는 落後된 漁村地域의 構造改善과 漁村定住基盤을 確保함으로써 地域間·階層間의 所得隔差 解消와 均衡發展을 도모하고 종래의 漁村別 過小投資 및 機能別 分散投資로 인한 漁村開發事業의 한계성을 극복하고자, 協業事業 遂行 能力은 있으나 地域與件이 不利하여 開發이 落後된 全國 8個道 15個 低所得漁村을 대상으로 總45億원(個所當3億원)의 事業費를 投入하여 地域特性과 漁業與件에 맞는 生産基盤施設, 所得增大事業, 福祉環境事業을 綜合的으로 開發하여 漁村中心의 協同運動의 定着으로 漁村社會의 離漁防止와 漁業을 根幹으로 하는 快適하고 所得이 높은 福祉漁村建設을 위하여 노력해 나갈 計劃이다.

<表 131>

漁村綜合開發事業計劃

單位：百萬元

事業別	事業量	事業費		
		計	國庫	地方費
合計		4,500 (100%)	3,150 (70)	1,350 (30)
生産基盤施設		3,457	2,420	1,037
- 방과재	680 m	1,481	1,037	444
- 물양장	605 m, 1개소	412	288	124
- 선착장	207 m	220	154	66
- 어촌소득원도로	3,972 m	797	558	239
- 인공어초	9ha, 1,402개	306	214	92
- 호안도로	350 m	189	132	57
- 암반제거	1,500㎡	52	37	15
所得増大事業		845	590	254
- 바지락살포	45ha	61	43	18
- 전복종묘방류, 축양	32.7ha, 3개소 40,000마리	300	210	90
- 어패류양식	1개소	100	70	30
- 굴수하식양식	7ha	55	38	17
- 공동작업장	3개소	67	47	20
- 종묘배양장	4동	151	105	46
- 위판장	1동	55	38	17
- 수산물직매장	1동	56	39	17
福祉環境事業		198	139	59
- 어민회관	3동	135	95	40
- 급수시설	2개소	51	36	15
- 공동변소	2개소	12	8	4

資料：水産廳 協同組合課

## 2. 漁民後繼者 育成

漁村에 定着하여 漁業에 從事할 意慾과 事業推進能力이 있는 漁民後繼者 150명을 선발 專門技術教育을 實施하고 1,493백만원의 育成資金을 支援할 계획이다. 또한 기존 漁民後繼者 가운데 희망자 340명에 대하여도 經營教育을 6일간씩 실시할 計劃이다.

〈表 132〉 漁民後繼者育成 支援計劃

單位：百萬元

	計			'81~'88			'89		
	人員	%	金額	人員	%	金額	人員	%	金額
計	4,297	100	32,848	4,147	100	31,355	150	100	1,493
漁船漁業	2,602	61	21,103	2,508	60	20,116	94	62	987
增養殖漁業	1,652	38	11,485	1,597	39	10,987	55	37	498
水産物加工	43	1	260	42	1	252	1	1	8

資料：水産廳 協同組合課

## 3. 漁民福祉施設 擴充

漁船員 및 漁民들의 취약한 근로조건에도 불구하고 이들을 위한 福祉施設이 不備한 실정이므로 漁船員 및 漁民들의 厚生福祉 增進을 도모하고 漁業生産性 增大에 寄與하기 위하여 장기적으로 漁民福祉施設 建立을 推進할 計劃이다.

'89년에는 1차적으로 政府補助 412백만원과 水協中央會 自担 102백만원 合計 514백만원의 施設費를 確保하여 釜山 地域에 漁民福祉會館 1個所의 建立을 推進中이며, '90年代末까지 全國 일선수협의 中心漁港에

現代的施設을 갖춘 漁民福祉會館을 持續的으로 建立해 나갈 計劃이다.

### 第 3 節 災害補償

#### 1. 漁船 및 船員共濟制度 改善

'89년 2월 1일 共濟規約을 改正, 共濟財産의 効率的인 增殖을 圖謀하기 위하여 上場會社 株式 등 流通 가능한 有價證券投資를 가능토록 하였으며, 漁船普通共濟에 있어 從前까지 포괄적으로 운영하여 오던 損害防止費用과 任意 救助費를 區分하여 救助義務 없는자가 海難漁船을 救助하였을 경우 救助費 支給規定을 新設 運用함으로써 共濟事故 發生時 漁民의 不利益을 解消토록 하였다. 또한 颱風, 어선침몰 등 대형사고로 인한 船員 集團死亡時 共濟金 支給申請書類 具備前이라도 共濟事故가 확인되면 共濟金을 支給할 수 있도록 하여 災害漁民 保護에 만전을 기하도록 하고, 船員特殊共濟에 있어서는 '87.8.1부터 실시한 小額診療費 船主負擔에 따른 共濟料 割引率 適用을 規約에 新設 明示하였다.

이와는 별도로 漁船의 共濟加入을 위한 現行 漁船評價表가 '85.10.1改正 施行되었으나 그간의 物價上昇 및 貨金引上 등 經濟的인 與件變化에도 불구하고 지금까지 적용되어와 漁船事故 發生時 再建造 또는 復舊를 위한 必要經費에 미달되는 補償으로 現實化가 時急한 狀況에 있어 今年 中에 船體, 機裝品, 機關에 대한 評價額을 一括 上向 調整코자하며, 急速冷凍施設에 대한 別도 評價基準도 新設하여 共濟加入 漁船의 評價를

時價에 近接토록 할 計劃이다.

또한 지금까지 一率的으로 適用하여 오고있는 漁船共濟料率을 業種別, 事故率에 따라 差等適用토록 하는 割引, 割増制를 면밀히 검토 導入할 計劃이다.

船員共濟에 있어서는 共濟料 負擔能力이 脆弱한 小型漁船員의 共濟加入提高를 위해 30톤미만에 대한 國庫補助率을 現行35%에서 40%까지 引上되도록 積極 推進中에 있다.

〈表 133〉 漁船 및 船員共濟加入計劃

單位：百萬원

		'88	'89	'89/'88(%)
漁 船	加入 漁 船 (隻)	8,006	7,380	92.2
	契 約 高	411,930	376,000	91.3
	共 濟 料	7,822	6,768	86.5
船 員	加入 人 員 (名)	44,296	47,400	107.0
	契 約 高	440,960	509,820	115.6
	共 濟 料	5,705	7,610	133.4
	(國 庫 補 助)	(816)	(666)	(81.6)

資料：水協中央會 共濟事業現況報告.

## 2. 養殖共濟制度 導入

異常暖冬, 病害, 赤潮 등 海況異變으로 부터 養殖漁業經營의 安定化를 圖謀하기 위하여 '86년부터 韓國農村經濟研究院에서 실시한 竪垂下式養殖共濟 試驗事業設計가 '86年度의 共濟成立可能性檢討에 이어 '89년에는 對象海域, 加入 및 引受方法, 共濟料率算定, 組織 및 運營 등 전반적

인 試驗事業 실시를 위한 設計를 完了하고 그 結果에 따라 試驗事業 실시를 위한 구체적인 체계를 정비해 나갈 計劃이다.

또한 試驗事業은 關係機關 및 團體의 意見을 收斂한후 細部推進 計劃을 樹立, 우선 圖上練習에 착수할 計劃이다.

### 3. 災害復舊 支援 및 被害補償

#### 가. '89年 災害復舊 支援

'89.2.6~10, 3.8~9, 2회에 걸친 暴風으로 全南 莞島, 長興, 高興地域의 增養殖施設에 김9,726柵, 미역1,691톤 등 20億원의 被害가 發生하여 '災害復舊 및 復舊費用 負擔基準'에 따라 14億원의 復舊費를 支援할 計劃이며, 차후 發生하는 災害에 대하여도 風水害對策法에 의거 신속히 復舊費를 支援, 被害漁民이 早速한 期日內에 生業에 復歸할 수 있도록 할 計劃이다.

#### 나. 被害額 算定基準 調整

被害漁民의 復舊費用負擔 輕減을 위하여 '88年度 被害額 算定基準보다 平均 10% 引上案을 中央災害對策本部에 提出하였으며, 基準改正時 最大限 反映되도록 積極 努力할 計劃이다.

## 第 9 章 漁村活性化 對策

### 第 1 節 農漁村 發展 綜合對策

國民經濟의 成長過程에서 相對的으로 惠澤을 적게 받은 農漁村 經濟를 조속히 발전시켜 均衡된 國家發展을 도모하고자, 政府에서는 '89. 4. 28 “農漁村 發展 綜合對策”을 수립 發表한 바 있으며 이의 蹉跎없는 推進을 위하여 細部實踐計劃을 수립 推進 중에 있다. 이중 水產分野에 대한 主要內容으로는 다음과 같다.

#### 1. 水產業 構造改善 및 漁家所得 增大

##### 가. 水產業 構造調整計定 設置 運營

水產業의 生産性 向上 및 構造調整을 위하여 農水產業 構造調整基金內에 水產業 構造調整 計定을 설치토록 하였다.

이 基金에서는 沿近海 소형어선 建造, 貯魚기관 代替 및 漁撈裝備, 施設改良, 增·養殖施設, 水產物流通改善 및 加工事業 등을 支援하도록 하였다.



#### 나. 漁民所得源 擴大開發

漁業外 所得源開發을 위하여 臨海農工地區 開發을 促進, 지역 특성에 맞는 水產物加工工場의 集中 誘致를 유도하고, 地域特化 海產物 개발과 해양레크레이션 施設을 擴充토록 하였다.

#### 다. 漁村基盤施設 擴充

漁村基盤施設 擴充을 위하여 '92년까지 1·3種漁港에 대한 基本施設을 整備하여 호안, 物揚場, 船着場 등의 기초시설을 完了하고, 어촌의 定住基盤擴充을 위하여 全 沿岸 시·군에 1개소씩 漁村綜合開發事業을 착실히 推進토록 하였다.

#### 라. 養殖水產物의 任意上場制 實施

漁民便宜를 위하여 現행 水產物 去來制度인 強制上場制 방식을 養殖 水產物에 대하여 단계적으로 '90년부터 任意上場制로 改善하도록 하였다.

### 2. 漁業資源公社 設立

人工魚礁施設, 種苗增養殖事業, 漁場環境의 淨化, 保全 및 保護 등 어민들이 개별적으로 할 수 없는 資源造成 및 管理事業을 증점 추진토록 漁業資源公社 設立을 積極 檢討하도록 하였다.

## 第2節 2000年代를 向한 水産發展 綜合對策

### 1. 背 景

對內外的으로는 수산물의 需要가 크게 늘어나고 있는데 반해 沿岸漁場의 環境惡化와 國際漁業規制의 강화로 漁業生産性이 떨어지고 漁家所得源이 줄어드는 情況에 있다.

이러한 水産業 與件變化에 대처하여 漁村經濟體質을 강화하고, 2000년대 水産業의 밝은 未來像을 제시하기 위하여 “2000년대를 向한 水産發展 綜合對策”을 수립, 推進하여 나갈 計劃이다.

### 2. 主要施策 方向

#### 가. 水産資源의 造成·保全·管理

水産種苗의 量産 供給 및 人工魚礁施設을 확대하여 沿岸水域의 生産성을 증대하고 不法漁業 團束 및 안전조업을 위해 指導船 補強과 헬기를 도입, 漁業秩序를 確立할 것이며, 수산자원의 效率의인 조성, 보호관리를 위한 專擔 政府投資機關인 漁業資源公社의 設立을 推進해 나갈 것이다.

#### 나. 水産業 構造改善

沿近海 漁業資源과 어획강도를 均衡있게 조정하여 經濟·社會 및 水産業 發展段階에 알맞는 漁業基本秩序를 재정립하여 나갈 것이다. 이를 위하여 漁業構造調整法을 制定하고, 연근해 漁船勢力을 적정수준으로 減縮해 나가면서 해외어장진출 및 漁業間 操業努力을 재배치할 것이다.

#### 다. 水產物 需給 및 價格安定

水產物 輸入開放化에 적극 대처하기 위하여 효율적인 輸·出入 對策을 運用해 나갈 것이며, 水產物 價格安定 및 流通構造 改善事業을 확대 추진하여 나갈 것이다.

특히 現행 강제상장제인 委販制度를 양식 수산물에 대하여 段階的으로 임의상장제로 改善할 方針이다.

#### 라. 遠洋漁業의 安定的 成長

沿岸國의 入漁規制에 대응한 어업협력강화를 통하여 既存漁場의 안정적 확보와 특수지역 등 新漁場 開發과 進出에 박차를 가하여 나갈 것이다.

또한 원양어획물의 國內搬入量을 적절하게 調節하고, 委託販賣制度를 도입토록 하여 연근해 업계와의 均衡을 유지토록 할 計劃이다.

#### 마. 漁業基盤施設 擴充

福祉漁村建設을 위한 漁業基盤施設의 擴充을 위하여 '92년까지 61개 1·3종어항의 기본시설을 완공하고, '92년부터 249개 신규어항의 개발 확대에 주력할 것이다.

또한 老朽漁船代替 및 經濟性 漁船의 보급확대로 安定的인 어업경영을 꾀할 수 있도록 할 計劃이다.

#### 바. 漁村開發

開發 潛在力과 協業事業 遂行能力이 있는 低所得 漁村을 對象으로 중합개발사업을 추진 '92년까지 전국 64개 연안 시·군별로 1個所씩 示範支援한 후 연차적으로 확대하여 나가며, 水産綜合센터를 建立 수산 홍보 및 교육장으로 활용하고, 主要 漁港에 漁民福祉會館을 57개소 施設할 것이다.

또한 어촌계를 수협의 最一線 계통조직으로 活性化하여 소득기반을 조성하고, 연안 시·군에 農工團地 誘致와 관광자원개발, 副業施設 擴充 등을 통해 漁業外 所得源의 개발을 확충해 나갈 計劃이다.

#### 사. 漁民負擔 輕減과 漁家經濟 安定

沿近海 營漁資金 공급율을 '92년까지 82%로 확대하고, 금리를 引下하여 어민의 금융부담을 완화하고, 부채경감 자금 등 대책비를 활용 漁業經營費를 절감하여 나갈 方針이다.

또한 어민자녀의 學資金 免除對象 擴大와 養殖共濟制度를 導入하는 등

漁業災害補償制度 및 年金制을 확립하고, 어민의 日을 制定하는 등 국민의 수산에 대한 인식제고를 위한 행사를 적극 推進할 것이다.

아. 水產行政機構 改編·補強

水產行政의 業務機能 強化를 위하여 本廳 기구를 與件에 부응하도록 확대 개편하고 東·西·南海에 地方廳을 설립할 計劃이다. 또한 水產振興院을 활성화하도록 기구를 확대하고 水產經濟研究所 및 水產工學研究所를 설립할 計劃이다.

**여백**

統計로 본 水産業 動向

1. 國民經濟主要指標
2. 農林漁業附加價值
3. 産業業構
4. 總人口斗漁家人口
5. 漁船勢力
6. 水産物生産給出
7. 水産物生需輸
8. 水産物輸
9. 漁家所
10. 漁業粗收入經營費
11. 漁家負債

**여백**



1. 國民經濟 主要指標

	國民總生産		1人當 GNP		成長率與率 (85不變%)			
	經常	經常	經常	經常	農林漁業	鑛工業	建設, 電氣	서비스업
	(10億원)	(億 \$)	(千원)	( \$)			水道事業	
70	(2,776.9)	(81)	(86.2)	(252)	-	-	-	-
71	(3,406.9)	(95)	(103.7)	(288)	(10.9)	(31.6)	(1.4)	(63.0)
72	(4,177.5)	(106)	(124.8)	(318)	(10.6)	(41.9)	(2.9)	(49.5)
73	(5,355.5)	(134)	(157.1)	(395)	(13.7)	(39.5)	(10.2)	(39.4)
74	(7,564.5)	(187)	(218.2)	(540)	(21.1)	(39.4)	(10.9)	(30.5)
75	(10,064.6)	(208)	(285.5)	(590)	(15.4)	(42.8)	(12.7)	(40.8)
76	(13,818.2)	(286)	(385.9)	(797)	(18.4)	(41.5)	(8.2)	(31.5)
77	(17,728.6)	(366)	(497.7)	(1,008)	(6.6)	(37.8)	(17.7)	(41.3)
78	(23,936.8)	(513)	(649.1)	(1,392)	(△19.8)	(51.4)	(21.5)	(47.0)
79	(30,741.1)	(614)	(821.8)	(1,640)	(18.8)	(41.2)	(7.5)	(39.1)
80	36,749.7	605	968	1,592				
	(36,672.3)	(603)	(965.6)	(1,589)	(△75.1)	(△9.2)	(2.7)	(16.8)
81	45,528.1	668	1,181	1,734	35.3	46.3	△1.8	37.4
	(45,126.2)	(662)	(1,170.9)	(1,719)	(51.1)	(38.9)	(△2.3)	(28.5)
82	52,182.3	713	1,334	1,824	16.4	24.7	20.1	44.8
	(50,724.6)	(693)	(1,296.8)	(1,773)	(10.4)	(24.0)	(28.1)	(46.4)
83	61,722.3	795	1,554	2,002	9.7	35.3	18.0	34.3
	(58,985.8)	(760)	(1,485.2)	(1,914)	(9.3)	(32.6)	(19.0)	(35.3)
84	70,083.9	870	1,739	2,158	△2.4	54.9	11.5	40.9
	(66,408.2)	(824)	(1,647.8)	(2,044)	(0.4)	(55.2)	(14.2)	(36.2)
85	78,088.4	897	1,910	2,194	7.4	32.6	10.5	52.6
	(72,849.8)	(837)	(1,781.9)	(2,047)	(13.2)	(24.7)	(18.0)	(47.8)
86	90,543.9	1,027	2,206	2,503	4.7	45.3	8.7	40.6
	(83,975.8)	(953)	(2,027.0)	(2,300)	(4.7)	(45.7)	(9.6)	(38.5)
87	105,629.8	1,284	2,548	3,098	△6.5	47.1	10.5	44.4
	(97,531.7)	(1,186)	(2,324.1)	(2,826)	(△4.9)	(45.2)	(14.6)	(39.9)
88(p)	123,579.2	1,692	2,952	4,040	7.5	36.9	7.4	42.8

資料: 1) 國民計定(BOK) 2) 調査統計月報(BOK)

註: 1) 서비스업은 國民計定(BOK)上 都小賣 및 飲食宿泊業, 運輸倉庫 및 通信業, 金融 保險 不動産 및 社會서비스業, 社會 및 個人서비스業, (共濟)金融制度서비스, 政府서비스生産者, 民間非營利 서비스生産者, 輸入稅가 包含되고 海外純受取要素 所得은 除外됨(以下같은)

※ ( )內는 '80年 基準年

( )外는 '85年 基準年改編結果值임.(以下 國民經濟各項目같은)

## 2. 農林漁業附加價值

'85不變市場價格

	農林漁業	漁業			
			沿近海	養殖	遠洋
	10億원				
70	(4,989.6)	(289.8)	(224.2)	(33.2)	(32.4)
71	(5,157.9)	(293.7)	(213.2)	(35.6)	(44.9)
72	(5,262.3)	(339.5)	(264.5)	(27.7)	(47.3)
73	(5,636.4)	(410.0)	(308.3)	(39.3)	(62.5)
74	(6,036.7)	(472.6)	(342.6)	(54.4)	(75.6)
75	(6,289.1)	(462.1)	(318.9)	(50.9)	(92.3)
76	(6,927.5)	(471.1)	(305.3)	(52.4)	(113.4)
77	(7,132.4)	(480.4)	(300.0)	(66.4)	(114.0)
78	(6,426.6)	(453.4)	(301.5)	(43.4)	(108.4)
79	(6,899.1)	(493.7)	(341.1)	(56.9)	(95.6)
80	7,656.8 (5,524.7)	794.3 (514.1)	578.4 (349.5)	71.6 (67.6)	144.3 (96.9)
81	8,749.8 (6,759.7)	904.1 (596.1)	636.8 (390.0)	100.9 (93.8)	166.3 (112.7)
82	9,401.2 (6,980.6)	913.2 (605.8)	642.9 (362.7)	101.9 (92.0)	168.4 (151.1)
83	10,128.5 (7,436.0)	893.6 (579.4)	608.4 (373.4)	114.8 (96.7)	178.4 (109.3)
84	9,977.2 (7,453.2)	916.5 (627.3)	593.8 (337.5)	154.8 (134.8)	167.9 (115.0)
85	10,351.8 (7,802.2)	973.3 (669.5)	596.2 (387.0)	173.0 (139.2)	204.1 (143.4)
86	10,829.6 (8,114.2)	1,104.9 (754.1)	644.2 (412.6)	222.8 (175.4)	237.9 (166.1)
87	10,097.5 (7,766.8)	1,090.4 (745.2)	622.4 (394.1)	207.4 (147.4)	260.5 (203.7)
88(p)	11,002.5	1,085.8	603.3	237.1	245.4

資料：國民計定(BOK)

註：1) 沿近海；一般 + 內水面漁撈

2) 養殖；淺海養殖 + 內水面養殖 + 水協指導事業, 서비스

※ ( )는 80年 基準年

( )外書는 85年 基準年 改編結果值임

### 3. 産業構造

	國內總生產	農 林 漁 業			鑛工業	建設 및 가스, 수도사업	서어비 스업	
		%	農業	林業				漁業
70	經常10億원 (2,759.8)	(26.0)	(22.6)	(1.6)	(1.8)	(22.4)	(6.7)	(44.9)
71	(3,409.7)	(26.6)	(23.1)	(1.4)	(2.0)	(22.5)	(6.1)	(44.8)
72	(4,193.9)	(26.1)	(23.0)	(1.3)	(1.8)	(23.5)	(5.8)	(44.6)
73	(5,396.8)	(24.5)	(20.7)	(1.4)	(2.4)	(26.2)	(5.8)	(43.5)
74	(7,631.3)	(24.3)	(21.3)	(1.3)	(1.7)	(27.2)	(5.4)	(43.1)
75	(10,223.9)	(24.5)	(21.4)	(1.3)	(1.8)	(27.6)	(6.0)	(41.9)
76	(13,995.7)	(23.2)	(20.4)	(1.1)	(1.7)	(28.8)	(5.9)	(42.1)
77	(17,985.2)	(22.0)	(18.8)	(1.1)	(2.1)	(28.9)	(7.1)	(42.0)
78	(24,242.5)	(20.2)	(17.8)	(1.0)	(1.7)	(29.4)	(9.0)	(41.4)
79	(31,224.1)	(18.8)	(16.1)	(0.9)	(1.8)	(29.8)	(10.2)	(41.2)
80	38,041.1	14.9	12.7	1.0	1.2	31.0	10.4	43.7
	(37,914.9)	(14.6)	(12.3)	(0.9)	(1.4)	(30.9)	(10.4)	(44.1)
81	47,482.0	15.6	13.4	0.9	1.3	31.3	9.4	43.7
	(47,023.7)	(15.8)	(13.5)	(0.8)	(1.5)	(30.7)	(9.4)	(44.1)
82	54,442.8	14.7	12.7	0.8	1.2	30.4	10.0	45.0
	(52,912.7)	(14.6)	(12.1)	(1.1)	(1.4)	(29.8)	(10.2)	(45.4)
83	63,832.8	13.6	11.5	0.9	1.2	31.0	10.6	44.8
	(61,002.9)	(13.6)	(11.1)	(1.0)	(1.5)	(29.8)	(10.8)	(45.8)
84	72,644.3	12.9	11.0	0.9	1.1	31.8	10.7	44.6
	(68,866.7)	(13.3)	(11.1)	(1.0)	(1.3)	(30.5)	(11.1)	(45.1)
85	80,846.9	12.8	10.9	0.7	1.2	31.3	10.5	45.4
	(75,510.7)	(13.5)	(11.2)	(0.8)	(1.5)	(29.6)	(11.3)	(45.6)
86	93,371.0	11.5	9.5	0.6	1.4	32.6	10.2	45.7
	(86,652.8)	(12.3)	(10.0)	(0.7)	(1.6)	(31.3)	(10.9)	(45.6)
87	108,033.7	10.5	8.6	0.6	1.3	33.0	10.4	46.1
	(99,790.0)	(11.4)	(9.2)	(0.6)	(1.6)	(31.5)	(11.4)	(45.7)
88(p)	125,309.3	10.8	9.1	0.5	1.3	32.4	10.9	45.9

資料: 國民計定(BOK)

註: 本表의 産業構造率은 國內總生產(GDP)을 基準으로 算出한 것임.

#### 4. 總人口와 漁家人口

	總人口		漁家人口			漁業家口		
	千名	增加率 %		構成比	增減率		構成比	家口當人口
65	28,705	2.58	1,277	4.4	5.5	215	4.4	5.94
70	32,241	2.21	1,165	3.6	△12.1	195	3.3	5.97
71	32,883	1.99	--	--	--	--	--	--
72	33,505	1.89	1,062	3.2	--	182	--	5.84
73	34,103	1.78	979	2.9	△7.8	171	--	5.73
74	34,692	1.73	914	2.6	△6.6	160	--	5.71
75	35,281	1.70	894	2.5	△2.2	154	2.3	5.81
76	35,849	1.61	880	2.5	△1.6	153	--	5.75
77	36,412	1.57	871	2.4	△1.0	153	--	5.69
78	36,969	1.53	827	2.2	△5.1	152	--	5.44
79	37,534	1.53	791	2.1	△4.4	147	--	5.38
80	38,124	1.57	844	2.2	6.7	157	2.0	5.38
81	38,723	1.57	776	2.0	△8.1	150	--	5.17
82	39,326	1.56	755	1.9	△2.7	146	--	5.17
83	39,910	1.49	739	1.9	△2.1	147	--	5.03
84	40,406	1.24	716	1.8	△3.1	147	--	4.87
85	40,806	0.99	689	1.7	△3.8	145	1.5	4.75
86	41,184	0.93	666	1.6	△3.3	144	--	4.63
87	41,575	0.95	635	1.5	△4.7	141	--	4.50
88	41,975	0.96	602	1.4	△5.2	138	--	4.36

資料：1) 韓國統計月報(EPB), 2) 農林水産統計年報(MAFF)

註：總人口는 年央人口(7.1基準), 其他는 年末基準人口를 말함.

## 5. 漁船勢力

	計			動力船			無動力船	
	隻數	噸數	隻當平均噸數	隻數	噸數	馬力	隻數	噸數
	千隻	千 <sup>G</sup> / <sub>T</sub>	<sup>G</sup> / <sub>T</sub>			千HP		
65	51.1	203	3.98	7.6	120	261	43.5	84
70	68.4	358	5.24	14.1	268	676	54.3	90
71	68.3	393	5.75	14.7	307	816	53.6	85
72	67.7	452	6.68	14.7	367	968	52.9	85
73	68.6	511	7.45	16.5	432	1,134	52.1	79
74	68.0	602	8.85	18.0	526	1,418	50.0	76
75	67.7	648	9.57	19.7	581	1,587	48.0	67
76	65.8	662	10.06	22.7	605	1,676	43.1	57
77	66.5	683	10.26	29.8	636	1,866	36.7	46
78	70.3	756	10.75	34.0	713	2,187	36.3	43
79	74.6	753	10.10	47.1	721	2,334	27.5	32
80	77.6	771	9.94	51.1	740	2,462	26.5	30
81	80.5	782	9.71	59.7	757	2,585	20.8	24
82	86.5	808	9.33	67.1	785	2,797	19.4	23
83	88.5	828	9.35	69.3	806	2,973	19.3	22
84	90.4	852	9.42	71.6	830	3,213	18.8	22
85	90.9	858	9.43	71.8	836	3,353	19.1	22
86	93.0	884	9.50	73.9	862	3,607	19.1	22
87	94.2	912	9.69	74.8	890	4,027	19.3	22
88	99.0	948	9.57	78.4	925	4,701	20.6	23

資料：農林水産統計年報(MAFF)

### 6. 水産物生産

	計	沿岸	近海	遠洋	養殖	内水面
	千kg					
65	637	365	189	9	74	
70	935	455	271	90	119	
71	1,074	474	293	159	147	1
72	1,344	616	343	224	160	1
73	1,686	712	352	361	260	1
74	2,026	883	384	418	340	1
75	2,135	819	390	566	351	9
76	2,407	839	418	724	411	15
77	2,421	812	496	596	491	26
78	2,354	838	526	566	391	33
79	2,422	879	535	486	481	41
80	2,410	803	569	458	541	39
81	2,812	879	650	542	701	40
82	2,644	822	653	528	596	45
83	2,793	773	714	615	644	47
84	2,910	804	720	658	678	50
85	3,103	838	657	767	788	53
86	3,660	891	835	930	947	57
87	3,332	850	676	883	866	57
88	3,209	757	755	774	887	36
89(p)	3,400	900	785	720	930	65

資料：農林水産統計年報(MAFF)

## 7. 水産物 需給

	供給			需要			1人當 消費
	千%	生産	輸入	内需	輸出	kg	
65	637	637	—	637	534	103	19.5
70	935	935	—	935	776	159	17.3
71	1,074	1,074	—	1,074	886	188	17.5
72	1,344	1,344	—	1,344	1,090	254	21.3
73	1,686	1,686	—	1,686	1,326	360	28.7
74	2,026	2,026	—	2,026	1,641	385	27.8
75	2,136	2,136	—	2,136	1,563	573	29.9
76	2,407	2,407	—	2,407	1,644	763	29.8
77	2,436	2,421	15	2,436	1,665	771	29.5
78	2,408	2,354	54	2,408	1,711	697	25.9
79	2,477	2,422	55	2,477	1,689	788	25.9
80	2,451	2,410	41	2,451	1,755	696	27.0
81	2,860	2,812	48	2,860	2,120	731	33.2
82	2,705	2,644	61	2,705	1,984	721	36.4
83	2,859	2,793	66	2,859	2,160	699	38.1
84	2,994	2,910	84	2,994	2,230	764	37.6
85	3,194	3,103	91	3,194	2,317	867	37.2
86	3,787	3,660	127	3,787	2,551	1,236	41.8
87	3,754	3,332	422	3,754	2,482	1,272	38.4
88	3,661	3,209	452	3,661	2,358	1,303	39.7
89(p)	3,813	3,400	413	3,813	2,679	1,134	41.3

資料：農林水産 主要 統計(MAFF)

### 8. 水產物 輸出

	計	活鮮魚	冷凍品	海產鹽辛品	통조림	遠洋魚類	其他水產物	漁網類
	百萬\$							
65	27	7	2	9	1	2	6	3
70	91	11	6	17		38	11	7
71	115	18	8	12	2	55	11	9
72	152	27	13	12	5	68	17	10
73	260	50	32	38	8	80	34	18
74	291	61	35	24	10	90	40	31
75	429	62	58	32	10	183	54	30
76	598	76	81	75	15	262	55	34
77	703	90	109	40	34	313	68	49
78	752	112	120	51	42	295	70	62
79	936	119	123	61	26	457	70	80
80	871	128	103	27	28	352	63	112
81	1,051	153	115	56	38	428	66	119
82	947	151	131	122	51	329	78	85
83	908	145	134	83	55	315	95	81
84	956	155	124	83	61	354	104	78
85	970	155	124	97	55	328	132	79
86	1,384	253	165	108	72	465	219	102
87	1,731	369	234	128	95	571	223	111
88	2,047	476	260	150	137	618	270	136
89(p)	2,100	440	320	150	160	670	240	120

資料：農林水産 主要 統計(MAFF)



### 9. 漁家所得

○ 源泉別

	漁家所得	漁業所得			漁業外所得			漁外所得 構成比
			漁業 粗收入	漁業 經營費		兼業 所得	事業外 所得	
	千원							%
75	847.1	508.3	-	-	338.8	-	-	40.0
80	2,596.0	1,756.2	3,090.1	1,337.9	843.8	392.4	451.4	32.5
81	3,042.4	1,978.5	3,475.2	1,496.7	1,063.9	523.9	540.0	35.0
82	3,278.8	1,959.7	3,513.1	1,553.4	1,319.1	607.2	711.9	40.3
83	4,109.1	2,570.0	5,415.0	2,845.0	1,539.1	771.4	767.7	37.5
84	4,507.9	2,581.8	5,589.1	3,007.3	1,926.1	1,051.0	875.1	42.7
85	4,868.7	2,815.2	6,047.0	3,231.8	2,053.5	1,045.0	1,008.5	42.2
86	5,402.0	3,219.3	7,155.2	3,935.9	2,182.6	1,010.8	1,171.8	40.4
87	6,165.6	3,419.7	7,577.2	4,157.5	2,745.9	1,320.4	1,425.5	44.5
88	6,821.0	3,450.8	7,881.6	4,430.8	3,370.2	1,596.5	1,773.7	49.4

資料：漁家經濟調查結果報告(MAFF)

○ 漁業形態別

	全國	漁船非 使用家口	無動力船 使用家口	動力船 使用家口	養殖業 家口
	千원				
75	847.1	-	-	-	-
80	2,596.0	1,980.1	2,119.9	3,352.6	2,794.1
81	3,042.4	2,652.1	2,776.7	3,901.3	2,944.3
82	3,278.8	2,669.5	3,132.3	4,280.3	3,182.5
83	4,109.1	3,018.7	3,320.6	7,395.3	3,642.7
84	4,507.9	3,500.1	3,772.8	7,237.5	4,181.6
85	4,868.7	4,071.7	3,874.6	7,704.4	4,429.7
86	5,402.0	4,529.4	4,132.4	9,240.8	4,643.9
87	6,165.6	5,162.6	4,827.8	9,382.8	5,774.0
88	6,821.0	5,644.8	5,161.0	9,954.8	6,707.5

資料：漁家經濟調查結果報告(MAFF)

### 10. 漁業粗收入 및 經營費

○ 漁業粗收入

	計	漁業收入			在庫増減
		漁撈	養殖	水産加工	
	千圓				
77	1,797.4	1,798.3	1,574.3	224.0	△0.9
80	3,090.1	3,092.4	2,133.1	848.0	△2.3
81	3,475.2	3,471.9	2,449.9	880.9	3.3
82	3,513.1	3,507.7	2,625.7	802.4	5.4
83	5,415.1	5,396.3	4,333.0	938.2	18.8
84	5,589.1	5,586.8	4,196.2	1,226.3	2.3
85	6,047.0	6,035.2	4,587.7	1,211.2	11.8
86	7,155.2	7,161.3	5,538.0	1,367.9	△6.0
87	7,577.2	7,568.2	5,888.6	1,535.3	9.0
88	7,881.6	7,890.1	6,041.7	1,746.9	△8.5

資料：漁家經濟調查結果報告(MAFF)

○ 經營費

	計	漁業支出			減價 價却費	在庫生産 資材増減
		漁撈	養殖	水産加工		
	千圓					
77	907.0	855.0	829.6	25.4	52.0	
80	1,337.9	1,224.8	984.9	221.4	114.4	△1.3
81	1,496.7	1,352.7	1,099.8	223.8	29.1	6.5
82	1,553.4	1,401.3	1,137.9	256.1	7.3	△4.7
83	2,845.0	2,706.8	2,336.8	349.0	21.0	△7.9
84	3,007.3	2,847.2	2,467.4	336.8	43.0	△12.1
85	3,231.8	3,030.6	2,591.9	362.2	76.5	3.5
86	3,935.9	3,662.9	3,117.8	473.2	71.9	△3.6
87	4,157.5	3,882.1	3,316.2	505.5	60.4	19.3
88	4,430.8	4,124.7	3,415.7	619.6	89.4	2.2

資料：漁家經濟調查結果報告(MAFF)

## 11. 漁家負債

○ 用途別

	計	生 産 性			家 計	其 他
			漁 業	兼 業		
	千圓					
79	355.8	-	-	-	-	-
80	563.7	362.5	310.9	51.6	177.8	23.4
81	587.6	359.8	308.7	51.1	207.0	20.8
82	1,337.3	888.9	798.5	90.4	401.8	46.6
83	2,040.2	1,406.8	1,263.3	143.5	574.4	59.0
84	2,361.2	1,658.1	1,455.2	202.9	648.1	55.0
85	3,377.7	2,500.5	2,053.6	446.9	803.7	73.5
86	3,548.9	2,544.9	2,150.2	394.7	910.6	93.3
87	4,064.4	2,740.3	2,309.2	431.1	1,169.7	154.4
88	3,818.2	2,683.3	2,219.8	463.5	969.9	165.0

資料：漁家經濟調查結果報告(MAFF)

○ 借入處別

	計	制 度 金 融				私 債		
			水協	農協	其他		農漁家	其 他
	千圓							
83	2,040.2	1,127.7	858.6	193.7	70.4	917.5	527.7	389.8
84	2,361.2	1,249.4	932.5	234.2	82.7	1,111.8	715.1	396.7
85	3,377.7	2,156.5	1,491.1	513.0	152.4	1,221.2	908.4	312.8
86	3,548.9	2,296.5	1,568.9	567.5	160.1	1,252.4	905.9	346.5
87	4,064.4	2,800.3	1,857.9	727.9	214.5	1,264.1	821.8	442.3
88	3,818.2	2,735.9	1,764.9	745.5	225.5	1,082.3	654.4	427.9

資料：漁家經濟調查結果報告(MAFF)

正 誤 表

페이지	行	誤	正
8~138	土坑매출	第1編 1989년	第1編 1988年

1989年度 水産業 動向에 관한 年次報告書

---

---

1989 년 9 월 일 印刷

1989 년 9 월 일 發行

編輯：水産廳企劃管理官室

發行：大韓民國水産廳

印刷：韓成會社 文苑社

☎ 739-3911~4

---

---

< 非賣品 >